

瀬戸市立図書館整備基本構想

平成 28 年 3 月

瀬戸市教育委員会

はじめに

瀬戸市立図書館は昭和 20 年に開設され、その後、数回の移転を経て、昭和 45 年に現在地に移転しました。市立図書館として長い歴史を持ち、多くの市民に愛されてきています。

現在地に移転後 45 年の歳月を経て、その間、増築等のリニューアルを施してきましたが、施設の老朽化・狭隘化^{きょうあい}は避けられない状況となっています。車社会、高齢化社会が進む中で、駐車場の不便さやバリアフリー化への対応も大きな課題となっています。

一方、情報のデジタル化、大容量化、デバイスの多様化等により、人々が情報を得る手段、コミュニケーションツールも多様化しています。社会が抱える課題は複雑化し、情報へのニーズも変化しています。瀬戸市においても、人口の減少、子育て支援、伝統産業・文化を活かしたまちづくりなどへの対応が求められています。

図書館のあり方はここ数年で、大きな変化を全国各地で見せています。地域の知の拠点、生涯学習の拠点として貸出利用が拡大する一方、その集客力にも注目が集まっています。中には、市街地活性化や賑わい創出の拠点として、駅前商業ビルの中に入り、複合施設内の中心施設として設置されることで、多くの利用者を呼び込んでいるところや、IC システムや電子書籍、地域資料デジタル化等最新の ICT 技術の導入、地域の機関・団体等との連携による課題解決、民間企業や NPO 法人のノウハウによる業務効率化とサービスの向上など、さまざまな先進事例が見られます。

こうした状況を踏まえ、瀬戸市立図書館の新たな役割と可能性を検討することが求められています。瀬戸市にふさわしい図書館とは何か、市民の方がたから幅広い意見を集め、さまざまな可能性を検証し、将来を展望するためにこの「瀬戸市立図書館整備基本構想」を策定しました。

目次

1 瀬戸市立図書館の現状と課題	1
(1) 統計データから	2
① 現図書館利用統計	2
② 人口規模近似自治体及び近隣自治体との比較	4
(2) 図書館職員ワークショップから	4
(3) アンケート調査、ヒアリング調査から	6
① 来館者アンケート調査	6
② その他アンケート調査	10
③ ヒアリング調査	11
(4) 図書館ネットワークについて	13
2 図書館整備の基本的な考え方	15
(1) 瀬戸市の現況	15
① 人口動態	15
② その他	15
(2) 上位計画から	16
(3) 図書館先進事例から	17
3 図書館整備に必要な機能とサービス	29
(1) 現状の課題の整理から導き出される図書館整備の方向性	29
① 誰もが行きやすい、行きたくなる図書館	32
② 瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館	33
③ コミュニティの核となる図書館	34
(2) 具体的な図書館サービスの検討	35
① 子どもと子育て世代のためのサービス	35
② 地域に活力をもたらすためのサービス	36
③ 瀬戸市の歴史と文化を収集・整理し発信するためのサービス	37
④ 瀬戸市の教育を支えるサービス	38

(3) 機能の配置の検討.....	39
① 平面的な検討.....	39
② 階層的な検討.....	40
(4) 管理運営体制の検討	41
4 施設立地に関するケース検討	42
5 図書館整備事業の今後の進め方	46
資料編.....	47

1 瀬戸市立図書館の現状と課題

瀬戸市立図書館の現状と課題について整理します。

はじめに、現図書館の基本情報は次の通りです。

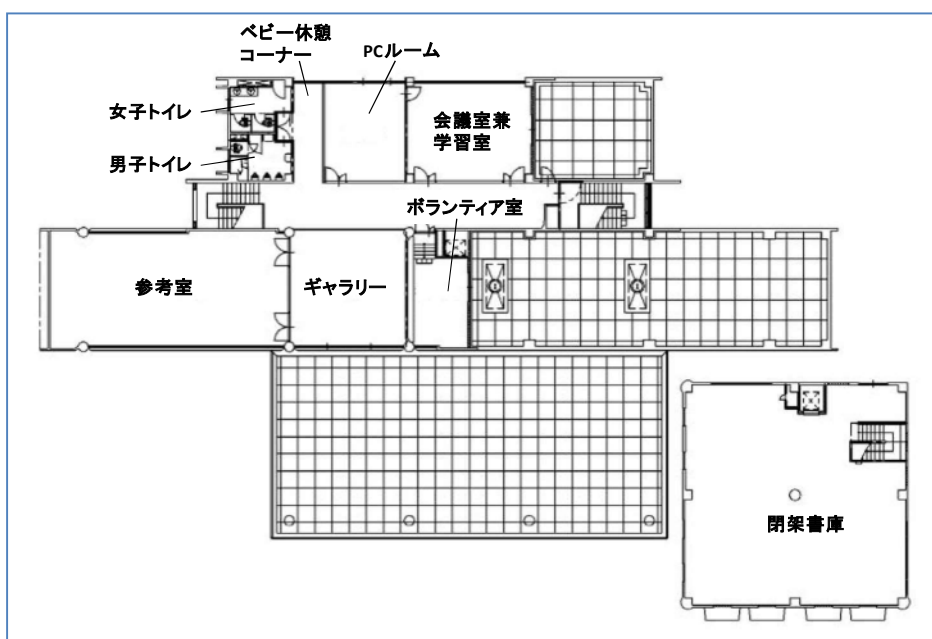
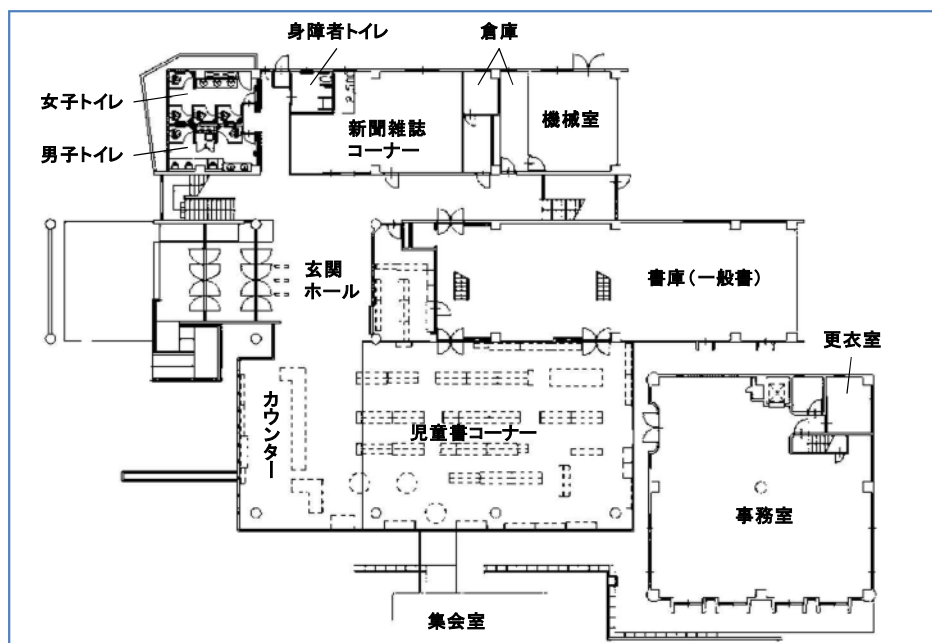
現図書館開館		昭和45(1970)年4月
延床面積		1,412㎡
蔵書冊数※1	図書	305,801冊
	その他※2	11,799点
施設概要	1階	一般開架、児童コーナー、新聞雑誌閲覧室、集会室、事務室
	2階	郷土資料室、コンピュータ室、会議室、ボランティア室、書庫
	駐車場	あり
開館時間	4～9月	9時～19時
	10～3月	9時～18時
休館日		第4水曜日・年末年始・特別整理期間
貸出期間	図書・紙芝居	3週間
	視聴覚・雑誌	2週間
貸出点数		10点
職員数		正規職員3名、再任用職員1名

※1 平成26年度統計

※2 視聴覚資料、雑誌

現図書館の平面図は、次の通りです。

【図 1】現図書館の平面図(上:1 階 下:2 階)



(1) 統計データから

① 現図書館利用統計

平成 20 年度以降の瀬戸市立図書館の統計データをまとめると、次の通りです。

【表 1】瀬戸市立図書館 入館者数・貸出者数・貸出冊数・登録者数の推移

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
本館	開館日数	336	338	338	334	336	336	336
	入館者数(人)	249,275	267,023	269,903	247,438	238,597	237,073	238,623
	個人貸出者数(人)	119,199	121,399	120,209	117,534	117,081	114,678	112,630
	個人貸出冊数(冊)	548,232	552,362	540,970	533,595	528,698	514,960	507,188
	新規登録者数(人)	4,004	3,696	3,461	3,179	2,896	2,681	2,799
	団体貸出冊数(冊)	14,029	25,628	22,153	23,288	31,504	25,884	30,310
移動図書館	巡回数	120	92	69	65	70	70	70
	個人貸出者数	931	531	453	378	549	723	594
	個人貸出冊数	4,245	2,619	2,693	2,132	3,401	4,073	3,656
	団体貸出冊数	14,261	13,862	12,907	9,900	10,380	10,370	10,292
情報ライブラリー(パ ルティセと 3階)	開館日数	357	357	357	343	357	357	356
	入館者数	96,660	100,358	100,355	92,370	94,008	94,424	95,352
	個人貸出者数	12,972	15,686	17,045	19,846	21,034	21,619	21,696
	個人貸出冊数	35,450	43,583	47,673	55,608	60,903	58,283	61,905
	団体貸出冊数	36	113	200	861	1,744	5,970	3,451
地域図書 館(品野 台小)	個人貸出者数	3,363	3,088	2,707	2,561	3,135	3,114	3,436
	個人貸出冊数	9,246	8,242	7,550	7,099	8,237	8,594	10,158
	団体貸出冊数	29	56	179	864	622	962	1,125
地域図書 館(光陵 中)	個人貸出者数	1,346	2,257	2,645	2,053	1,679	2,010	1,906
	個人貸出冊数	2,961	4,554	5,364	4,926	4,263	4,795	4,954
	団体貸出冊数	14	58	53	97	522	69	227
地域図書 館(西陵 小)	個人貸出者数		8,456	9,493	8,134	10,169	11,974	11,384
	個人貸出冊数		10,187	13,228	11,193	13,493	14,965	15,549
	団体貸出冊数		214	374	161	161	470	662
地域図書 館(水野 小)	個人貸出者数			3,557	6,274	7,092	8,874	6,493
	個人貸出冊数			7,623	12,804	15,250	18,914	14,109
	団体貸出冊数			126	99	94	238	479
地域図書 館(東山 小)	個人貸出者数				5,895	13,179	13,282	11,646
	個人貸出冊数				8,238	18,999	17,421	15,215
	団体貸出冊数				344	396	560	463

本館は入館者数、貸出数、新規登録者数とも減少傾向にあり、平成 26 年度は入館者数がピーク時の 88.4%、貸出冊数が 91.8%、新規登録者数が 69.9%まで落ちています。

一方でインターネットによる予約や館内インターネットの利用は増えており(表 2、表 3 参照)、生活の中にインターネット利用が拡大、定着していることが伺えます。

【表 2】瀬戸市立図書館 予約数の推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
予約全体数	31,282	36,349	39,607	42,550	47,253	49,719	49,867
内OPAC利用	8,833	9,239	9,248	9,950	11,061	10,662	10,158
内WEB利用	11,218	14,190	16,377	17,392	19,437	20,778	22,060

【表 3】瀬戸市立図書館 本館パソコン利用数の推移

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
インターネット 3台	人数	2,335	2,870	2,547	2,407	2,642	2,711	2,946
	時間	2,338	2,786	2,440	2,440	2,567	2,725	3,321
CD・DVD視聴 3台	人数	57	90	116	70	49	40	136
	時間	85	136	225	92	68	58	241
PC持込利用	人数	49	64	143	148	357	490	382
	時間	81	89	233	246	561	797	840

② 人口規模近似自治体及び近隣自治体との比較

瀬戸市立図書館は、人口規模の近い自治体及び近隣自治体の中で、最も古くに建設された図書館です。延床面積も人口規模近似自治体の中では最も狭く、近隣自治体の中でも 2 番目に狭くなっています。(表 4 参照)

一方、平米あたりの蔵書冊数は 200 冊を超えており、かなり詰め込まれた状況であることが分かります。

貸出冊数は人口規模近似自治体中 4 位、近隣自治体中 3 位と健闘しています。これは、開館日数が多いことも関係していると思われます。

(2) 図書館職員ワークショップから

瀬戸市立図書館の現状と課題、今後の展望について、現在本館に勤務している職員に対し、ワークショップ形式で意見聴取を行いました。

現状の評価について、「地域密着」型の図書館であると捉えている職員が多くいました。利用者との距離が近いこと、地域図書館の展開により地域開放が進められていることなどが、その理由として挙げられています。開館日数が多いことを特徴として挙げる職員も複数いました。

また、陶磁器関係資料が豊富であることなど、瀬戸市ならではの資料収集を行っていることも特徴として挙げられています。

一方で、立地の問題（坂の上にあることによる行きづらさ、駐車場の停めにくさ）、スペースの狭さ、バリアフリーではないこと等、施設的な問題を課題として挙げる職員が多数でした。



【表4】人口規模近似自治体(左)及び近隣自治体(右)との比較
数値は『日本の図書館 2014』(日本図書館協会)による

都道府県	千葉県	神奈川県	宮崎県	埼玉県	福岡県	千葉県	三重県	愛知県	熊本県	大阪府
市	成田市	座間市	延岡市	朝霞市	飯塚市	木更津市	伊勢市	瀬戸市	八代市	箕面市
人口(千人)	131	131	131	132	132	132	132	132	133	133
延べ床(本館)	5,179	3,524	3,168	2,752	1,806	1,855	2,397	1,412	2,636	1,910
蔵書冊数(本館)	691,000	407,000	325,000	529,000	236,000	339,000	311,000	305,000	279,000	345,000
分館数	15	0	3	1	4	0	1	0	2	5
サービスポイント数	0	3	0	6	0	14	13	6	2	2
登録者数	41,300	85,700	77,500	4,800	49,000	72,000	123,700	68,100	50,500	31,400
貸出点数(本館)	982,000	916,000	305,000	998,000	390,000	454,000	390,000	642,000	283,000	504,000
図書館費(千円)	299,121	81,515	87,754	155,819	161,004	43,036	157,725	108,790	97,658	109,985
資料費(千円)	97,181	20,373	11,056	31,873	37,973	14,831	26,464	28,875	24,866	52,434
図書費(千円)	82,000	15,998	8,198	16,000	31,893	13,000	22,940	20,945	20,672	44,593
休館日	月曜日 月末日	月曜日 第1金曜日	月曜日 第1金曜日	第2火曜日 第4金曜日	月曜日	火曜日 第4金曜日	水曜日 第2金曜日	第4水曜日	第4水曜日	月曜日
竣工	1984.10	1982.12	1997.2	1987.3	1996.2	1974.10	1992.10	1970.6	1985.3	1988.11

都道府県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県
市	尾張旭市	春日井市	長久手市	小牧市	日進市	瀬戸市
人口(千人)	82	309	52	153	85	132
延べ床(本館)	1,393	4,983	4,201	2,224	6,102	1,412
蔵書冊数(本館)	195,000	777,000	211,000	316,000	330,000	305,000
分館数	0	0	0	3	0	0
サービスポイント数	0	10	0	1	0	6
登録者数	56,500	-	4,000	22,900	38,100	68,100
貸出点数(本館)	631,000	1,435,000	438,000	535,000	1,156,000	642,000
図書館費(千円)	46,303	137,467	87,374	249,645	143,400	108,790
資料費(千円)	19,226	40,000	22,518	50,290	35,419	28,875
図書費(千円)	17,000	31,370	19,500	38,599	29,185	20,945
休館日	第1,3,5月 曜日	月曜日	月曜日 第4火曜日	第4月曜日	月曜日 第1木曜日	第4水曜日
竣工	1981.4	1999.11	1992.6	1977.11	2008.5	1970.6

(3) アンケート調査、ヒアリング調査から

① 来館者アンケート調査

市民による現図書館の利用状況及び利用ニーズを把握するため、質問紙形式によるアンケート調査を行いました。

期間：平成 27 年 9 月 5 日～9 月 16 日のうち下記日にちに配布

場所：瀬戸市立図書館本館

手法：図書館入り口にて来館者に質問紙を手渡し、館内で回収した。

配布数及び回収数は次の通りです。

配布日	曜日	配布枚数	回収枚数	回収率
9月5日	土	200	159	79.5%
9月6日	日	200	164	82.0%
9月8日	火	179	158	88.3%
9月10日	木	200	171	85.5%
9月11日	金	82	59	72.0%
9月12日	土	128	99	77.3%
9月13日	日	110	100	90.9%
9月16日	水	54	52	96.3%
合計		1153	962	83.4%

集計結果の詳細は資料編に記載しています。

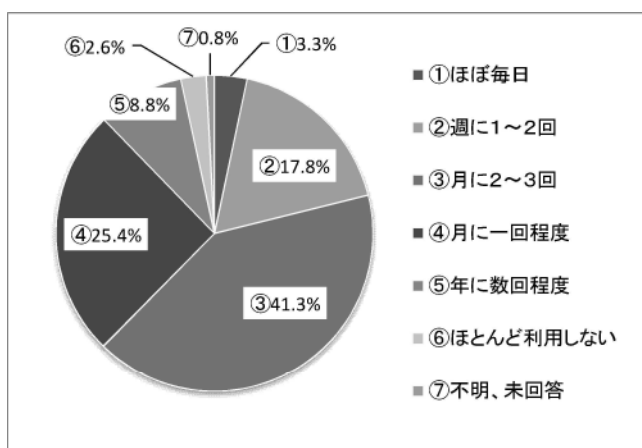
アンケート回答者からみた来館者属性は、次の通りです。

男女比	男性	女性					
	45.3%	50.7%					
年代構成比	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代以上	
	2.5%	4.8%	14.6%	22.0%	12.6%	40.7%	
居住構成比	瀬戸市内	瀬戸市外					
	90.3%	6.6%					
職業構成比	会社員・公務員	自営業・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
	25.4%	4.2%	13.0%	26.2%	3.3%	23.8%	1.2%

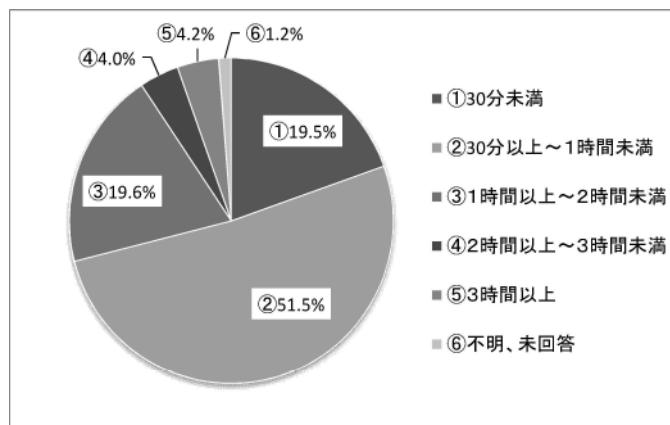
アンケート調査結果の概要は、次の通りです。

- ・利用頻度は「月に 2～3 回」が最も多く、「週に 1～2 回」「ほぼ毎日」も合わせた常連利用者が全体の 62.4%を占めています。
- ・利用時間は「13 時～16 時」「9 時～12 時」がほぼ同じ割合でした。
- ・利用する曜日は平日が 43.8%で土曜・日曜祝日より 15%程度多くありました。
- ・滞在時間は「30 分以上 1 時間未満」が 51.5%と半数以上を占めています。

【図 2】図書館の利用頻度

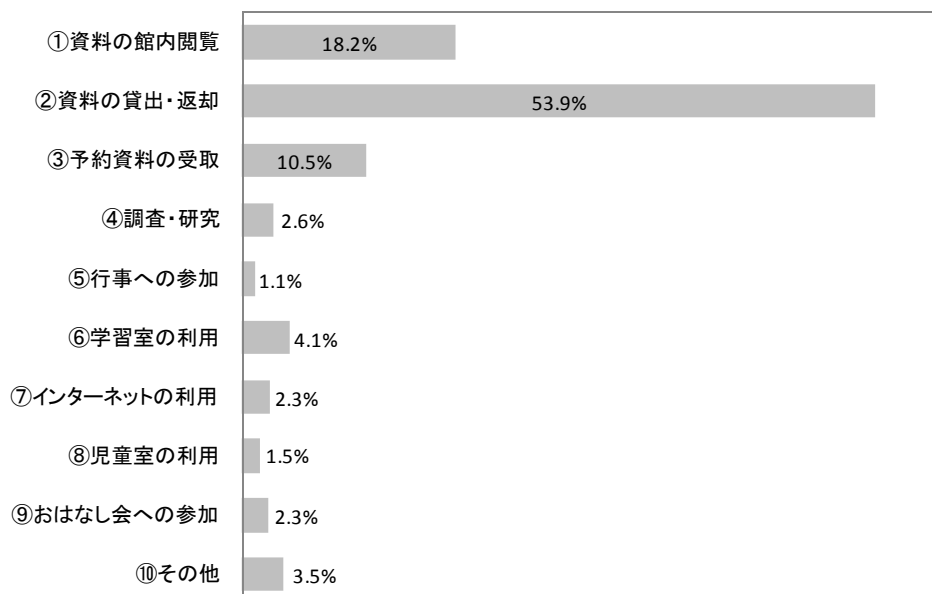


【図 3】図書館の滞在時間



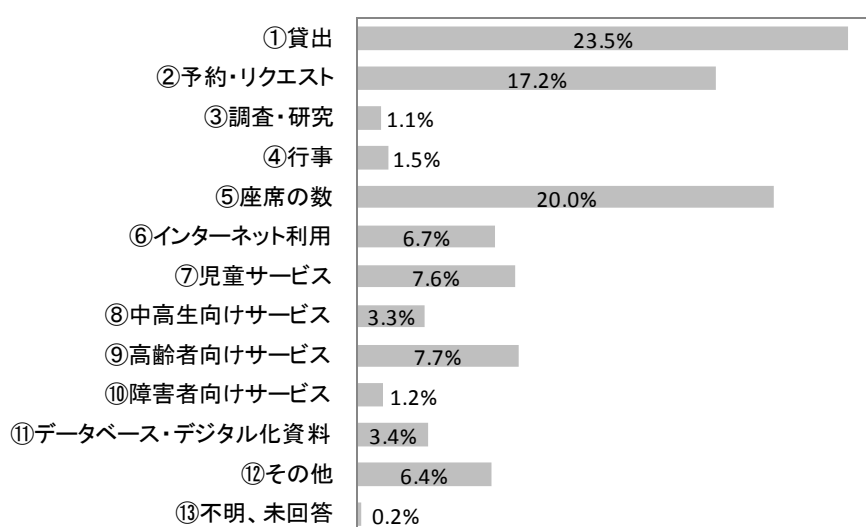
・利用目的は「資料の貸出・返却」が 53.9%と、他の目的より 35 ポイント以上多くありました。

【図 4】図書館の利用目的



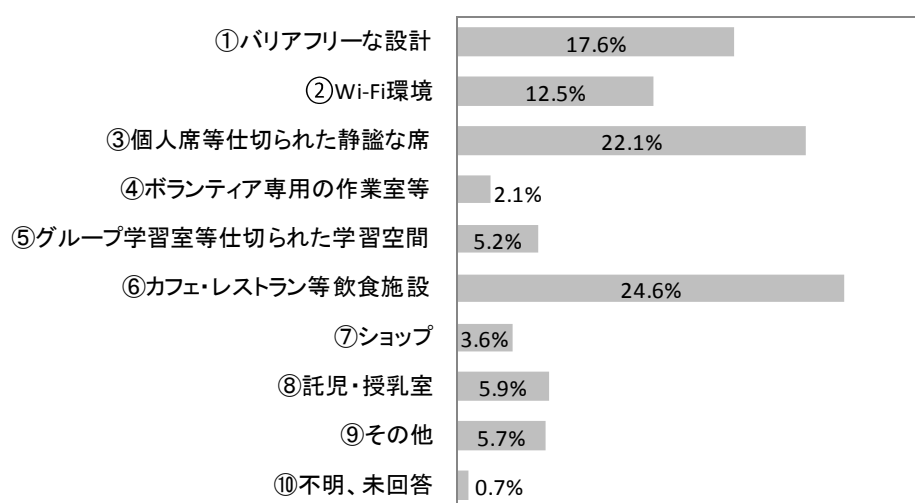
- ・よく利用する資料は「文学・小説」が 24.3%で最も多く、次いで「児童書」が 10.5%。「教育・家事・育児」が 9.9%でした。
- ・充実してほしい資料は「文学・小説」が 23.2%、次いで「教育・家事・育児」が 8.4%、「児童書」が 7.5%で、よく利用する資料上位と同じでしたが、視聴覚資料の利用が低い（1.5%）のに対しニーズは高い（7.3%）ことが分かりました。
- ・開館日及び開館時間について「現状でよい」が 73.5%でした。
- ・充実してほしいサービスについては「貸出」23.5%、「座席の数」20.0%、「予約・リクエスト」17.2%の順でした。

【図 5】今後充実してほしいサービス



- ・新しい図書館に必要な機能については「カフェ・レストラン等飲食施設」が 24.6%、「個人席等仕切られた静謐な席」22.1%、「バリアフリーな設計」17.6%の順でした。

【図 6】新しい図書館に必要な機能



- ・図書館ホームページの利用目的は「資料の検索・予約」が 31.9%、「本の情報の閲覧」が 15.6%、「利用案内の閲覧」が 10.1%でした。その一方で「利用しない」という回答も 33.2%ありました。
- ・よく利用する市内の図書館については「本館」が 80.4%、パルティセとの「情報ライブラリー」が 12.3%でした。他は 2.5%以下でした。

アンケート調査結果から得られた主な特徴は、次の通りです。

➤ 利用者層の固定化

- ・男性では 60 代以上が 25.6%、女性では子育て世代である 30 代、40 代が 24.6%でコア層となっています。とくに 60 代以上男性のうち無職の人が全体の 18.5%、男性利用者の 40.8%を占め、退職後の男性の図書館利用が多くなっています。
- ・利用頻度については、ほぼ毎日～月 2・3 回という常連利用者が全体の 62.4%という高率でした。そのうち 60 代以上の男性が常連利用者の 30.3%（全体でも 18.9%）を占め、60 代以上の無職男性利用者の 75.8%が常連利用者です。
- ・平日と土日祝日の利用層の違いも判明しました。平日利用者の 53.2%が 60 代以上なのに対し、土曜日は 78.1%、日祝日は 77.3%が 60 代未満となり、利用層が異なっていました。なお土日祝日で最も多い年代は 40 代（土曜日 29.1%、日祝日 32.9%）、次いで 30 代（土日祝とも 20%）でした。
- ・図書館の利用のされ方は、滞在時間が 1 時間未満の利用者が全体の 71%で、利用目的は「資料の貸出・返却」が 53.9%、館内閲覧と予約資料の受取も合わせると 82.6%の利用者が資料の貸出・返却・閲覧を目的としており、それ以外の目的はどれも極めて低率に止まっています。滞在時間の短さと合わせ、資料の貸出・返却・閲覧のみで短時間に帰ってしまう利用者が、ほとんどであることが分かります。

以上から、瀬戸市立図書館の利用層は 60 代以上で、退職後男性層を中心に常連利用者が多く、資料の貸出・返却・閲覧に特化した短時間利用に固定化していることが分かりました。

➤ 「場」へのニーズが高い

- ・今後充実してほしいサービスとしては「座席の数」がトップ、新しい図書館に必要と考える機能についても「個人席等仕切られた静謐な席」「カフェ・レストラン等飲食施設」という回答が多く、滞在できる環境、個人で学習できる環境へのニーズが高いことが分かりました。現状の利用では滞在時間は長くなくても、潜在的なニーズは高いと考えられます。
- ・自由記述では立地、駐車場の改善への要望が高く、ゆとりのある空間、資料の充実（とくに新刊図書の充実）を望む声も多くみられました。
- ・また、開館時間については全体の 73.5%が「現状でよい」との回答でしたが、年代別に比較すると、60 代以上だけが「現状でよい」という回答が平均を上回り、それ以外の年代では平均を下回りました。職業別の比較でも、「パート・アルバイト」「主婦・主夫」「無職」の比較的時間の融通がきく層が「現状でよい」との回答が 75～81%であるのに対し、「会社員・公務員」「自営業・自由業」「学

生」という時間の自由が利きにくい層では 50～60%台に下がります。開館時間に対するニーズは、現在の図書館利用者のコア層（60 代以上無職男性）の意見だけでは判断できないことに留意する必要があります。

② その他アンケート調査

(ア) 市立小中学校へのアンケート

瀬戸市立小中学校の図書主任教諭及び図書委員の児童生徒へのアンケート調査を実施しました。（詳細は資料編参照）

図書主任教諭へのアンケート結果概要は、次の通りです。

現在、瀬戸市立図書館と市内小中学校との間で行われている連携	・図書館見学 ・学校への団体貸出 ・授業で必要な資料の収集 ・学校での図書館職員によるブックトーク¹⁾
小中学校として市立図書館に対しどのような連携を期待するか	・ネットワーク化し学校から図書館の本を検索できるようにしてほしい。 ・学校図書室から児童生徒が図書館の本を予約できるようにしてほしい。 ・生徒向けの図書館通信を発行してほしい。 ・学校ごとに教科書に出てくる本をすべてそろえるのは難しいので図書館で数セットかそろえてほしい。 ・本を読む喜びをアピールするようなイベント、催し、グッズ等を紹介したり実演してほしい。 ・本によって知識を深めることの楽しさを伝える取り組みを学校と連携して行ってほしい。 ・メール便等による迅速で安価な貸出をしてほしい。 ・避難訓練等、授業で使える新しい教材を増やし、提供してほしい。
小中学生の年代の発達・教育に負う図書館の役割をどう考えるか	・多くの本に触れて、知識を深め、心を豊かにするもの。 ・教科の枠を越えて興味、関心を深められる場。 ・心の教育にとっても図書（読書）は大切なものなので、できる限り利用しやすいものにしてほしい。 ・授業での調べ学習での資料探しに役立つ。 ・学校や家庭、地域社会などでは経験できないような経験を味あわせてあげられる。 ・新たな可能性に出会う場だと思う。しかし、生徒にとっては身近な場ではないように思う。

1) ブックトーク:テーマにそって選んだ複数の本を参加者に紹介することで、参加者の読書意欲を喚起することを目的とする。

図書委員児童生徒へのアンケートからは、次の点が特徴的と言えます。

- ・図書館をほとんど利用しないという回答が、小学生・中学生とも 30%以上でした。年に数回の利用まで含めると、小学生は 60%程度ですが、中学生になると 73.7%に上昇します。中学生になると部活動や勉強に忙しくなり、図書館から離れる傾向がより強くなると考えられます。
- ・図書館にいる時間は小中学生ともに「1 時間未満」が 60%以上であり、居場所としては機能していません。
- ・図書館の利用目的について、小学生では「調べものをする」が 15%いるのに対し、中学生になると 8.8%に減少します。小学生では、調べ学習に図書館を使う動機や時間が持てるようです。
- ・新しい図書館にほしい機能としては、「カフェ・レストラン等」が小中学生ともに高かったが、中学生では「Wi - Fi」が上位でした。スマートフォンなどを、より自由に使えるようになるからだと考えられます。マンガやゲームなどの意見もありました。

(イ) 子育て世代へのアンケート

子育て世代については、図書館が行っているブックスタート事業²⁾の参加者へのヒアリングをやすらぎ会館にて行いました（2 日間で 74 名に実施）。

市立図書館をほとんど利用しない、という回答が約 65%という高率でした。利用しない理由としては「遠い」「場所がわからない」「駐車場が不便」等のほか、子どもが騒いでしまう、目を離せないなど「子どもを連れていきにくい場所」として図書館が認知されていることが分かりました。子どもと一緒に遊べる場所、多少騒いでも大丈夫な使い方、託児サービス、親同士のおしゃべりや情報交換の場などへのニーズが高いことが分かりました。

③ ヒアリング調査

瀬戸市内の関係機関・団体にヒアリングを行い、図書館へのニーズ調査を行いました。ヒアリングを行った機関・団体は次の通り（ヒアリング順）です。

瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会／菱野幼稚園／水南保育園／社会福祉法人アニモ福祉会／社会福祉法人麦／社会福祉法人くわの実福祉会／公民館協議会／図書館友の会／地域図書館サポーター（西陵小学校）／学びキャンパスせと／瀬戸窯業高校／地域図書館サポーター（光陵中学校）／瀬戸北総合高校／読み聞かせボランティア（東山小学校）／市民活動センター／銀座レディース（せと銀座通り商店街婦人部）／聖霊高校／瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会／瀬戸商工会議所

ヒアリング結果の概要は、次の通りです。

- 2) ブックスタート:乳児の 6 か月検診時に保護者に絵本を手渡し、読み聞かせの実演等を行うことで読書習慣の定着と図書館利用を促進する事業。

現在、瀬戸市立図書館と各機関・団体との間で行われている連携	・会合等で会議室を借りる（郷土史研究同好会、図書館友の会） ・団体貸出（幼稚園、保育園、聖霊高校） ・紙芝居を借りる（社会福祉法人） ・文学講座開催時に関連資料を借りる。公民館図書室の本を定期的に入れ替えてもらう（公民館） ・講座のチラシを置かせてもらう（学びキャンパス） ・生徒のインターンシップ先になっている（瀬戸北総合高校） ・乳幼児への読み聞かせ（読み聞かせボランティア） ・情報ライブラリー内に NPO コーナーを設置（市民活動センター）
市立図書館に対しどのような役割・連携を期待するか	・アクセスの改善（多数） ・周辺自治体も含めた郷土資料の充実（郷土史研究同好会） ・図書館からの図書に関する情報提供や、読み聞かせなどのための職員派遣（幼稚園、保育園、社会福祉法人、高等学校） ・子育て支援関連：子どもを遊ばせることができるスペース、保育スペース、親同士が交流できる場等（幼稚園、図書館友の会、学びキャンパス、読み聞かせボランティア、市民活動センター） ・障害者のレクリエーションの場、施設が休みの日や雨の日に行く場。朗読テープや映像資料など子ども向けのものでもよいので障害者が利用できるものの収集。施設で生産したものの販売（社会福祉法人） ・図鑑など高額な資料。パソコン上で見られるものでもよいので使えるとよい（保育園、社会福祉法人） ・視聴覚教材の充実（公民館、高等学校） ・講座を連携して実施（公民館、学びキャンパス） ・相互の事業紹介、イベント等チラシの設置、お店の情報を置くなどの情報交流（公民館、市民活動センター、銀座レディース） ・多くの人に使われるために立地、事業、複合化等の検討は重要（図書館友の会、市民活動センター、地域図書

市立図書館に対しどのような役割・連携を期待するか	館サポーター、銀座レディース) ・せともの資料など瀬戸市の歴史・文化が学べる（学びキャンパス、瀬戸窯業高校、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会） ・図書館の企画に生徒が参加できる（高等学校） ・多目的な利用ができるコミュニティの場に（高等学校、市民活動センター、銀座レディース） ・市民が講師となる講座の開催（市民活動センター） ・まちの回遊性を高める場（銀座レディース、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会） ・文化創造の拠点、瀬戸の魅力発信の場に（市民活動センター、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会） ・企業とのタイアップ、仕事帰りにも寄れるよう夜遅くまで開館（瀬戸商工会議所）
--------------------------	---

ヒアリングから抽出されるニーズは、次の通りです。

➤ **図書館の持つ資源の活用**

図書館機能の中心である資料の充実・援助をはじめとして、図書館サービスのアウトリーチ、相互の情報提供への期待が多くみられました。図書館が持つ資源（資料、場所、専門的人材）を活用して、自らの組織・団体の活動を豊かにしていきたいと考えていることが分かりました。

➤ **場としての機能の充実・拡張**

アクセスの改善（駐車場含む）、ゆったりとくつろげる広さを求める声が多かったのは、来館者アンケートと同様でした。

図書館の「場」としての機能充実を求める声が、多く挙げられました。「コミュニティ形成の場（多目的な部屋があるとよいなど）」「子ども連れでも気兼ねなく交流できたり子どもを遊ばせたりできる」「地域のことがわかる（せともの資料を集めるなど）」「瀬戸の文化の中心として誇れるものに」「瀬戸市のことが好きになる場」といった意見が、基本構想検討のうえでポイントになると考えられます。

(4) 図書館ネットワークについて

瀬戸市立図書館は本館を中心に、情報ライブラリー、移動図書館、5つの地域図書館から成り立つネットワークをもっています。

このうち、地域図書館は、市立小中学校の図書室を土日祝日のみ開放する形で運営されています。こうした形態は、埼玉県草加市などで事例がありますが、国内ではほとんど見られないもので、運営を「地域図書館サポーター」という市民ボランティアと協働で行っていることも、瀬戸市立図書館の特徴です。

学校は地域の公共施設として認知度が高く、高齢化が進む中で住まいの近くに図書

館サービスを受けられる拠点があることは利点です。その一方で、地域図書館サポーターの高齢化と後継者不足、学校施設の利用であるため、バリアフリーの問題や、資料の一層の充実等の課題を指摘する声が、サポーターからも上がっています。

表 1 の利用状況からも、地域図書館での貸出冊数は伸び悩んでいますので、資料の充実を中心にサービスの向上を図る必要があります。

今後も地域図書館サービスを継続していくためには、市民参加も含めた効率的な運営方法、施設のバリアフリー化、サービス向上のための方策を併せて検討していく必要があります。

既存施設の有効活用という観点や、市立図書館と学校図書館との連携という観点からも、瀬戸市における地域図書館運営は、先進的になりうる側面をもちます。本年度策定する「第 2 次瀬戸市教育アクションプラン」においても、「地域や社会とつながる教育の推進」を基本目標の一つに掲げ、「地域とともにある学校づくりの推進」等が基本施策に盛り込まれており、学校を一つの核とした地域づくりが進められようとしています。

こうした施策的背景も踏まえ、「コミュニティの中心となる学校とその中の地域図書館」の役割について、さらに議論を深めていく必要があります。

2 図書館整備の基本的な考え方

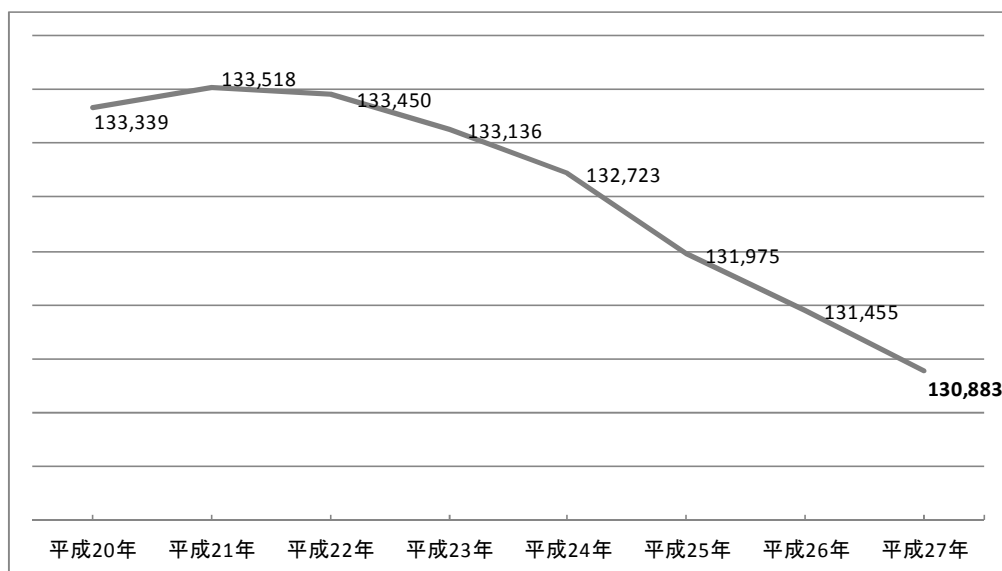
図書館整備に基本的な考え方について、人口動態や、産業、観光などの観点から整理しました。

(1) 瀬戸市の現況

① 人口動態

平成 27 年 10 月 1 日現在の瀬戸市の総人口は 130,883 人で、前年比 0.4%減、老年人口割合は 27.7%で前年比 0.7%増となっています。これは、国立社会保障・人口問題研究所の予測値とほぼ同じ推移となっており、瀬戸市において高齢化と人口減少への対応は喫緊の課題です。

【図 7】瀬戸市の人口数の推移(基準日は各年とも 10 月 1 日現在)



② その他

- 産業

事業所数、従業者数とも減少が続いています。平成 25 年度の統計数値で見ると、事業所数は 20 年前（平成 5 年度）と比べ 42.8%、従業者数は 73.7%まで減っています。中心産業である窯業も減少が続いており、後継者の育成、新たな市場の開拓などが課題となっています。

- 観光

「せと・まるっとミュージアム」構想による回遊性重視の観光振興が進められています。平成 26 年度には「せともの祭」が 49 万人、「招き猫まつり in 瀬戸」が 8.4 万人、「陶のまち 瀬戸のお雛めぐり」が 11.2 万人など、イベントによる集客に一定の成果が上がっています。

文化施設の集客を見ると、瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸市染付工芸館、ノベルティ・こども創造館などは維持していますが、瀬戸市美術館、瀬戸市新世紀工芸館などは来館者が少なくなっており、瀬戸市全体での集客力向上のためのさらなる施策が求められます。

その他、市内に宿泊施設が少なく、観光客の滞留による経済波及効果に課題があります。

- 教育

瀬戸市内には現在、小学校が 20 校、中学校が 8 校、特別支援学校が 1 校、高等学校が 6 校、大学が 2 校あります。児童生徒数の不均衡を是正する小中学校適正規模適正配置も今後の課題であり、また大学 1 校（南山大学瀬戸キャンパス）が 2017 年度までに瀬戸市からの移転を計画しており、若年層の定着に一層の課題が残ります。

(2) 上位計画から

- 地域総合戦略

「地方創生」が国の重要施策として位置づけられ、瀬戸市においても平成 28 年 2 月に「瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「瀬戸市人口ビジョン」を策定しました。

この中で瀬戸市は、2060 年において約 11.5 万人の人口規模を確保することを施策による最大効果ととらえ、成人人口の社会増を獲得する政策が必要だとしています。そのための働く場の創出と魅力を感じられるまちづくり、子育てをしながら働くことのできる社会の形成を進めることを提案しています。

さらに、瀬戸市の歴史・伝統に培われた固有の資産を、産業・観光・文化・交流・まちづくり等の地域の活性化につなげる“瀬戸市独自の地域モデル”を構築する、としています。

新しい図書館は、こうした方向性を意識し、働きやすい魅力あるまちづくり、歴史や文化・伝統に育まれた資源を生かすまちづくりに貢献することが求められます。

- 瀬戸市教育アクションプラン

本年度、策定する「第 2 次瀬戸市教育アクションプラン」においては、自立・協働・創造など 5 つの基本的な方向性を目指し、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成することとしています。また、プランを効果的に推進するため、知・徳・体の 3 つを基本とし、一人ひとりの異なる価値観などの個性を認め合う「多様性の尊重」、学校・家庭・地域とともに、社会全体で子どもを育む「横の連携」、生涯学習社会に向けて、年齢や成長に応じた切れ目のない「縦の接続」、適正な学習環境と魅力ある学校づくりによる「信頼の構築」を視点として捉えています。

図書館は市民の生涯学習の拠点として、瀬戸市教育アクションプランの方針に則り、学校教育とも連携しながら、子育て支援、瀬戸市の資源を活かした教育の推進に積極的な役割を果たすことが求められます。

- 公共施設白書

「瀬戸市公共施設白書」においては、今後の公共施設整備にあたって「他用途への転換」「機能の複合化（廃止・統合、多機能化、集約化）」「民間活力の導入」をうたっており、本基本構想においても考慮しています。

(3) 図書館先進事例から

平成 20 年以降に開館した国内の公立図書館の事例から検討しました。検討対象としたのは次の 9 つの図書館です。

- ・長崎市立図書館（長崎県）
- ・ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス（東京都）
- ・金沢海みらい図書館（石川県）
- ・韮崎市立図書館（山梨県）
- ・徳島市立図書館（徳島県）
- ・豊後高田市立図書館（大分県）
- ・武雄市図書館（佐賀県）
- ・おおぶ文化交流の杜図書館（愛知県）
- ・岐阜市立図書館（岐阜県）

新設館のほか、施設改修の事例も盛り込みました。運営形態も自治体直営、指定管理者、PFI³⁾などからそれぞれ盛り込みました（統計数値は、平成 26 年度のものです）。

3) PFI: Private Finance Initiative の略。図書館等公共施設の建設・維持管理・運営を民間の資金・経営能力・技術能力を使用して行う事業手法。

長崎市立図書館	
【概要】	・所在地：長崎県長崎市興善町 1 番 1 号 ・開 館：平成 20（2008）年 1 月（PFI 事業） ・床面積：約 11,659 m² ・蔵書冊数：約 59 万冊 ・入館者数：90 万人 ・貸出冊数：140 万冊
◆経緯：都道府県庁所在地で唯一図書館のない長崎市でしたが、市民待望の市立図書館として平成 20 年に PFI 事業により開館。以来、裁判所、JETRO、新聞社、海洋气象台、地元サッカーチーム等様々な企業、団体と共同でコンサートや講演会、講座、映画会、展示会等の企画を展開し、まちぐるみで市民の図書館運営に取り組んでいます。 近年では、我が国における西洋医学発祥の地にある図書館として、地域の行政、医療機関を巻き込んだ「がん情報サービス」を立ち上げるなど、市民の課題解決型図書館として高い評価を得ています。	 外観（出典：ウィキペディア）
◆施設概要：前面はガラス張りですが、蔓植物による緑のカーテンが目目を引くデザインとなっています。施設は地下 1 階、地上 4 階で、1 階と 2 階が図書館の開架部分となっています。1 階は図書館エリア、生涯学習エリア、レストランの構成になっており、生涯学習エリアには多目的ホールのほか、救護所メモリアルとして、原爆投下時に救護所になった新興善小学校の様子が再現されています。資料とともに地域の記憶を受け継ぐ場にもなっています。	 がん情報コーナー（出典：図書館流通センターホームページ）
◆サービス概要：がんによる死亡率の高さとその減少、また国民医療費の抑制は、長崎県と市にとって重要課題となっていました。このため、市民の健康の維持・向上のため、医療・健康情報の収集をお手伝いすることを目的として、がん情報サービスを提供しています。 ICT 技術を積極的に導入しており、セルフ予約棚のほか自動貸出機が設置されています。また、返却処理の効率を高めるため、全国で 2 番目となる自動仕分機を導入しています。	

ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

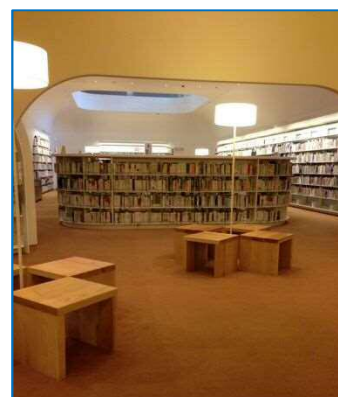
- 【概要】
- ・所在地：東京都武蔵野市境南町 2 丁目 3 番 18 号
 - ・開館：平成 23（2011）年 4 月（指定管理者）
 - ・床面積：約 9,809 m²
 - ・蔵書冊数：約 16.7 万冊
 - ・入館者数：164 万人
 - ・貸出冊数：97 万冊

◆施設コンセプト：これまでの公共施設の枠を超えて複数の機能を融合させるとしており、垣根の低い複合施設となっています。人との出会いとそれによる創造、交流を生み、地域の活性化を深める施設を目指しています。名称になっているプレイス＝場、という言葉にはこのような期待が込められています。



外観（出典：武蔵野プレイスホームページ）

◆施設概要：武蔵野市内には中央図書館と吉祥寺図書館があり、3 番目の館として開館。JR 武蔵境駅から徒歩 1 分の駅前に立地します。図書館機能をはじめ「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せもった複合機能施設。外観、内観ともに特徴あるデザインとなっており、角の丸い意匠は、窓だけでなく内部の壁や書架にも共通して使われています。駅との間は公園となっており、建物は地域の魅力を高めるランドマークとなっています。



◆サービス概要：施設 4 階の「ワーキングデスク」は有料で貸し出しており、年会費を払うことで、優先予約が可能です。地下 2 階はアート&ティーンズライブラリーとなっており、中央部分にはティーンズ向けの「スタジオラウンジ」があります。ここは「18 歳以上立ち入り禁止」で、ダンスやバンド活動の練習場として賑わっています。

1 階はパークラウンジという名称となっており、目につきやすい中央部がカフェとなっています。マガジンラウンジが隣接し、カフェと合わせて集客効果を高めています。



奥：スタジオラウンジ

ICT 技術も導入されており、IC によるセルフ予約棚による予約資料の受取や自動貸出機、地域映像アーカイブ⁴⁾等が設置されています。

4) 地域映像アーカイブ：NHK のニュース映像等、その地域に関連する映像資料を収集・保存し、検索機能を付して図書館等公共施設で視聴することを可能にしたシステム。

金沢海みらい図書館

- 【概要】
- ・所在地：石川県金沢市寺中町イ 1 番地 1
 - ・開 館：平成 23（2011）年 5 月（直営）
 - ・床面積：約 5,439 m²
 - ・蔵書冊数：約 24.4 万冊
 - ・入館者数：64 万人
 - ・貸出冊数：18 万冊

◆経緯：これまで図書館のなかった金沢市の西部に市内 4 番目の館として開館。地域に根差した図書館、世代や地域間の交流促進、地域のランドマーク、地域の情報拠点をコンセプトにしており、地域のシンボルとしての波及効果が期待されます。また金沢産の広葉樹を使った椅子を設置しており、地域への貢献も PR しています。

◆施設概要：建築物としての評価は世界的にも高く、平成 25 年のアジア太平洋デザイン・建築賞の最優秀賞受賞をはじめ、英国 BBC 文化ショー「世界の素晴らしい公立図書館 4 館」や米国の大手旅行ガイド「フォダーズ」記事「世界の魅力的な図書館ベスト 20」に選定されるなど、多くの賞を受賞しています。



外観（出典：ウィキペディア）

建物は地下 1 階、地上 3 階の一方約 45m・高さ約 18m の直方体の形状です。その外壁は白色一色で約 6 千個の丸窓があり、海の泡をイメージさせる特徴的なデザインになっています。

内部は 2 階の一般図書コーナーが天井高 12 メートルの広大な吹き抜けとなっており、滞在を意識した気持ちの良い空間演出がなされています。外観とともにこの吹き抜けの様子は、メディアに数多く紹介されています。



館内の様子（出典：金沢海みらい図書館ホームページ）

◆サービス概要：1 階は児童図書コーナーと交流ホール、2 階は一般図書コーナーのほか、生涯学習コーナーが設置され複合化施設となっています。3 階は地域情報コーナーとなっており、立地にちなんだ日本海情報コーナーや、ものづくり情報コーナーなどが設けられています。

最新の ICT 技術も導入されており、石川県内の公共図書館として初めて自動化書庫を導入しています。また、IC による自動貸出機も設置しています。

韮崎市立図書館

- 【概要】
- ・所在地：山梨県韮崎市若宮 1 丁目 2 番 50 号
 - ・開館：平成 23（2011）年 9 月（指定管理者）
 - ・床面積：約 6,883 m²
 - ・蔵書冊数：約 9.3 万冊
 - ・入館者数：12 万人
 - ・貸出冊数：15 万冊

【特徴】

◆経緯：昭和 59 年に開業した JR 韮崎駅前の一等地にあるショッピングセンターが閉店となり、土地と建物を市が購入。改装し韮崎市交流センター「NICORI（ニコリ）」としてリニューアルされ、その 2 階に図書館が開館。駅前の新たなまちづくりの拠点として、まちなかのにぎわい創出を目指しています。



外観（出典：NICORI ホームページ）

◆施設概要：韮崎市交流センター「NICORI」は韮崎市立図書館を中核に、公民館、国際交流コーナー、子育て支援センターなどの複合施設です。他にもクリニックやカフェもテナントとなっています。

図書館のエントランス部分は湾曲したガラス張りの壁で隔てられています。改修時の工夫により、開放感と居心地の良さを両立した特徴的なデザインとなっています。



エントランス
（出典：図書館総合研究所ホームページ）

◆サービス概要：山梨県内では初となる FeliCa を活用した IC 図書管理システムを導入し、おサイフケータイ機能を持つ携帯電話での図書貸出を実施しています。他にも、IC 予約棚により予約図書・資料の受取を自動化するなど、ICT 技術が積極的に活用されています。

徳島市立図書館

- 【概要】
- ・所在地：徳島県徳島市元町 1 丁目 24 番地 アミコビル内
 - ・開 館：平成 24（2012）年 4 月（指定管理者）
 - ・床面積：約 3,440 m²
 - ・蔵書冊数：約 40.6 万冊
 - ・入館者数：52.9 万人
 - ・貸出冊数：106 万冊

◆コンセプト：子どもからお年寄りまで、市民の誰もが気軽に利用し、本を読む楽しさ、学ぶ喜びを体感できる図書館を目指しています。エントランスをはじめ館内に多くの植物を設置しており、滞在を意識したくつろげる空間の演出がなされています。



館内の様子（出典：徳島市立図書館ホームページ）

◆施設概要：昭和 58 年に駅前再開発の商業ビルとして完成し、長らく駅前のランドマークとして親しまれてきた「アミコビル」の 5 階、6 階部分をメインフロアに使用し、旧徳島市立図書館の 3 倍を超えるスペースの図書館として移転、開館しました。

駅前活性化の起爆剤として、オープン以来図書館の集客力によりアミコビルに同居するそごう徳島店、徳島東急 REI ホテル、徳島市シビックセンターといったテナントへの相乗効果や、駅周辺の回遊性を高めています。また、立地を生かし、通勤・通学の際にも気軽に立ち寄れる生涯学習の拠点を目指しています。図書館の集客力による地域活性化のモデルケースとなっています。

◆サービス：下表のような、地域活性を意識したサービスを実施しています。また、ICT 技術の導入により、自動貸出機の設置や、インターネットを通じて電子書籍の貸出を行う電子図書館サービスの提供、地域資料をデジタル化して閲覧可能にするサービスの提供にも積極的に取り組んでいます。

サービス	内容（例）
食事券補助	・同ビルで営業する東急 REI ホテル 1 階レストランで、図書館の利用カードを提示すると次の割引を受けられる - ランチバイキング 100 円引き - ディナータイムに食事をするとワンドリンクサービス
返却ポスト	・2012 年 5 月から JR 徳島駅舎内コンコースに設置しており、利用できるのは始発から最終列車の発着時まで ・アミコビル 1 階入口や中央公民館 1 階入口横には、24 時間利用可能な返却ポストがある

豊後高田市立図書館

- 【概要】
- ・所在地：大分県豊後高田市御玉 101 番地 1
 - ・開館：平成 25（2013）年 2 月（指定管理者）
 - ・床面積：約 2,076 m²
 - ・蔵書冊数：約 8.6 万冊
 - ・入館者数：10 万人
 - ・貸出冊数：17.7 万冊

◆施設コンセプト：「昭和の町」で名高い豊後高田市の中心地に立地。瓦屋根が続く街並みに溶け込むよう図書館も瓦屋根とし、桂川を挟んで昭和の町、昭和ロマン蔵と対をなした風景をつくり出す観光資源の一部になっています。

軒先を低く構えた大きな屋根の下に多くの知識や情報を備え、郷土の文化・歴史・産業の歩みを継承しつつ、かつ未来（次代を担う人材育成）への発展に資する、生涯学習支援の拠点施設としての役割を担うことを基本理念としています。



外観（出典：豊後高田市立図書館ホームページ）

◆施設概要：利用者スペースはすべて 1 階のワンフロアとなっており、大人のスペース、子どものスペースともに独特なデザインの読書空間となっています。ロビーは飲食可能で、イベントや展示を行う交流スペースとしても利用することができます。館内には授乳室や特徴的な「おはなしのへや」のほか、お父さんのための「イクメン室」も完備しています。子育て世代の利用に配慮がみられ、滞在しやすい環境になっています。



おはなしのへや（出典：図書館流通センターホームページ）

◆サービス：図書館としての規模は大きくありませんが、IC システムは自動貸出・自動返却・予約棚を導入し、電子書籍が貸出・閲覧できる電子図書館サービス、郷土資料のデジタルアーカイブも導入されています。今後は「教育のまち」をまちづくりの基本方針とする豊後高田市の図書館として、学校等と連携したサービスの展開が期待されています。



館内の様子（出典：図書館総合研究所ホームページ）

武雄市図書館

- 【概要】
- ・所在地：佐賀県武雄市武雄町大字武雄 5304 番地 1
 - ・開館：平成 25（2013）年 4 月リニューアル（指定管理者）
 - ・床面積：約 2,270 m²
 - ・蔵書冊数：約 21.1 万冊
 - ・入館者数：80 万人
 - ・貸出冊数：48 万冊

◆経緯：2000 年に武雄市図書館・歴史資料館（愛称：エポカル武雄）として開館。その後、全面改修し、2013 年 4 月に株式会社カルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）が全国で初めて運営する図書館となり、年中無休で開館しています。CCC による運営手法は地方活性化の施策として一石を投じており、全国的に注目されています。

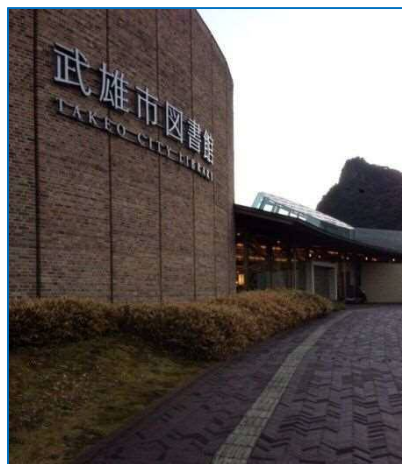
◆施設概要：館内 1 階にはスターバックスコーヒー、CCC の運営する蔦屋書店と音楽・映像ソフトのレンタル店舗が併設されています。

吹き抜けの天井までのびる壁面前面に書架が設置され、歴史のある西洋の図書館を連想させるデザインとなっています。また、ここにはキャットウォークと呼ばれる 2 階部分の張り出した通路があり、閲覧席も設置されています。雰囲気を楽しみながらくつろげる空間を提供しています。

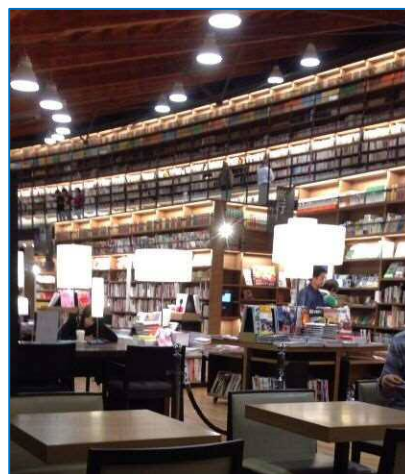
◆サービス：通常の図書利用カードのほか、CCC のポイントカードである T カードを図書館カードとして作成可能になっています。T カードで自動貸出機を使用すると 1 日 1 回 3 ポイント付与されます。

また、日本十進分類法によらない独自のライフスタイル分類を採用しています。1 階部分には「料理」「旅行」「人文」という 3 コーナーがあり、特に大きな主題別の棚になっています。

ICT 技術も導入しており、セルフカウンターでは資料の貸出手続きのほか、併設書店での購入もセルフで会計が可能になっています。書架や壁には埋め込み式のデジタルサイネージや検索機が多く設置されています。また、館内でのインターネット利用のため、iPad の貸出をしており、1 日 60 分間は自由に使用することができます。



外観



壁面の書架とキャットウォーク

おおぶ文化交流の杜図書館

- 【概要】
- ・所在地：愛知県大府市柊山町 6 丁目 150-1
 - ・開 館：平成 26（2014）年 7 月（PFI 事業、指定管理者）
 - ・床面積：約 10,000 m²
 - ・蔵書冊数：約 40 万冊

【特徴】

◆コンセプト：施設愛称は **allobu**（アローブ）。大府市生涯学習プラン 2007 の「共に生きあおう大府のまちで」という言葉から、全ての人、全てのもの、全ての大府という思いが込められています。

誰もが様々な知識や情報を得ることができ、質の高い文化・芸術に触れ、また自ら創造・表現活動を行い、交流を図ることで、「市民力」の向上に寄与することを目指しています。



外観（出典：おおぶ文化交流の杜ホームページ）

◆施設概要：施設は文化交流エリアと図書館エリアがあります。315 席の「こもれびホール」は中規模のコンサートホールですが、その名の通り自然光が取り入れ可能な珍しい特徴をもつ「杜」を感じる工夫となっています。図書館内にも中庭のような「読書の杜」が設けられており、雨の日以外は「杜」のなかで読書が可能です。



読書の杜（出典：おおぶ文化交流の杜ホームページ）

◆サービス：下表のように、ホールと密接に連携してにぎわいの創出を図っています。

ホールイベント	図書館特集展示
十四世野村又三郎 新春笑い・狂言入門編	狂言と能
コーチングの可能性～スポーツが上手くなるコツって？～	コーチングの可能性
allobu で始める iPad 講座（図書館協同企画）	はじめての iPad
青島広志の歌とピアノと作曲の 現場をのぞく	クラシック音楽 青島広志特集

また、ICT 技術の導入がされており、セルフ予約棚による資料の貸出や自動貸出機、返却ポストの自動返却機能のほか、インターネットを通じて、電子書籍が借りられる電子図書館サービスや郷土資料アーカイブも提供しています。

岐阜市立図書館

- 【概要】
- ・所在地：岐阜県岐阜市司町 40 番地 5
 - ・開 館：平成 27（2015）年 7 月（直営）
 - ・床面積：約 15,225 m²
 - ・蔵書冊数：約 30 万冊

◆経緯：中心市街地に位置する岐阜大学医学部等跡地に「つかさのまち夢プロジェクト」として、岐阜駅—長良川—金華山をつなぐ緑の拠点、文化の森をコンセプトに整備されました。建築にあたっては金華山の景観にも配慮し、山のうねりのような外観となっています。低層で敷地いっぱいに広がったにぎわいのある「まち」のような建物を目指して設計されています。



外観

◆施設概要：図書館は複合施設「みんなの森 ゑふメディアコスモス」の中核施設です。知の拠点の役割を図書館が担い、絆の拠点として市民活動センターと多文化交流プラザ、文化の拠点として展示ギャラリーがあります。他にもコンビニエンスストアのローソンが設置されており、平成 28 年 2 月にはスターバックスコーヒーの出店も予定されています。図書館への直営店出店は武雄市図書館に続いて 2 店舗目となります。

図書館は 2 階全体と 1 階の一部を占めており、その広大なフロアを「グローブ」と呼ばれる巨大な傘でゾーニングしています。デザイン性が高く、ユニークな空間演出が特徴です。天井は岐阜の県産材である「東濃ひのき」を使用した格子屋根が構造材になっています。



グローブと木製格子屋根

学習席やテラス席を含めると 910 もの座席が用意されています。グローブの真下を居心地のよいスペースと捉えて多くの閲覧席を配置しており、滞在を強く意識した施設となっています。

◆ICT サービス：アナログで柔らかい館内の雰囲気とは対照的に、ICT 技術も積極採用されており、IC によるセルフ予約棚での資料受取が可能となっています。また各種データベース、無線 LAN 環境なども整備されています。

これら先進事例の検討から導き出されるポイントは、次の通りです。

➤ **複合化**

図書館単独での整備は少なく、他の施設・機能との複合や合築による整備が増えています。生涯学習施設、ホール、子育て支援、市民活動支援、青少年育成支援等、複合される施設や機能などは多様です。また、カフェ等飲食施設、商業施設、クリニック等、民間収益業施設との複合・合築も事例が増えています。

これらは効率的な行政サービスの提供及び施設管理の実現、市民の利便性向上と施設・機能同士の相乗効果によるにぎわい創出という効果が期待できます。

➤ **ICT 技術の積極活用**

最新の ICT 技術の導入は、どの図書館においても避けて通れない課題です。

図書館 IC の導入により、資料持出し防止、貸出・返却・予約受取のセルフ化、蔵書点検作業や書庫出納の短縮化などが図られますが、携帯端末との乗り入れなども始まっており、IC の活用による業務効率化とサービス向上は、今後も発展していくことが予想されます。

有料データベースや電子書籍等、デジタル資料の導入も進んでいます。さらに地域資料のデジタル化により、貴重資料を誰にでも閲覧可能にしたり、検索可能とすることで使いやすくするサービスも拡大しています。今後はデジタルサイネージ⁵⁾やポータブルなデバイスの活用、パブリックビューイング⁶⁾の導入などを検討しているところもあります。

これら最新技術導入による効果は、サービス向上、業務効率化というだけでなく、図書館という場の価値を向上させ、地域の情報発信拠点として図書館が位置付けられていくことにつながっていきます。

➤ **滞在型**

「滞在型」もキーワードの一つです。くつろげる空間、多様な座席、カフェ等の併設などはどの図書館でも行われており、音や香り、緑による空間演出を行うところもあります。

高齢世代、子育て世代を中心に、図書館がゆっくりくつろげる場であるとともに、同世代との交流や情報交換ができることも重要です。そうした環境が、さまざまな市民交流（異なる世代、市民と観光客など）を創出することも期待できます。

➤ **デザイン性**

ユニバーサルデザイン⁷⁾であることは言うまでもなく、「居心地の良さ」「カッコよさ」「シンボル性」という観点からも図書館のデザインは重要です。

誰もが行ってみたいと思う図書館はにぎわいの創出とともに地域への愛着と誇りを醸成し、図書館自体が観光資源として機能する可能性をもっています。

➤ **地域への波及効果**

複合化、滞在型、デザイン性という要素は、図書館が本来持つ集客力を増幅させ、いっそうのにぎわい創出に貢献することで、地域への波及効果が大きくなります。さらに、図書館が地域の機関・団体と連携することで、より価値の高いサービスを提供できる可能性があります。

- 5) デジタルサイネージ:液晶ディスプレイなどによる映像表示装置で、看板やポスターなどを電子化して映すことにより情報伝達を行うもの。
- 6) パブリックビューイング:スタジアムや公園・広場の特設会場などに設置された大型スクリーンで、別の会場で行われているスポーツの試合を観戦すること。また、それを目的としたイベント。
- 7) ユニバーサルデザイン:障害の有無にかかわらず、すべての人にとって使いやすいようにはじめから意図してつくられた製品・情報・環境のデザインのこと。

3 図書館整備に必要な機能とサービス

(1) 現状の課題の整理から導き出される図書館整備の方向性

1 章及び 2 章から見てきた図書館の現状・課題・ニーズと、対応策として考えられることを整理すると、次のようになります。

	現状・課題・ニーズ	対応策として考えられること
統計データから	入館者数、貸出数、新規登録者数の減少	新たな利用者の掘り起し アクセスの改善（場所の移転、交通手段の確保、開館時間の拡大、駐車場の拡充等） 魅力あるサービスの導入 資料の増加
	インターネット予約、館内インターネット利用の増加	非来館サービスの充実 インターネット利用環境の整備
アンケート調査、ヒアリング調査、意見交換会の意見から	利用者層・利用のされ方の固定化	新たな利用者の掘り起し 貸出以外のサービスの充実
	立地や駐車場の改善を求める声が多い	アクセスの改善（場所の移転、交通手段の確保、駐車場の拡充等）
	空間的ゆとりや席の増加を求める声が多い	蔵書数・サービス計画にあった適正な平面計画 席数の増加
	資料の充実を求める声が多い	資料の増加
	飲食できることへのニーズが高い	カフェの設置 自動販売機の設置 飲食できるコーナーの設置
	学校図書館への支援	児童生徒の読書活動・調べ学習を支える 資料の充実 学校図書館の選書やレイアウト等活動全般への助言 出張読み聞かせやブックトークの実施
	小中学生の利用率向上	魅力ある資料・情報の提供 Wi-Fi 環境やおしゃべり、飲食等できる場所の確保

	現状・課題・ニーズ	対応策として考えられること
アンケート調査、ヒアリング調査、意見交換会の意見から	子ども連れでは行きづらいと感じている	親子で気兼ねなく行くことができる環境の確保 授乳室、おむつ交換ベッドの確保 託児や育児相談サービスの導入 ベビーカーの通れるスペース及び置き場所の確保
	(機関・団体として) 図書館の持つ資源をもっと活用したい	ニーズに応じた資料の充実 団体貸出の拡充 出張読み聞かせ等の実施 各機関・団体と連携した相互の情報提供 講座の共同開催
	場としての機能の充実・拡張	アクセスの改善(場所の移転、交通手段の確保、開館時間の拡大、駐車場の拡充等) 高齢者や障害者にも居場所がある空間づくり 市民交流の機会となるサービスの提供 瀬戸市の歴史や文化を知ることができるサービスの提供 バリアフリー化
瀬戸市の現状、上位計画から	人口減少への対応	子育て支援サービスの提供 地域産業や観光と連携したサービスの提供
	瀬戸市の歴史や文化などの資源を活かしたまちづくり	せともの資料収集の強化 資料デジタル化による活用拡大
先進事例から	施設・機能の複合化	子育て支援、文化施設等との複合
	最新の ICT 技術への対応	電子書籍、デジタルアーカイブ、図書館 IC システム等の導入
	滞在型施設	居心地の良い空間の確保 カフェ等の設置
	デザイン性	瀬戸市の歴史性等を意識した外構・内装デザインの検討
	地域への波及効果	市民参加による運営 地域の機関・団体と連携したサービスの提供

このように、入館者数の減少、立地や駐車場の改善、資料の充実、地域への波及効果など多くの課題があり、これらの課題に対応していくためには、新しい利用者の開拓をはじめとし、アクセスの改善やスペースの充実、カフェや Wi-Fi などによる施設の付加価値向上、各機関や団体などと連携したサービスの展開、瀬戸の魅力や資源の活用などを行っていくことが必要となります。

以上のことから、新しい図書館のイメージは、多くの市民が気軽に訪れる場であるとともに、さまざまなつながりを持てる場となり、また、瀬戸の歴史や文化などを知ることにより、地域に愛着を持てる場となることが求められています。そのため、瀬戸市立図書館整備の方向性については、次の3点とします。

- ① 誰もが行きやすい、行きたくなる図書館
- ② 瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館
- ③ コミュニティの核となる図書館

それぞれの方向性が求める図書館のイメージは、次の通りです。

※掲載している画像はイメージです

①

誰もが行きやすい、行きたくなる図書館

現在の図書館のアクセスの悪さは衆目の一致するところであり、早急な改善が必要です。高齢者、親子連れ、障害者等、誰もが行きやすい立地を検討する必要があります。駐車場についても同様に改善が求められます。

また、立地や駐車場だけでなく、自動車以外の図書館までの交通手段をどのように確保するかについても、検討が必要です。

新しい利用者を開拓するために、行ってみたくなる魅力を図書館に持たせることも重要です。施設としての魅力を持たせるには、「空間」の作り方が大きな要素を占めます。開放的でゆったりとしたくつろぎが得られる空間設計、にぎわいから静寂まで目的に応じて居場所を得られるゾーニング計画、居心地の良いデザインなどの検討を十分に行う必要があります。

来館者アンケートでも「明るく」「きれいに」という要望が多く、小学生へのアンケートではトイレの改善についての要望が挙がっています。こうした要望から実現していくことで、図書館の魅力は格段に上がるでしょう。

もちろん、「空間」とともに「サービス」の充実が必要です。提供する資料・情報の充実、スタッフの専門性の向上、講座などのイベントの充実など、図書館が新しくなることで取り組めることはたくさんあります。



にぎわいの創出につながる場となることも重要な要素です。図書館以外の公共施設や商業施設と複合、または隣接させて整備すれば、多様な目的をもった市民が集まり、まちの活性化にもつながります。

まちなかの回遊性を重視する「せと・まるっとミュージアム」の中に図書館も位置づけることで、観光客も取り込んだにぎわいの創出も可能になります。

さらに、本館自体へ行くことだけでなく、瀬戸市内どこに住んでいても図書館のサービスが受けられるようにしていくことも「図書館サービスへのアクセス」を向上させるという点で重要です。

地域図書館の整備充実を図っていくほか、団体貸出・郵送貸出・移動図書館など既存のサービスの利用拡大も必要です。インターネットを使ったレファレンスへの対応や、電子書籍の貸出なども検討していく必要があります。

加えて、図書館サービスの PR をより積極的に行っていく必要があります。来館者アンケートでは、図書館ホームページを「利用しない」という回答が 30%以上あり、新たな手段を検討することが求められます。フェイスブックや Twitter といったソーシャルネットワークサービスを活用することで、若い世代を中心にアピールすることなどが考えられます。

②

瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館

日常使いのやきものの代名詞といえば「せともの」というくらい、瀬戸のやきものは日本人の生活の中に定着しています。この 1000 年を超える歴史と伝統は瀬戸市民だけでなく日本人にとっても重要な資産であり、継承と発展は瀬戸市にとって重要な課題です。

図書館には現在も陶磁器関係の資料が一定量保存されていますが、その活用は十分ではありません。来館者アンケートでも「見にくく、分かりにくい」という声があり、提供の仕方に工夫が必要です。

陶磁器関係を中心に、瀬戸市とその周辺の歴史や文化を物語る資料をより積極的に収集することで、瀬戸市について何か知りたい時には、図書館に来れば解決できるようにしていくことが求められます。瀬戸窯業高校や瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会のヒアリングでは、市内各所にある陶磁器関係の資料を集約していくことへの提案もあり、市民の協力を求めて、図書館への資料集約を進めていくことも検討する必要があります。



資料のデジタル化を含め、一層の活用が図れる方策を検討する必要があります。具体的には、クリエイターの創作活動への資料提供、学校教育における地域学習としての教材化、観光情報としての発信、シティプロモーションへの活用など、瀬戸市の新たなブランディングに資する利用のしかたが考えられます。

瀬戸尾張旭郷土史研究同好会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、瀬戸商工会議所等の団体や、瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸市美術館、瀬戸市新世紀工芸館等の施設とも連携し、瀬戸市の歴史や文化を知る講座を開催したり、図書館内での常設展示・特集展示を積極的に行うことも求められます。

瀬戸市のことに詳しい市民にボランティア講師になってもらい、勉強会や観光客向けの資料の解説などを行ってもらうことも考えられます。

岐阜県の大垣市図書館でも、美濃焼の産地という地域特性を活かして「陶磁器資料コレクション」を充実させることで地域活性化につなげていることが評価され、「Library of the Year 2015」大賞を受賞しています。このような先行事例も参考にし、またこうした図書館とも連携しながらやきもの産業の PR、地域情報の発信につなげていくことが求められます。

③

コミュニティの核となる図書館

図書館が持つ資源（資料、場、スタッフ）を市民が活用し、生活をより豊かにしていくとともに、市民同士であらたなつながりを作ったりまちづくりに積極的に参加したりするようになることを「コミュニティの核となる図書館」とイメージします。

図書館は地域の生涯学習の拠点として、さまざまな機関・団体・個人と連携して地域の課題解決を手助けする役割を担うことができます。

また、図書館に集う市民が、図書館が持つ資料・情報や、図書館で行われている行事等の活動にインスパイアされ、新たな活動を創造的に進められる場を提供することも求められます。

子育て支援、産業・観光の活性化など、瀬戸市が抱える課題を克服していくためには、市民が自ら学び、課題を解決していく場を作る必要があります。関連する資料・情報の収集と提供とともに、同じ課題を抱える市民同士が図書館に集まり、学び合ったり情報交換したりできる場を創出していく必要があります。

地域の様々な機関・団体と連携したサービスを行っていくことも必要です。連携先は、学校、保育園、幼稚園、子育て支援施設、社会福祉施設、医療機関、生涯学習機関、大学、企業、NPO 等、無数に考えられます。ヒアリングでは、図書館という場を使って講座等の事業を行いたいという団体の意見もありました。市民ニーズに沿いながら、どのような連携が最も効果的かを考えながら、サービスを構築していくことが求められます。



また、地域図書館と密接に連携し、きめ細かいサービスの提供を行っていくことも「コミュニティの核」としての図書館に求められることになります。

(2) 具体的な図書館サービスの検討

以上のような方向性を踏まえ、具体的な図書館サービスの中身について、次の 4 つのテーマから検討します。

① 子どもと子育て世代のためのサービス

たくさんの子どもが元気に成長すること、子育て世代の定着は瀬戸市にとって最も重要なテーマの一つであり、図書館においても重視する必要があります。

読み聞かせやおはなし会、ブックスタート等従来のサービスを継承し、発展させていくことのほかに、次のサービスの検討が必要です。

・子どもの読書環境の整備充実のために

「瀬戸市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内学校・幼稚園・保育園・ボランティア団体等と積極的に連携しながら、子どもの読書環境整備を進めます。

ブックスタート事業が定着する中で、発達段階に応じたフォローが求められます。乳児から幼児に成長する段階で本を手渡すセカンドブック事業等の検討が必要です。

・親子で気兼ねなく使えるために

一般開架や参考資料コーナー、新聞雑誌コーナー等と分け、子どもが声を上げたり遊んだりすることを許容するような空間的設えが必要です。

子どもの遊び場、授乳やおむつ交換ができる部屋、託児サービス等の導入の検討が必要です。

・親同士の交流を促す仕掛け等

親子で参加できるレクリエーション、育児コンシェルジュによる相談会等の実施により図書館に行くきっかけを増やし、図書館に来た親同士が仲間を作り情報交換し、お互いに助け合うことで子どもを育てやすい環境作りに図書館が貢献することができます。交流の場として、カフェ等の設置の検討も必要です。

またイクメン読み聞かせ講座など、父親向けの事業を企画することも必要です。



② 地域に活力をもたらすためのサービス

さまざまな世代・属性の市民がそれぞれの目的に応じて活用でき、かつ互いに交流できる機能の検討が必要です。

市民講師による講座から専門性の高い講座、講演会の実施などのほかに、次のようなサービスの実施を検討する必要があります。

・利用対象別サービスの充実

利用対象に応じたサービスの充実を図る必要があります。

中高生等ヤングアダルト層には、音楽やファッション、スポーツなどこの層が関心の高いジャンルの資料・情報などとともに、将来の進路選択に資するような資料・情報の収集なども必要です。また、彼ら自身が企画に参加するイベントの実施なども検討すべきでしょう。ヤングアダルト層にニーズが高い、無線 LAN 環境や飲食可能なエリアの整備なども必要になってきます。



シニア世代には、健康や医療、介護、年金、余暇等、関心の高い資料・情報を収集していく必要があります。また、活動的なシニア層が増えていくことも踏まえ、図書館の事業に積極的に参加してもらうこともあり得ましょう。一方で地域の中で孤立する高齢者が出ないように、地域の人とふれあえる講座等イベントの実施も求められます。

障害者向けには「障害者差別解消法」が平成 28 年 4 月から施行されることを念頭に、図書館利用のバリアとなるものを極力取り除くことが求められます。その一つとして、電子図書館システムの導入があります。在宅での電子図書の貸出や文字拡大、音声読み上げなど、容易にできる仕組みの導入を検討することができます。

外国人向けのサービスも検討する必要があります。外国人観光客誘致なども念頭に、多言語による情報発信を検討する必要があります。

・地域の課題を解決するための連携

医療健康、社会福祉、子育て、コミュニティビジネスの創出、防犯防災など、地域が抱える課題に対応するため、関連する資料・情報を収集するだけでなく、それぞれの課題を解決できる専門機関・団体と連携し、課題を持つ市民と解決に導く専門家をマッチングする場を図書館が提供することを検討します。

・テーマ性のあるイベントの実施

青少年に科学に関心をもってもらうため、地域内の大学や専門機関と連携し、ワークショップなど楽しみながら科学の知識が身につく場を図書館が作る事例なども参考に、陶磁器への関心を高めるイベントを関係団体と実施することを検討します。

③ 瀬戸市の歴史と文化を収集・整理し発信するためのサービス

陶磁器を中心とした瀬戸市関連資料収集の拠点となることで、瀬戸市のブランド力向上に貢献することができます。資料のデジタル化を進めることで幅広い利活用が促進されます。

・クリエイター支援

せともの制作を生業とする若手クリエイターが瀬戸市に定着してもらうため、創作活動の参考になる資料・情報を収集し提供します。

3Dプリンターを設置する図書館の事例も国内で出てきており、ものづくりを支える図書館として、ICT技術の活用についての検討も求められます。

定着したクリエイターには、図書館で市民向けワークショップや子ども向け陶芸講座を開催してもらうなどすることで、図書館とクリエイターの間でよりつながりが深まると考えられます。

・地域学習の教材化

デジタル化することで、高精細な画像で貴重な資料を閲覧できるようになるとともに、全国横断的にせともの関連資料を検索することも可能になります。学校における地域学習の幅が広がります。

デジタル教科書との連動も視野に、地域資料と教科単元を結び付け、図書館の資料も検索できるシステムの導入を検討することができます。

教材を冊子化することで、紙資料としても保存と活用を図ることができます。



・観光資源としての活用

館内にデジタルサイネージを設置し投影したり、ポータブルデバイスにデジタル化した資料を映し出して図書館スタッフが説明したりすることで、観光情報発信をより効果的に行うことができます。

また、まち歩きマップを作成し、デジタル化した瀬戸市の昔の写真や歴史に関する資料の画像などを地図とリンクさせ、瀬戸市全体の魅力がアピールできるツールを開発することができます。

④ 瀬戸市の教育を支えるサービス

学校との連携による資料の充実と調べ学習支援、幼稚園保育園等との連携による幼児から本に親しむ活動の推進等の検討が必要です。

大人向けの生涯学習講座の充実等も求められます。

・学校図書館支援センターの設置

市立図書館に学校図書館支援センターを設置し、専任のスタッフを配置することで、学校図書館の資料収集、授業支援、読み聞かせやブックトーク、図書館のレイアウトや広報の支援等、包括的に学校図書館業務を支えることが可能です。

・読書活動や調べ学習の支援

市民の読書活動、調べ学習を支援するため、読書通帳の導入、読書マラソン・ビブリオバトル⁸⁾等のイベント実施、コンクールへの応募促進等、さまざまな事業を実施していく必要があります。



・大人の生涯学習の支援

地域の歴史や文化、生活や仕事の課題、教養娯楽のためなど、さまざまなテーマにより講座を開催します。図書館においては資料・情報との関連性が重要になるので、常に講座に関連した資料の展示を行うとともに、スタッフが講座の中で資料の紹介を行っていくことで図書館利用のきっかけを作っていくことも重要です。

また、「地域に活力をもたらすためのサービス」の項でも触れましたが、活動的な元気な高齢者層が今後増えていくことを想定し、そうした層には図書館サービスの受け手としてだけでなく、図書館の事業に積極的に参加してもらうことも必要です。例えば、瀬戸市に伝えられる伝承や昔話、まちの移り変わり、昔ながらの遊びなどを子どもたちに伝えていく講座を開催することなどが考えられます。



8) ビブリオバトル:発表者が一定時間内に本を紹介し合い、参加者が最も読みたいと思った本を参加者全員の投票で決める催し。

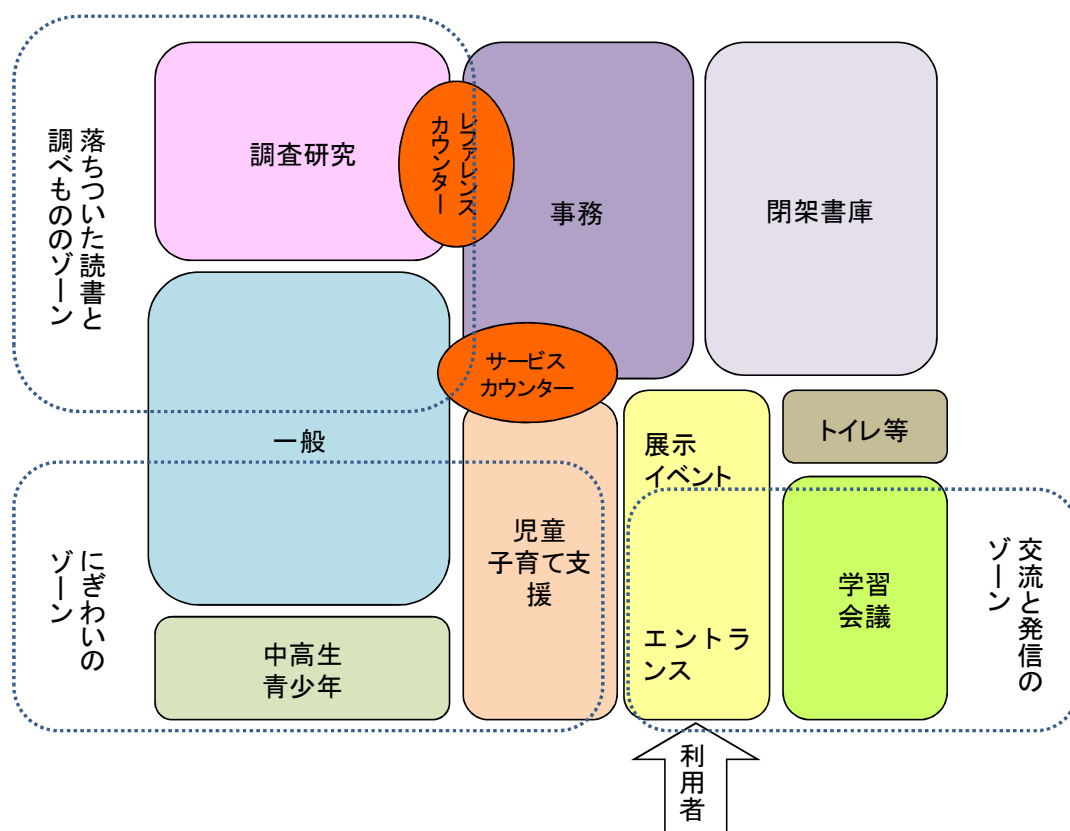
(3) 機能の配置の検討

ここでは、図書館サービスに必要な機能を施設内にどのように配置するか、についての検討を行います。ただし、施設規模や計画蔵書数、管理運営体制等については今後検討していくため、配置は、あくまで現段階でのイメージとなります。

① 平面的な検討

ワンフロア（1つの平面）で計画することで、利用者にも分かりやすく管理運営上も効率的な計画を行うことができますが、相当の敷地面積が必要になります。

【図 8】平面的な機能配置の検討イメージ



一般、中高生・青少年、児童・子育て支援、調査研究、それぞれのコーナーに適切な資料を配架し、閲覧席や検索用端末等を設けます。調査研究コーナーにはやきものを中心とした瀬戸市関連の資料を集積することが想定されます。

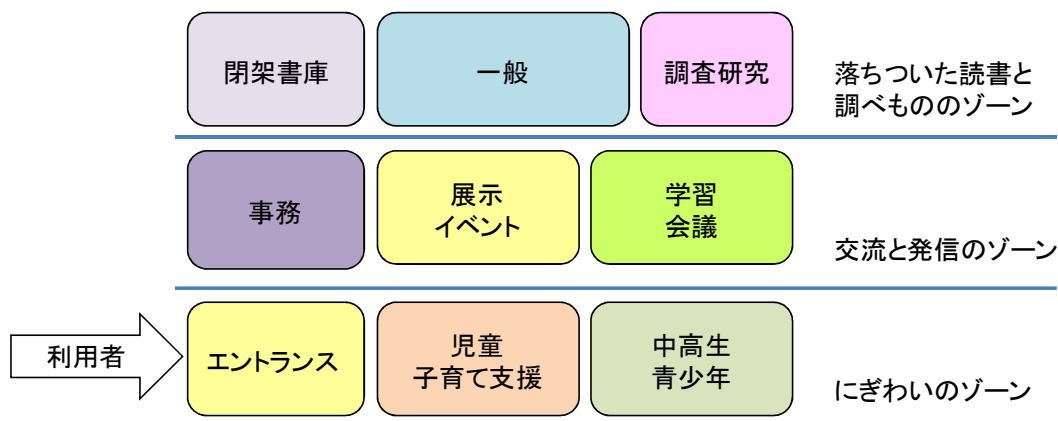
市民交流と情報発信のための集会室や会議室、学習室等を設けることも必要です。

児童・子育て支援コーナーは親子連れで気兼ねなく使える配置であれば、中高生・青少年のコーナーと合わせてにぎわいが出る空間となります。その場合、一般コーナー、調査研究コーナーとの間で音の抑制が課題となります。

② 階層的な検討

敷地面積が限られる場合、多層化による機能配置を検討することになります。ここでは3層を仮定した検討を行います。

【図9】階層的な機能配置の検討イメージ



多層化することにより、各階層の性格づけを明確化することができます。

例えば、1階をにぎわいのゾーン、3階を落ちついた読書と調べもののゾーンとし、2階に市民交流と情報発信のための集会室や会議室、学習室等を入れることで、1階のにぎわいと3階の静謐との間に緩衝地帯を設け、音の抑制が効果的になります。

多層化することで、内部に吹き抜けの空間をつくるなどの計画も考えられ、機能配置の自由度も上がります。

一方、閉架書庫を上階に置いた場合の床荷重の確保、効率的な縦動線計画の必要性、建築コストの増大などの課題もあります。

(4) 管理運営体制の検討

現在、国内の公立図書館の管理運営体制としては、自治体直営・一部業務委託・指定管理者 3 つがあります。それぞれの利点と課題は次の通りです。

	自治体直営	一部業務委託	指定管理者制度
利 点	・全員が自治体雇用者のため、組織運営の統一性が取りやすい。 ・自治体内他部局との連携、意思疎通が図りやすい。 ・職員が継続して配置される場合、サービスの継続性が担保しやすい。	・業務ごとに専門性の高い事業者任せることが可能。 ・公募による競争原理が働き、コストダウンとサービス向上が可能。 ・事業者によっては自治体の枠を超えた複数の図書館運営が行われ、全国的な運営ノウハウの蓄積、人材育成が可能。 ・開館日の増加や開館時間の拡大に対応しやすい。 ・同一業者が継続して運営する場合、職員の定着率、スキルが向上。	・民間事業者の自由な発想やノウハウの活用が可能。 ・公募による競争原理が働き、コストダウンとサービス向上が可能。 ・事業者によっては自治体の枠を超えた複数の図書館運営が行われ、全国的な運営ノウハウの蓄積、人材育成が可能。 ・開館日の増加や開館時間の拡大に対応しやすい。 ・同一業者が継続して運営する場合、職員の定着率、スキルが向上。
課 題	・ジョブローテーションによる異動がある場合、人材が定着しない。 ・開館日の増加や開館時間の延長等、業務の拡大に対応しにくい。	・自治体職員と受託者で業務が分断され、効率性低下の懸念。 ・契約期間があり、業務継続性が担保できない。	・指定期間があり、業務の継続性が担保できない。 ・コスト削減を重視しすぎるとサービス低下の懸念。

開館日の増加や開館時間の拡大、新しいサービスの導入等を行う場合には、民間ノウハウの活用も含めた検討が必要になります。

4 施設立地に関するケース検討

新しい瀬戸市立図書館の立地について、ヒアリングや市民意見交換会などでいただいた意見を参考にしながら、次の5つのケース（候補地）について検討を行いました。

- ① 現図書館地内
- ② 瀬戸市文化センター地内
- ③ 産総研瀬戸サイト跡地
- ④ パルティセと内
- ⑤ 深川小学校地内

検討の内容は、44・45 ページの通りです。ただし、本基本構想においては、あくまで現時点で想定されるケースとして検討したものであり、新しい図書館の候補地としての絞り込みを行うためのものではありません。

【参考】瀬戸市立図書館ケース別概算工事費算出の考え方

基本構想の段階では、具体的な立地条件や建設条件などの絞り込みより前の段階であるため、想定される5つのケース（候補地）について、それぞれの敷地条件などを考慮しつつ、既存施設を改修（不足分は増築）するとした場合と建替え（解体・新築）をするとした場合に分けて、概算工事費を算出しました。

最近の工事事例を参考に、改修及び新築（増築）の工事単価を次のとおりとします。

	工事単価（㎡）	参考事例
改修工事	24 万円	徳島市立図書館（平成 24 年開館）
新築（増築）工事	40 万円	豊後高田市立図書館（平成 25 年開館、約 43 万円） おおぶ文化交流の杜図書館（平成 26 年開館、約 40 万円）

なお、次の参考数値をもとに、新図書館の施設規模想定（延べ床面積）を「5,000 ㎡」と仮定します。

- ・日本図書館協会による図書館整備のための数値基準に基づき、瀬戸市の人口規模をもつ自治体に求められる図書館の延床面積を算出すると、5,561 ㎡になります。
- ・文部科学省生涯学習審議会社会教育分科審議会計画部会図書館専門委員会が平成 12 年に示した『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について（報告）』に付された「参考資料：(2) 数値目標の例」に基づき延床面積を算出すると、5,140 ㎡になります。

また、上記工事費以外に、次の費用が必要になります。

- ・外構、ICT、法適合工事費にかかる費用
- ・現図書館を工事する場合、陶板壁画移設費として約 5,000 万円
- ・什器備品整備費として、最近の事例を参考にとすると 10 万円/㎡

■既存施設の改修の場合

既存施設を図書館として利用する場合は、耐震性能、床荷重条件、防災安全性、その他現行法規への適合など、多くの要素を精査する必要があります。候補地ごとに立地条件・建物条件が異なるため、ケース（候補地）ごとの概算工事費とともに、現時点での課題を整理します。

<ケース（候補地）ごとの概算工事費及び課題>

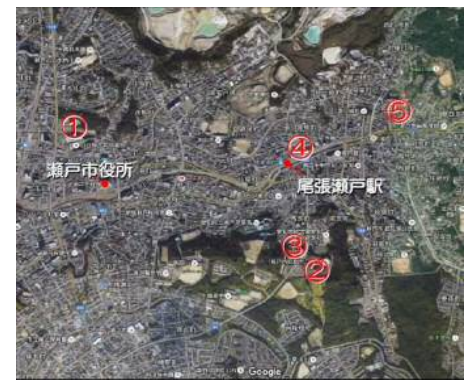
ケース（候補地）	概算工事費	課題
① 現図書館地内	約 18 億 800 万円	既存の図書館と歴史民俗資料館の改修だけでは想定規模より面積が小さくなり、増築が必要。周りが山地で傾斜地のため、造成工事、駐車場拡張に工夫が必要。
② 瀬戸市文化センター地内	約 14 億 7,200 万円	文化交流館の転用が想定されますが、想定規模に対し面積が不足する可能性があり、増築の検討が必要。図書館に対応するため床補強が必要。
③ 産総研瀬戸サイト跡地	約 16 億 6,000 万円	既存建物は想定規模の半分程度のため、改修に加え増築が必要。不特定多数を想定した建物ではないため、防災安全性の確認が必要。床補強が必要。
④ パルティセと内	約 11 億 2,800 万円	図書館に対応するためには、積載荷重を減らす什器レイアウトとするか、床補強が必要。
⑤ 深川小学校地内	約 16 億 5,200 万円	一部学校を利用しながらの工事には、安全確保が必要。また、図書館に対応するため床補強が必要。

■建替え（解体・新築）の場合

<ケース（候補地）ごとの概算工事費及び課題>

ケース（候補地）	概算工事費	課題
① 現図書館地内	約 20 億 8,800 万円	周りが山地で傾斜地のため、造成工事、駐車場拡張に工夫が必要。
② 瀬戸市文化センター地内	（建物を建替えることは今回は検討しない）	
③ 産総研瀬戸サイト跡地	約 21 億 6,000 万円	敷地内に駐車場が十分確保できない可能性がある。
④ パルティセと内	（建物を建替えることは今回は検討しない）	
⑤ 深川小学校地内	（建物を建替えることは今回は検討しない）	

■瀬戸市立図書館 ケース(候補地)比較表

ケース(候補地)		①	②	③	④	⑤
		現図書館地内	瀬戸市文化センター地内	産総研瀬戸サイト跡地	パルティセと内	深川小学校地内
						
工事方法のパターン (下線部は別紙工事費算出)		1) <u>既存施設の改修</u> (一部解体+改修+増築) 2) <u>建替え</u> (解体+新築)	1) <u>既存施設の改修</u> (改修+増築)	1) <u>既存施設の改修</u> (一部解体+改修+増築) 2) <u>建替え</u> (解体+新築)	1) <u>既存施設の改修</u> (一部(3, 4, 5階)改修) 2) <u>既存全面改修</u> (全て改修)	1) <u>既存施設の改修</u> (一部解体+改修+増築) 2) <u>一部改修</u> (学校機能は残して改修)
市民の利便性の視点 交通利便性、敷地スペース、駐車場確保、立寄りやすさ、他の用事を済ませられる	メリット	・小高い丘の上で、緑豊かな自然環境。 ・陶生病院に隣接しついでに立ち寄れる。	・文化ホールと美術館が隣接し、相互利用が期待できる。 ・敷地全体で駐車場の相互利用が可能。	・文化センターに近いので、気軽に相互利用できる。 ・文化センターの駐車場と相互利用が可能。	・駅近くのため、徒歩利用者には使いやすい。 ・他の商業施設を併せて利用することができる。	・隣接するせとつ子ファミリー交流館等との連携が考えられる。 ・散策ルートに絡めて歴史市街地の中心施設となりうる。
	デメリット	・駐車場が傾斜して危険。駐車スペースが少ない。 ・駅に近い立地だが、アプローチが傾斜道なので高齢者の徒歩利用や自転車利用は厳しい。	・敷地スペースが少ないので、単独の図書館を新築するのは難しい。 ・文化交流館を利用する場合は、現在の機能を他へ移転することが条件となる。	・規模によっては、敷地内駐車場が十分確保できないので、文化センターと相互利用が必要。 ・間仕切壁による空間の制約が大きい。	・現状の駐車場が少ないため、車での利用に支障が出る恐れがある。 ・立地環境や建物構造から考えて図書館としての静粛性確保が難しい。	・駅からの距離及び自動車のアプローチと駐車場の問題がある。 ・小学校存続中は駐車スペースの確保が難しい。 ・教室間仕切壁による空間の制約が大きい。
市の政策の視点 にぎわい創出、市街地活性化、瀬戸らしさ、魅力ある施設、文化教育の拠点、地域への愛着と誇り	メリット	・緑豊かな自然環境がある。	・文化ホールや美術館との連携した企画等が可能。文化の中心地区としての相乗効果が期待できる。 ・緑豊かな自然環境がある。	・近隣の文化センターとの連携が可能。文化の中心地区としての相乗効果が期待できる。 ・比較的、緑の多い自然環境。	・駅に近いため公共利便性が高い。商業施設との相乗効果でにぎわいの向上が期待できる。	・深川地区でにぎわいの創出の一助となる。
	デメリット	・隣地の陶生病院は瀬戸市の重要な施設であるが、活性化につながる連携は希薄。	・中心市街地のにぎわいに直接的につながる立地ではない。	・中心市街地のにぎわいに直接的につながる立地ではない。	・駐車場が少ない。	・ファミリー交流館等の児童施設との連携は図れるが、成人のための施設連携は図りにくい。
備考			・駐車場の拡充の可否検討が必要。 ・床荷重条件の確認が必要。	・前面道路(大府線)に勾配があるため、アプローチの位置や方法の検討が必要。 ・改修の場合は床荷重条件の確認が必要。	・床荷重条件の確認が必要。 ・建物3, 4, 5階は瀬戸市が区分所有。	・床荷重条件の確認が必要。 ・小学校の存続、規模縮小のあるなしによって、計画が大きく変わる可能性あり。

■瀬戸市立図書館 概算工事費比較表

・ケース(候補地)ごとに**5,000㎡の図書館**を設置する場合の概算工事費を示す(④パルティセとのみ、3階～5階では5,000㎡を確保できないので、実際に確保できる面積で積算)

ケース(候補地)			①	②	③	④	⑤
			現図書館地内	瀬戸市文化センター地内	産総研瀬戸サイト跡地	パルティセと内	深川小学校地内
							
既存施設の改修の場合	仮定条件		現図書館1,400㎡を改修。 歴史民俗資料館800㎡を解体。 図書館3,600㎡を増築。	文化交流館3,300㎡を図書館へ改修。 西側に図書館1,700㎡を増築。	研究棟2,500㎡を図書館へ改修。 その他の建物1,500㎡を解体。 図書館2,500㎡を増築。	パルティセとの内、3階～5階4,700㎡ を図書館へ改修。	校舎棟2,400㎡を図書館へ改修。 体育館900㎡を解体。 図書館2,600㎡を増築。
	面積	解体面積	800㎡	0㎡	1,500㎡	0㎡	900㎡
		改修面積	1,400㎡	3,300㎡	2,500㎡	4,700㎡	2,400㎡
		増築面積	3,600㎡	1,700㎡	2,500㎡	0㎡	2,600㎡
	概算 工事費	解体工事費 (面積×4万円)	約3,200万円	0円	約6,000万円	0円	約3,600万円
		改修工事費 (面積×24万円)	約3億3,600万円	約7億9,200万円	約6億円	約11億2,800万円	約5億7,600万円
		増築工事費 (面積×40万円)	約14億4,000万円	約6億8,000万円	約10億円	0円	約10億4,000万円
		合計概算工事費	約18億800万円	約14億7,200万円	約16億6,000万円	約11億2,800万円	約16億5,200万円
建替えの場合	仮定条件		現図書館と歴史民俗資料館を解体 した後、5,000㎡を新築。	建物を建替えることは今回は検討し ない。	産総研瀬戸サイトを解体した後、 5,000㎡を新築。	建物を建替えることは今回は検討し ない。	建物を建替えることは今回は検討し ない。
	面積	解体面積	2,200㎡	-	4,000㎡	-	-
		新築面積	5,000㎡	-	5,000㎡	-	-
	概算 工事費	解体工事費 (面積×4万円)	約8,800万円	-	約1億6,000万円	-	-
		新築工事費 (面積×40万円)	約20億円	-	約20億円	-	-
		合計概算工事費	約20億8,800万円	-	約21億6,000万円	-	-

備考

- ・概算工事費には、外構、ICT、法適合工事費は含まれていない。
- ・現図書館を工事する場合、陶板壁画移設費として、約5,000万円を別途計上する必要がある。
- ・什器備品整備費として、最近の事例を参考にすると10万円/㎡を別途計上する必要がある。
- ・駐車場については、敷地ごとの整備可能台数を精査のうえ検討する必要がある。
- ・新築(増築)工事費の単価40万円/㎡は、豊後高田市立図書館(平成25年開館、約43万円)、おおぶ文化交流の杜図書館(平成26年開館、約40万円)の工事単価を参考にした。
- ・改修工事費の単価24万円/㎡は、徳島市立図書館(平成24年開館)の工事単価を参考にした。
- ・解体工事費の単価4万円/㎡は、刊行物(施工単価資料)および最近の工事事例を参考にした。ただし外構工事および杭撤去、アスベスト撤去など特殊工事は含まれていない。
- ・設定単価は平成24年～26年開館の類似例を基にしたが、平成27年現在の単価は物価上昇により10%～20%増となっていると考えられるほか、今後については景気の動向やリニア新幹線、五輪関連工事などによって工事費(建材価格・労務費等)が大きく変動する可能性がある。

5 図書館整備事業の今後の進め方

本構想は、市民のみなさんをはじめ、関係機関・団体からのアンケート、ヒアリング調査、市民意見交換会を実施し、パブリックコメントを経て、策定しました。

今後につきましては、本構想をもとにして、さらに幅広く市民のみなさんのご意見をいただき、図書館整備事業について、市民的な合意形成を図っていく必要があると考えています。

3つの方向性として整理した、「誰もが行きやすい、行きたくなる図書館」、「瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館」、「コミュニティの核となる図書館」を目指して、時間をかけて意見集約を図りながら、瀬戸市にふさわしい図書館のあり方について議論を重ねてまいります。

資料編

(1) アンケート集計結果.....	48
① 来館者アンケート.....	48
② その他アンケート.....	82
(ア) 小中学校図書主任教諭へのアンケート.....	82
(イ) 小中学校図書委員児童生徒へのアンケート.....	86
(ウ) 子育て世代へのアンケート.....	108
(2) ヒアリング内容のまとめ.....	113
(3) 市民意見交換会での意見.....	135

(1) アンケート集計結果

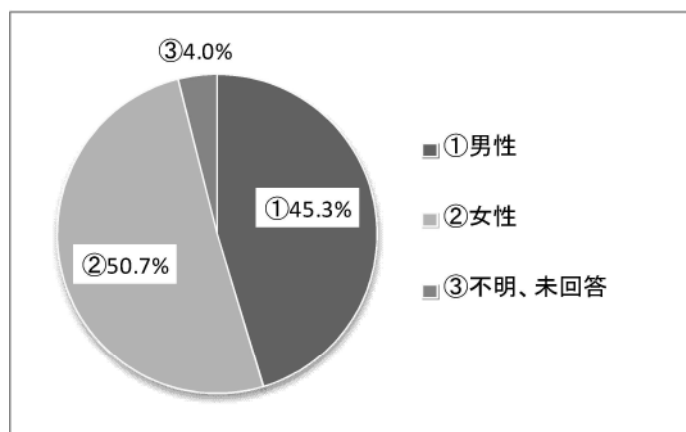
① 来館者アンケート

標本回収数

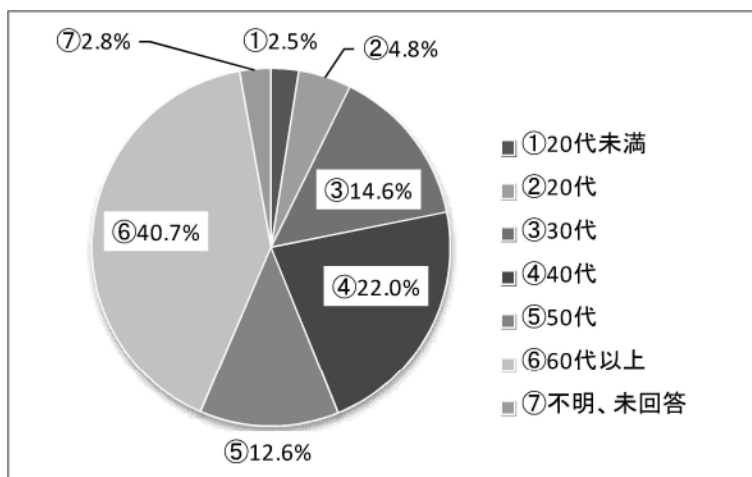
配布数	回収数	回収率
1,153	962	83.4%

回答者属性

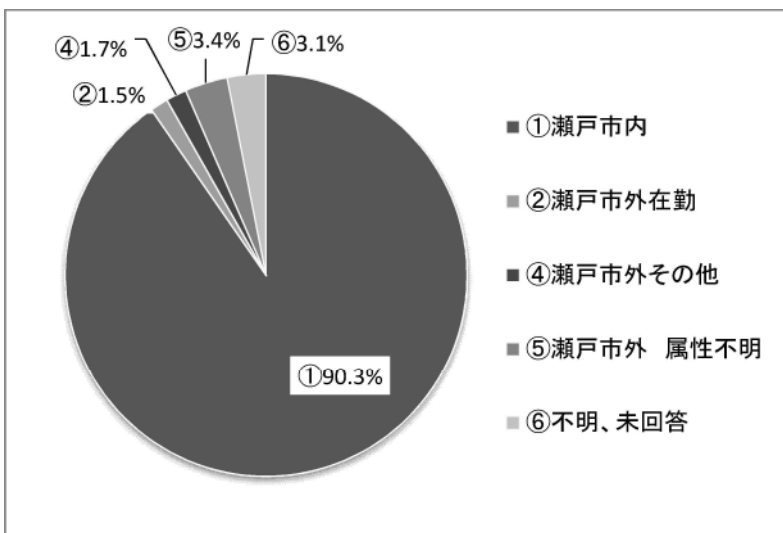
■性別	回答数	割合
①男性	436	45.3%
②女性	488	50.7%
③不明、未回答	38	4.0%
全体	962	100.0%



■年代	回答数	割合
①20代未満	24	2.5%
②20代	46	4.8%
③30代	140	14.6%
④40代	212	22.0%
⑤50代	121	12.6%
⑥60代以上	392	40.7%
⑦不明、未回答	27	2.8%
全体	962	100.0%



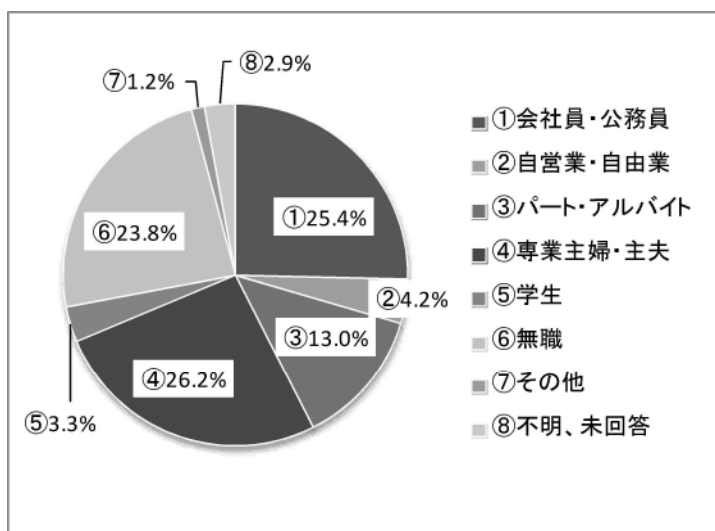
■ 住まい	回答数	割合
① 瀬戸市内	869	90.3%
② 瀬戸市外在勤	14	1.5%
③ 瀬戸市外在学	0	0.0%
④ 瀬戸市外その他	16	1.7%
⑤ 瀬戸市外 属性不明	33	3.4%
⑥ 不明、未回答	30	3.1%
全体	962	100.0%



瀬戸市外（具体的に）※カッコ内数字は同じ回答があったものの数、以下同じ

・尾張旭市（3）、豊田市、近隣（2）

■職業	回答数	割合
①会社員・公務員	244	25.4%
②自営業・自由業	40	4.2%
③パート・アルバイト	125	13.0%
④専業主婦・主夫	252	26.2%
⑤学生	32	3.3%
⑥無職	229	23.8%
⑦その他	12	1.2%
⑧不明、未回答	28	2.9%
全体	962	100.0%

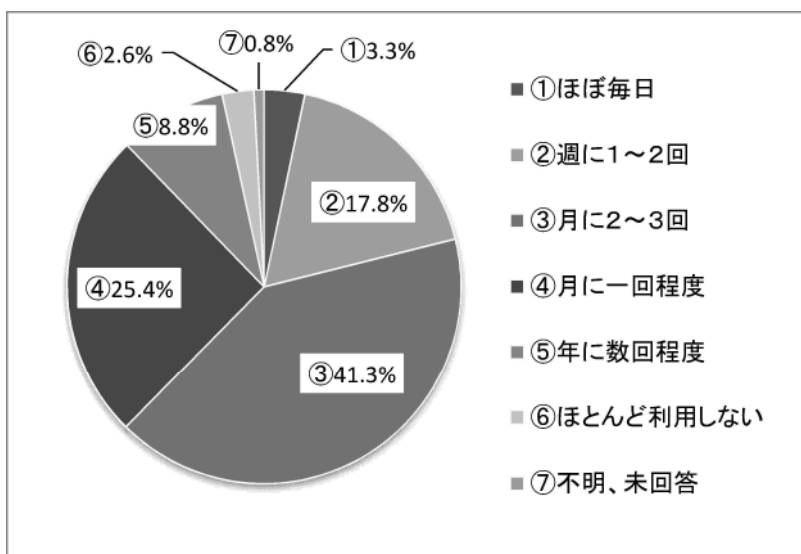


その他（具体的に）

・会社役員、契約社員、家事手伝い、団体職員

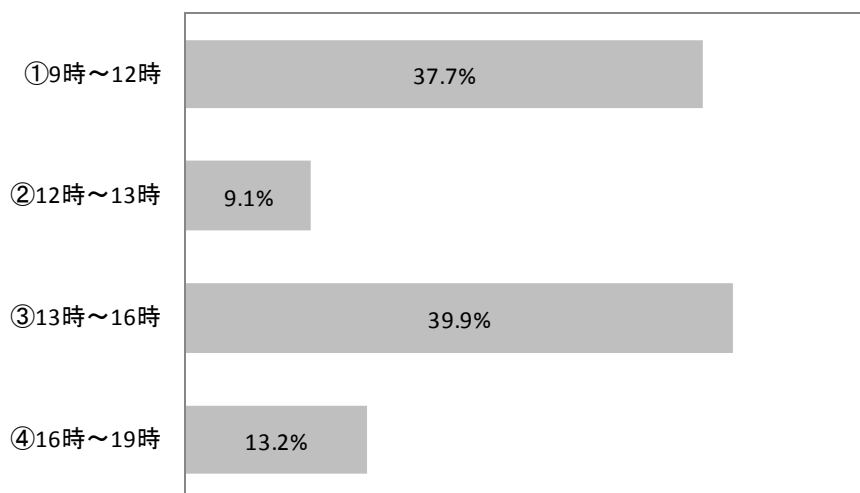
問1 あなたは図書館をどれくらいの頻度で利用されますか？

	回答数	割合
①ほぼ毎日	32	3.3%
②週に1～2回	171	17.8%
③月に2～3回	397	41.3%
④月に一回程度	244	25.4%
⑤年に数回程度	85	8.8%
⑥ほとんど利用しない	25	2.6%
⑦不明、未回答	8	0.8%
全体	962	100.0%



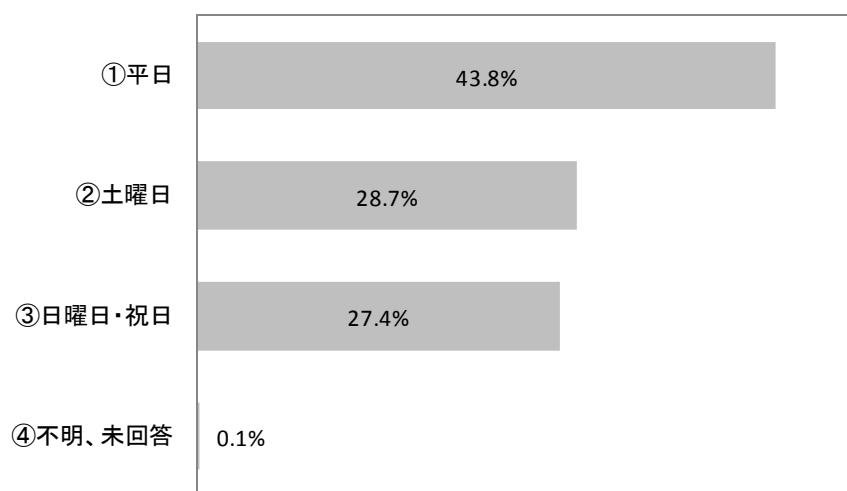
問2 図書館を利用される時間帯は主にいつですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①9時～12時	485	37.7%
②12時～13時	117	9.1%
③13時～16時	513	39.9%
④16時～19時	170	13.2%
⑤不明、未回答	0	0.0%
全体	1285	100.0%



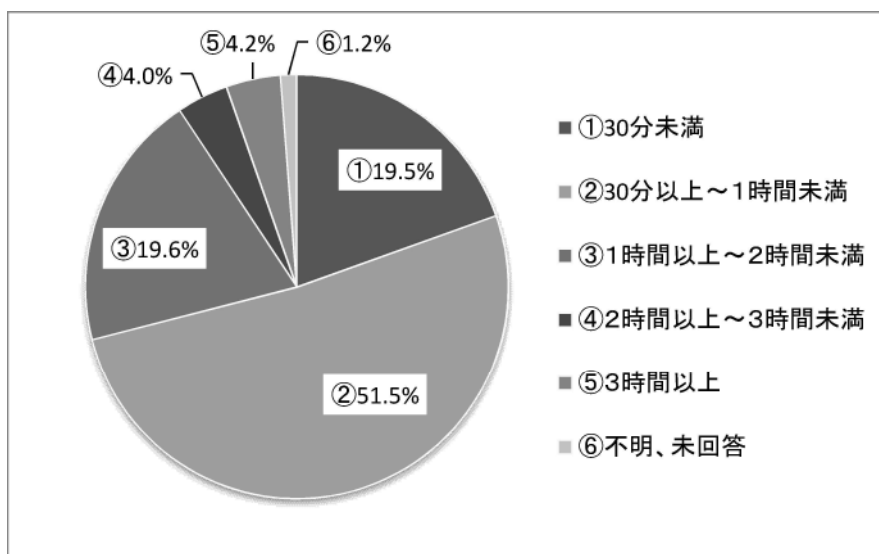
問3 図書館を利用されるのは主に何曜日ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①平日	598	43.8%
②土曜日	392	28.7%
③日曜日・祝日	374	27.4%
④不明、未回答	1	0.1%
全体	1365	100.0%



問4 図書館での滞在時間はどれくらいですか？

	回答数	割合
①30分未満	188	19.5%
②30分以上～1時間未満	495	51.5%
③1時間以上～2時間未満	189	19.6%
④2時間以上～3時間未満	38	4.0%
⑤3時間以上	40	4.2%
⑥不明、未回答	12	1.2%
全体	962	100.0%

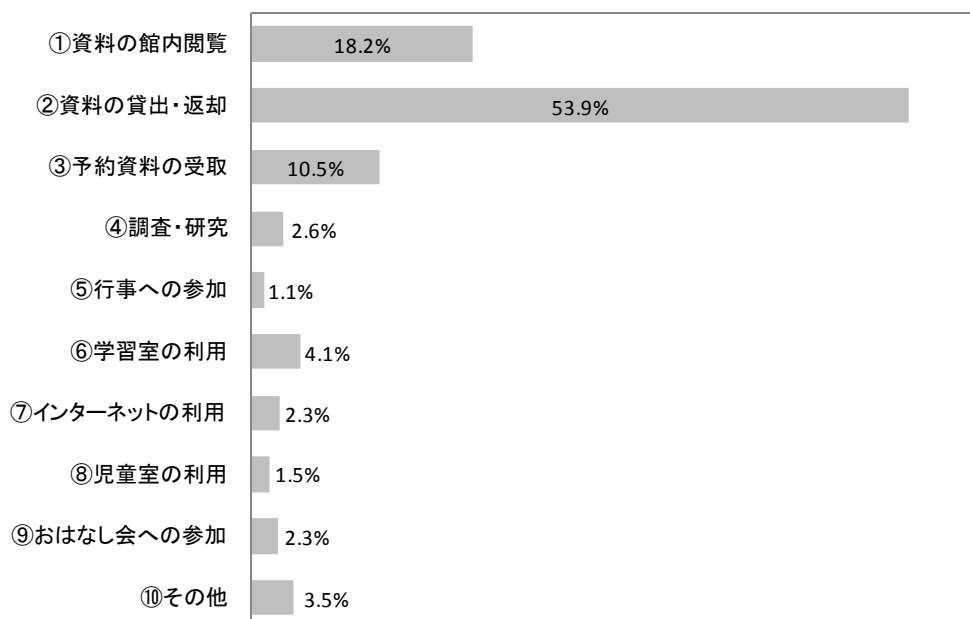


問5 あなたはどのような目的で図書館を利用されていますか？（複数回答可）

	回答数	割合
①資料の館内閲覧	259	18.2%
②資料の貸出・返却	767	53.9%
③予約資料の受取	150	10.5%
④調査・研究	37	2.6%
⑤行事への参加	15	1.1%
⑥学習室の利用	58	4.1%
⑦インターネットの利用	33	2.3%
⑧児童室の利用	21	1.5%
⑨おはなし会への参加	32	2.3%
⑩その他	50	3.5%
⑪不明、未回答	0	0.0%
全体	1422	100.0%

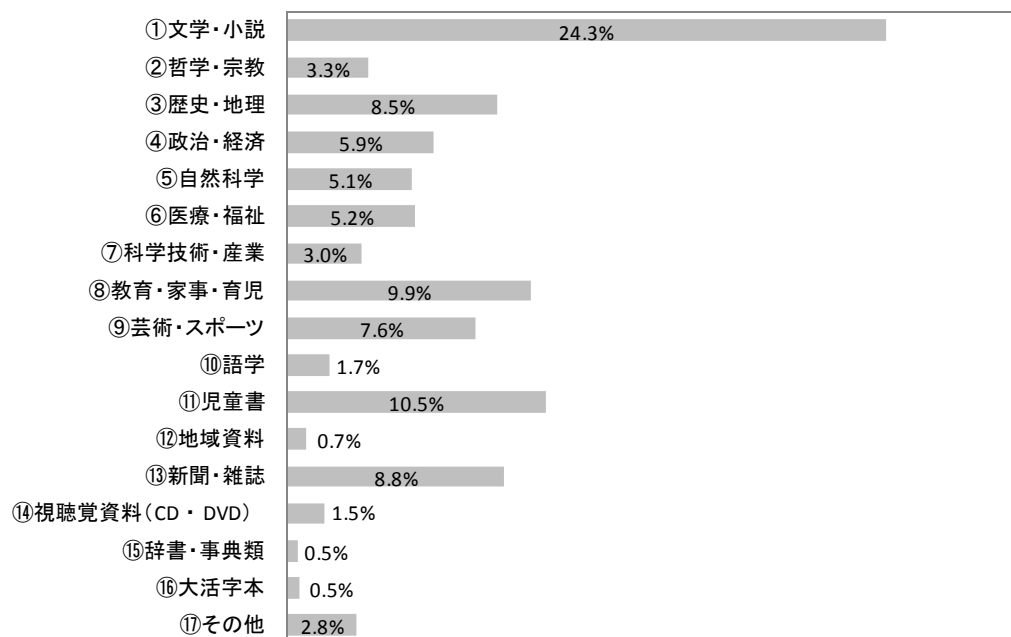
その他（具体的に）

- ・新聞を読む（9）、ボランティア（4）、子どもが借りる本の付添（5）、暇つぶし（2）、読み聞かせ、自習、興味本位、気分転換



問6 あなたがよく利用する資料はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①文学・小説	521	24.3%
②哲学・宗教	70	3.3%
③歴史・地理	183	8.5%
④政治・経済	127	5.9%
⑤自然科学	109	5.1%
⑥医療・福祉	112	5.2%
⑦科学技術・産業	65	3.0%
⑧教育・家事・育児	212	9.9%
⑨芸術・スポーツ	164	7.6%
⑩語学	37	1.7%
⑪児童書	225	10.5%
⑫地域資料	16	0.7%
⑬新聞・雑誌	189	8.8%
⑭視聴覚資料（CD・DVD）	33	1.5%
⑮辞書・事典類	10	0.5%
⑯大活字本	11	0.5%
⑰その他	60	2.8%
⑱不明、未回答	0	0.0%
全体	2144	100.0%



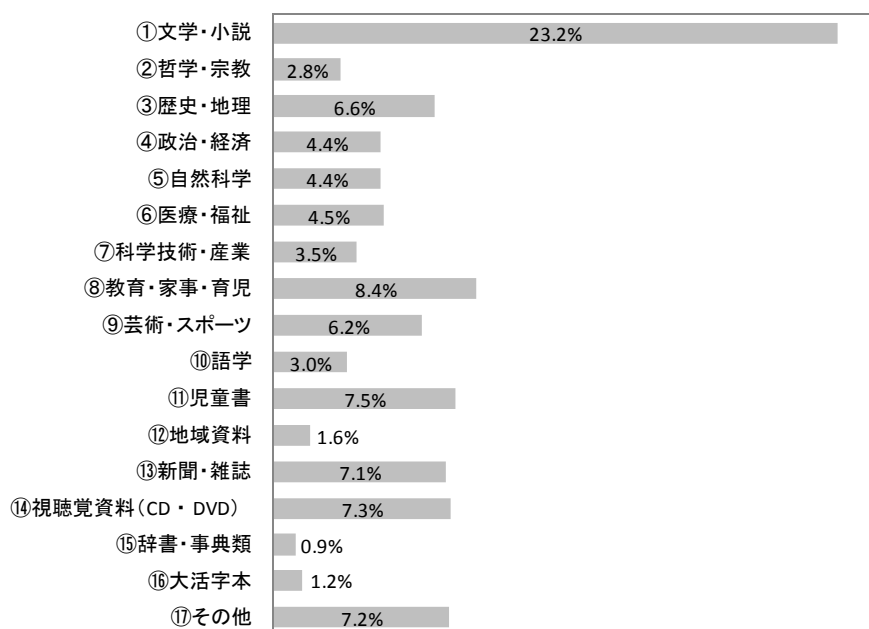
その他（具体的に）

- ・旅行、ガイドブック（8）
- ・料理（7）
- ・植物、ガーデニング（4）
- ・手芸、編み物（6）
- ・ペット（2）
- ・IT、パソコン（3）
- ・趣味（4）
- ・写真、短歌、カセット、かみしばい、法律、社会学、数学、物理学

問7 もっと充実してほしい資料はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①文学・小説	343	23.2%
②哲学・宗教	41	2.8%
③歴史・地理	98	6.6%
④政治・経済	65	4.4%
⑤自然科学	65	4.4%
⑥医療・福祉	67	4.5%
⑦科学技術・産業	51	3.5%
⑧教育・家事・育児	124	8.4%
⑨芸術・スポーツ	91	6.2%

⑩語学	45	3.0%
⑪児童書	111	7.5%
⑫地域資料	23	1.6%
⑬新聞・雑誌	105	7.1%
⑭視聴覚資料（CD・DVD）	108	7.3%
⑮辞書・事典類	14	0.9%
⑯大活字本	18	1.2%
⑰その他	107	7.2%
⑱不明、未回答	0	0.0%
全体	1476	100.0%

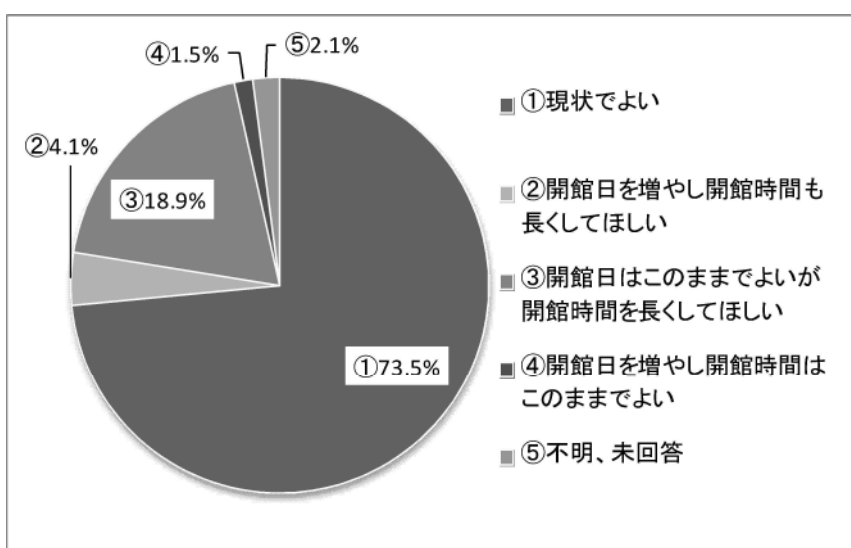


その他（具体的に）

- ・旅行、ガイドブック（10） ・料理（3） ・インテリア（2）
- ・植物・ガーデニング（2） ・手芸・編み物・ファッション（6）
- ・ビジネス（3） ・資格（3） ・IT・パソコン（6）
- ・美術（4） ・陶芸・窯業（2） ・写真集（2）
- ・法律（3） ・医療・福祉（2） ・洋書（2） ・文庫（2）
- ・教科書（2） ・アウトドア（2） ・書道（2）
- ・小説（時代小説、ライトノベル等）（5）
- ・雑誌（3）、CD（2）、コミック（2） ・新刊書（8）
- ・今のままでよい・満足（3）
- ・社会学、英語の児童書、新書、短歌、発達障害、物理学、軍事、建築、保育、し
かけ絵本

問 8 図書館の開館日及び開館時間についてどのように思われますか？

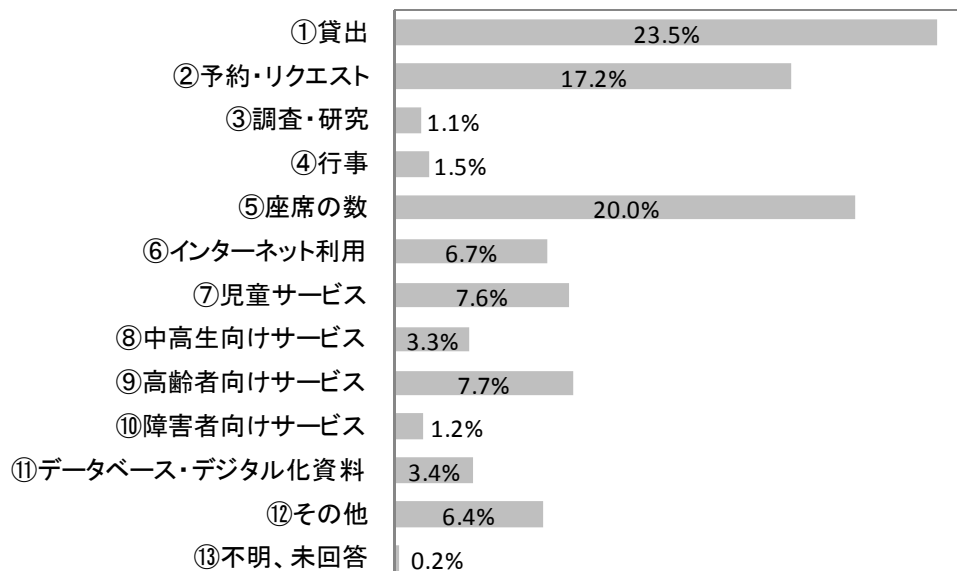
	回答数	割合
①現状でよい	707	73.5%
②開館日を増やし開館時間も長くしてほしい	39	4.1%
③開館日はこのままでよいが開館時間を長くしてほしい	182	18.9%
④開館日を増やし開館時間はこのままでよい	14	1.5%
⑤不明、未回答	20	2.1%
全体	962	100.0%



問 9 今後充実して欲しいサービスはどれですか？（複数回答可）

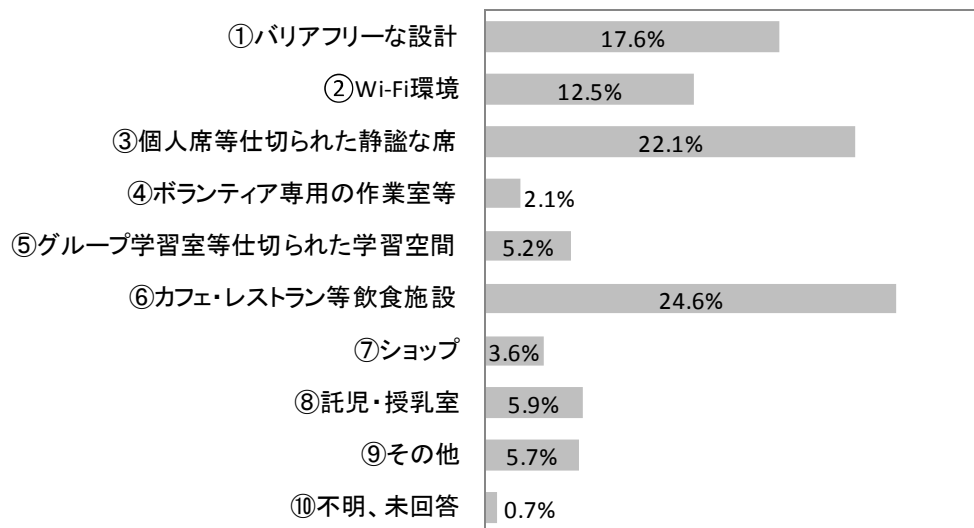
	回答数	割合
①貸出	308	23.5%
②予約・リクエスト	225	17.2%
③調査・研究	15	1.1%
④行事	20	1.5%
⑤座席の数	262	20.0%
⑥インターネット利用	87	6.7%
⑦児童サービス	99	7.6%
⑧中高生向けサービス	43	3.3%
⑨高齢者向けサービス	101	7.7%
⑩障害者向けサービス	16	1.2%

⑪データベース・デジタル化資料	45	3.4%
⑫その他	84	6.4%
⑬不明、未回答	3	0.2%
全体	1308	100.0%



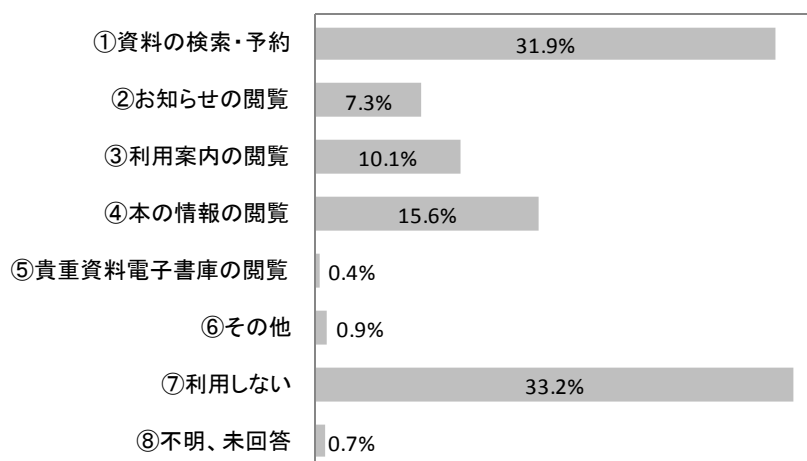
問 10 新しい図書館にどんな機能が必要と考えますか？（複数回答可）

	回答数	割合
①バリアフリーな設計	273	17.6%
②Wi-Fi 環境	193	12.5%
③個人席等仕切られた静謐な席	343	22.1%
④ボランティア専用の作業室等	33	2.1%
⑤グループ学習室等仕切られた学習空間	81	5.2%
⑥カフェ・レストラン等飲食施設	381	24.6%
⑦ショップ	55	3.6%
⑧託児・授乳室	91	5.9%
⑨その他	88	5.7%
⑩不明、未回答	11	0.7%
全体	1549	100.0%



問 11 あなたはどのような目的で市立図書館のホームページを利用しますか？（複数回答可）

	回答数	割合
①資料の検索・予約	326	31.9%
②お知らせの閲覧	75	7.3%
③利用案内の閲覧	103	10.1%
④本の情報の閲覧	159	15.6%
⑤貴重資料電子書庫の閲覧	4	0.4%
⑥その他	9	0.9%
⑦利用しない	339	33.2%
⑧不明、未回答	7	0.7%
全体	1022	100.0%

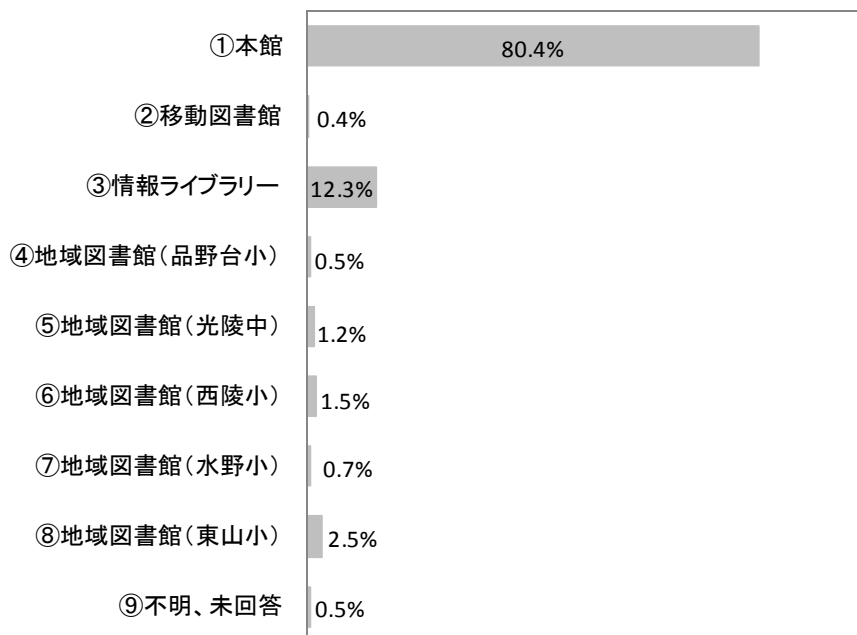


その他（具体的に）

- ・休館日（開館日）の確認
- ・学習室

問 12 あなたがよく利用する市内の図書館に○をつけてください。（複数回答可）

	回答数	割合
①本館	883	80.4%
②移動図書館	4	0.4%
③情報ライブラリー	135	12.3%
④地域図書館（品野台小）	5	0.5%
⑤地域図書館（光陵中）	13	1.2%
⑥地域図書館（西陵小）	17	1.5%
⑦地域図書館（水野小）	8	0.7%
⑧地域図書館（東山小）	27	2.5%
⑨不明、未回答	6	0.5%
全体	1098	100.0%



問 9 今後充実してほしいサービスはどれですか？ ⑫その他（自由記述）

駐車場について
駐車場・施設そのもののリニューアル
駐車場
駐車場への入りやすさ
駐車場の充実
坂道の駐車をやめて欲しい
貸出や予約について
10冊まで予約できると良い
貸出期間を長くしてほしい
HPで予約をする時に、予約人数が先に分かるようにして欲しい。今は予約しないと分からないので。尾張旭の予約ページは予約人数を見ることができる
予約、リクエストをネットからできるようにして欲しい
CD、DVDの貸出 豊田市レベルだと楽しい
貸出期間の延長
貸出期間を1ヶ月間にしてほしい
DVDの貸し出しを増やして欲しい
延長期限を1週間にして欲しい。本の予約は10冊まで可能にして欲しい
席や部屋、スペースの充実について
PC持ち込みの席数
学習室
本棚との間がせまい、もう少し広く通路を
館内で読書できるスペースを増やしてほしい
部屋数
せもたれのある座席
子供のスペース
学習室の充実
子供用のいすや机で子供がよめるかわいいスペース
机のある席(書き者、写す)
空間づくり、仕切り等による集中できるスペース
集会スペースの拡張
書庫でなく開架ですぐ手に取れるようにしてほしい
ゆったりした席
全て開架棚にしてほしい
閲覧室の質の向上

ベビースペース
全体のスペースをもう1段スペースアップしてほしい
書庫のスペースを広く、すれちがい出来るように
座席数というより綺麗にして欲しい
コーヒーコーナー
汚れたイスをきれいにしてほしい。Web作成の新しい本
館内を明るくして欲しい
雰囲気が暗いので明るくリフォームしてほしい(春日井図書館のような)
誰でも気軽に立ち寄れるようお願い致します
立地の不便さの解消
尾張旭図書館にあるような乳児・幼児が利用しやすい部屋。回りの方に迷惑かけず小さな子と気軽に利用したいです
学習室の空調が弱い。夏は暑く、冬は寒い
今すぐ自動販売機を置いて下さい
資料の充実について
スポーツ新聞の種類を増やす
大活字本を増やして欲しいです。
最近のものが貸出に少ない
新着図書を紹介
蔵書量
新しい本を入れてほしい
その他サービスの充実について
まずは図書館の形であるべき、現状では本の倉庫である
本選択の相談機能の充実
レファレンス機能の充実
館内の本を捜す時に検索出来る項目を増やしてほしい
過去に借りた本の記録がわかるサービス(図書館通帳のようなもの)
書籍の説明の帯をつけてほしい(昔はついていましたので便利でした)
国会図書館閲覧
図書館司書によるアドバイスが気軽に受けられるように希望します
蔵書検索、場所のプリントアウト←最近の本屋さんにあるやつ
読書会(大人向け)
USB利用で画像の収拾(有料)
現状でよい
現状で良い。十分サービスが行き届いている

現状で良い (3)
現状維持
今のままでよい
現状で満足しています
現在のまま
このままでよい

問 10 新しい図書館にどんな機能が必要と考えますか？ ⑨その他（自由記述）

立地について
出来る事なら市の中心部に
駅近く、かつ階段、坂なしの場所
現状の場所は坂の上に有り、今後年をとった時に利用できるか心配
平地の場所
入館しやすいこと（急坂は何故）
立ちよりたいと思える図書館にしてほしい
駐車場について
駐車スペース充実
駐車場の整備
駐車場 (3)
駐車場から本館へのアプローチ
駐車場の増設
使いやすい駐車場
広くて止めやすい駐車場
止めやすい駐車場
駐車場を利用しやすくしてほしい。
駐車場（台数と止めやすさ）
平らな駐車場
駐車場を広く、平面に。
駐車場がとめにくいので改善してほしい(斜面になっているので)
大型の駐車場
駐車場台数多くしてほしい
広い駐車場
設備の充実、駐車しやすさ
自動販売機、カフェ、飲食可能なスペースについて
自動販売機の設置

自販機設置の飲料を気兼ねなく飲むオープンスペース
ウォータークーラー、自販機
自動販売機→図書館の外
自販機
自販機、休憩室
1日中利用する時などにカフェなどがあるといい。図書館の飲食はダメなので外に車に乗らなくてもいいくらいの近くにあるといいと思う。ベビーカー、車いすでもOKなバリアフリーな設計。外からは見える個人席。自由に利用できる学習空間。幼児が自由に活動できるスペースがあると良い
自販機
以前雑誌コーナーにあった、簡単な飲茶設備
現状でいいが、飲料自販機は少しはあっていいのではないかな
スタバのようなカフェがあるとよい
高齢者にやさしい机といす。水飲み場（昔はありました）
休けいのみとれる飲食可の場所、カフェ等はいらないと思う
飲食可の休憩室
席や部屋、スペースの充実について
きれいな学習室
子どもが気軽に夏休みの宿題（自由研究など）ができるフリーなスペースがほしい
学生が本来の勉学を意見交換出来る場所
スペース的にゆとりのある施設
本を借りる（さがす）場所がせまい。夏はすごく暑い
パーティ瀬戸のような図書館の横にあるようなフリースペース（いすとテーブルある所）があると子どもたちがお話ししながら本について親しめていいと思います。夏休み等に自由研究や読書感想文をやれたらいいと思います
夏休み等にあるキッズルームの常設
スペースに余裕のある施設
とにかくゆっくりと広くてさがしやすい場所。倉庫のような所はいやです
2Fへの階段が急だし、せまいので広く安定感のあるものになればいい
キッズコーナー
学習空間は図書館に不要
車椅子やベビーカーが通れる広さの通路。誰でも利用できる集会室（会議室）
くつろげるような空間、子ども向けの空間
広い通路
小さい子が自由に遊べる空間

イス、机、読むスペース、子供スペース
開架のさらなる拡大
充実した子どもスペース
その他サービスの充実について
館内での検索資料は印刷できるように
パソコンを使用していいエリア（電源も含め）
カラーコピー機
便座トイレ
高齢者が多くなった。対応を願いたい
もっと新しい本がよみたい
書棚をもっと見やすく
下の本が見えにくい
公衆電話→年寄りには携帯もってない
カサ立てのロック、紛失たびたび
電話
本の充実
現状でよい
現状で充分だと思います。
現状で問題を感じない。お金をかけなくてもよい
現在のまま
現状で満足、シンプルでよいと思う
今のままでいい
このままでよい

問 13 その他、新しい図書館についてご意見・ご要望があれば自由にお書きください。

立地について
通い易い駅前などにあると良い
駅から近く、高齢者でも楽に行ける場所 現在は坂道で、歩いていくのは困難
中高生、高齢者、車をもたない人が楽に行き来できるところに移設
坂道で子連れには大変です
坂を上がらないところがいいなー
私は転勤が多く、全国のアチコチの図書館に行っていました。どこも本も豊富ですばらしい図書館でしたが、瀬戸の本館に来て倉庫みたいな所でびっくりしました。新しい場所は今は閉鎖されている独立法人産業・・・という建物がいいと思うのですが・・・
高台にあるため歩いて来る人は大変です。他の場所へ移転した方がよい

公共交通機関を利用しても行きやすい場所に移転して欲しい
平地への移転を早期にお願いしたい
現在は車利用のため、場所に不満はないが歩いて利用となると不便
現在の図書館は山の上にある為、出来れば平地等に建設されたい
読書スペースと席を増やして下さい
明るい雰囲気のある図書館に。せつかくの高台にあるのに、生かしきれていない
図書館の建替、移転と聞いているが、下の陶磁資料館も改装して、図書館は街の中心部より郊外のこの地域の方がよい
新しい図書館は出来るだけ場所を考えて現在の図書館とははなれたところに作るとよい
①現在の図書館を修繕して使うことを希望。②建て替えるなら名鉄、愛環鉄道の駅に近い新瀬戸駅近くに限る。③現在の図書館の交通が不便であるというのであれば新瀬戸駅—図書館—陶生病院を循環するバスを走らせればよい。エレベーターを作るのも一つの方法
新しく建て替えるのではなく、書架をふやす等の工夫で本をたくさんそろえていただきたいです
コミュニティバスの図書館乗り入れをお願いします
コミュニティバスを図書館までお願いします
移転するかどうかの意見を聞いてほしい。現状での建替が希望です。（中心地が便利だから）
誰でもが入りやすい立地と設計を！
現在の図書館は徒歩で来館する者にとって大変つらいです。あまりに急な坂道です。重い本持ち帰る（持参する）には、足が重いです。ご検討をよろしくお願い致します
立地的に不便に思う
たくさんの人が利用しやすい場所、坂道は大変
交通便の良い所。今のこの場所はとても良い。鉄道に近く、大病院にも近く、病院に来た時にもより易い
地理的に無理だと思いますが、ここに来るのはたいへん。新しい場所はないですよ
立地的に坂道なので大変
コミュニティバスが図書館の近くでとまるようにしてほしい
外に緑も有り、とてもよい環境なのにいかされていないのが残念です。中庭、噴水とかもう少し自然にふれる様な感じだと良いと思います
本館等、小人、大人も出入りが楽なフラットな所にしてほしい。今の場所は坂なので困る
平地で駅に近い便利な場所が望ましい
アクセスをよくしてほしい。（直前の坂は車以外では大変です）
情報ライブラリーのように、ついでに行ける場所。道路がこまない場所にあるといい
もっと平らな場所に作ってほしい

図書館の移転（坂では車いすでは入れない）
立地、現図書館はとにかく不便です。しかも山の上です。時代に沿った図書館を建設し文化的な町作りをして下さい
現在、坂の上に建物があり、歩いてくる人も駐車する人も大変、平らな所があると良い。駅などの近い所が良い
できれば、もう少し大きく、充実した図書館を新設してほしい
交通手段、坂がきつく年をとったらきつそう。車が運転できない高齢者とか
重い本を持って坂を上がるのは大変。交通が不便（車が無いと来る事が出来ない）陶生病院と道が同じなので混んでいる時は図書館に入るのが難しい
現在の市中心部では道路の混雑な中を来なくてはならないので、新しい図書館はいつそのこと郊外に作って欲しい。市の東側は児童数も少なくなりつつあり、地域の活性化になると思う。検討お願いします
坂の上にあるのは子どもや老人には辛いです
坂は不可。もっと広い便利な場所を希望
平坦な場所に新しい図書館を作って欲しい
車に乗れない人は利用しにくいだろうなと思います（下から登ってくるのは大変です）
平地に場所を変えてほしい
立地が、もう少し平地な所にあるといいなと思います。山の上にあって、現在は車で利用していますが歳をとったら利用がきびしいなあとと思います
自転車置場も坂の下にあるとうれしい
移転するなら、平地で混雑する交差点の近くでない所がいい
何せ便が悪すぎる。途中の坂道には年齢と共に毎年息が苦しくなる
広場
今より遠く離れたところに作らないでほしい
図書館が狭い
ベビーカーを押して図書館に来るまでが大変です。道の舗装等来やすくなると嬉しい
子供達が自転車で来館できる様な平地での図書館が望ましいです。坂道は危険と思ってしまい、なかなか本人達同士では行かせてあげられなくて、とても残念です。本が好きな子供なので、もし安全な場所であれば週末だけでなく平日も通わせてあげられるだろうなあ、と考えてしまいます。よろしくお願い致します
市内のにぎわいの場とするため、駅の近くに設置することが望ましいと思う。平日であっても、人が集っている雰囲気がある街が良い。既存の施設利用も重要だが、瀬戸市をPRする場として新規に建設すべきだと思う
電車や名鉄バスやクルリンバスにて利用できる地理的配慮をおねがいします
交通の便がいい場所（現状でもいいけど）

坂道、どうにかかりますか？
雨の日に沢山本を返す時、小さい子どもを連れて大変！立体にするなど考えてほしい
場所として新瀬戸駅東側（ナフコ含め）可能性は？
坂の上すぎて徒歩では行きにくい
急な坂の上に図書館があるので、高齢者、自転車の人は大変だと思います
場所が不便
高齢社会でも利用しやすいアクセス条件
行きやすい場所
駐車場について
駐車場がとめやすくしてほしい
駐車スペース増やし、平面化してほしい
今の駐車場が不便すぎてあまり来る気にならなかった。
駐車場（平地）を増やしてほしい。坂道で子連れには大変です
駐車場も下へ駐車すると登って来るのが大変です。平地への移転を希望します
駐車スペースを多く、2時間無料くらいで
駐車場をもっと使いやすくしてほしい
駐車場が止めにくいので増やしてほしい
駐車場を使いやすくして頂きたいです（坂道でなく・・・）
明るくて駐車場が広い
駐車場を多く
駐車場が急勾配すぎて止めづらいし、子供を乗り降りさせるのも大変
駐車場を多くしてほしい
駐車場を平面にしてほしい
駐車場を広くしてほしい
駐車場を確保、坂道は大変
駐車場ももっと駐車しやすいようにしてください
駐車場がとめにくいし少ないのでふやしてほしい
駐車場を水平に
駐車場が傾斜地にあるので大変です
駐車場が少ない。立地的に坂道なので大変
駐車場、本館等、小人、大人も出入りが楽なフラットな所にしてほしい。今の場所は坂なので困る
駐車スペースの拡大
駐車場の広い台数が多く止められる様にしてほしい
駐車場が坂なのでちょっと・・・

あるいは広くて平らな駐車場。道路がこまない場所にあるといい
平らな駐車場
広い、大きい駐車場が必要
駐車場の止めかたが悪い(近い方がいいのはわかるけど)
駐車場をなんとかしてほしい
駐車場の整備、停める場所、台数、駐車場の解放
駐車場を平地に作ってもらえるとより安全だと思います
現在、坂の上に建物があり、歩いてくる人も駐車する人も大変
駐車場を整備してほしい
駐車場が坂でとめにくい。重い本を持って坂を上がるのは大変
駐車場はできたら平地に、そしてもっと広く
駐車場の増設
駐車場が少ない、坂は不可。もっと広い便利な場所を希望
駐車場は広く停車しやすい様にしてほしい。(坂でない所)
駐車場(もう少し広くしてほしい。坂が怖い→隣の車にドアをぶつけそう)→登り坂、歩きで来る時疲れる。隣の車にドアをぶつけそう⇒これが理由で図書館に行きたくない気持ちになったりする。
駐車場から本館迄坂道のため高齢者にはきつい
駐車場が少ない
駐車場がとめにくい
駐車場を平面で台数も増やしてほしい
駐車場を停めやすくしてほしい
駐車場
駐車場の充実。
駐車場は平たんて！
駐車しやすい環境にもraitたい
駐車場がとめやすい場所だとたすかります
駐車場が停めやすい
駐車場、土日はいっぱいなことがある
駐車場が不便なので、もう少し停めやすくして欲しい
車が停めやすい駐車場
駐車場、駐車場の拡充を
駐車場が少ない(休日はとめるところにこます)
駐車場が少ない。傾斜しているためとめにくい
駐車場がとめにくいので駐車場を充実させて下さい

駐車場の充実
坂の駐車場が入れにくい
駐車し易い駐車場を増やしてください。駐車し易い駐車場に造りかえてくださ
駐車場を平らに停めやすくして欲しい
駐車場が停めにくい
席や部屋、スペースの充実について
PC 室の座席数を増やしてほしい。（イスと机の高さがあってなくてつらい）（スペース的にもう少し座席数を増やせると思う）
図書館をもっときれいにしたい
きれいな学習室
今の図書館は座る所もほとんどない。日進市の図書館の様に座席をたくさん作ってほしい
子どもを連れて来て、子どもが自分で本を選んでいる時に、軽く読める雑誌があると便利。座って待ってられるイスなど(児童の本の近くに大人向けのイスが欲しい)
今の場所は狭すぎる。もっと広々とした施設にして欲しい。今の図書館では市民民度がどうなのかと問われかねない
もっと窓を増やして明るくして欲しい。キッズスペースを広くしてほしい
テスト期間中は集会室や会議室の持ち込み学習のできる部屋の席が満席なので、もっと勉強のできる席を増やしてほしいです
書棚の間が狭いので、もう少し広く取ってほしいです。（膝が痛いので下の本を見るとつらいです）
0～4 才児に静かに利用というのはなかなか気が張るものなので、ある程度声を出しても大丈夫な場所にしてほしいです。大人コーナーと子どもコーナーを離す
①車スペースの確保。②スペース的にゆとりのある施設（たとえば長久手図書館や豊田中央図書館、岡崎の図書館のような）
閲覧席の増席を希望します。児童コーナーと閲覧室は離して欲しいです
広くて明るい空間
本棚のそばで座って見られるスペースやベンチがたくさん欲しい。
腰を曲げなければ下段が見えない。そんな人が居たら遠慮しなければ通れない。子供達が楽しく走ればガタガタ音がする
幼児のスペースをもっと広くして欲しい。絵本はたくさん揃っているのに見つけにくいので表紙が見えるディスプレイを増やして欲しい
とにかく古いイメージ。あと本がさがしにくい。閲覧番号をパソコンで検索しても、その番号をどこに探しに行ってもいいかわかりにくい。児童書のオススメ本を大きくディスプレイしてほしい
学習室を充実させてほしいです。休けいスペース(飲食可)があれば尚良いです

どうしても幼い子連れなので、15分でも子供を遊ばせられると本が選びやすいです
子どもが本を広げて読む場所がもっとほしい。幼児連れの母が子どもと一緒にくつをぬいでくつろげるスペース（名古屋の舞鶴図書館みたいな）
本棚の通路を広げてほしい
新しい本も古い本も探しやすいように、広い棚と広いえつ覧室（他の人とぶつからないように）例．長久手図書館
棚と棚の間がせまい
イス、机、使いづらい。きれいで使い易いものにして欲しい
トイレ等バリアフリーにし、衛生面からも自動で手洗いができる（お水がでる）設備にしてほしい。自然の採光、通風ができる限り利用できるエコ設計にしてほしい。乳幼児が毎日きたくるような室内空間、屋外空間（芝生のゆるやかな凹凸斜面等）が欲しい
単独の資料閲覧室がないのはおかしい
書架間を広くしてほしい
本が読めるスペースがあるとじっくり選べる。（最近寝ている人が多く・・・）
児童コーナーについて、少し他資料から場所を離して頂けると読みきかせや、ゆっくり絵本をえらぶことができますと思います。子供が騒ぎはじめると、早々と出ていく事もあるので、別館などにして頂けると嬉しいです
キッズスペースは、もっと明るく目線を下げた本棚がいいと思います
館内でじっくり読書できる場所がほしい
もっと閲覧室、資料、本を読んで調べられる様な場所がほしい（ソファだけではダメ）
開架スペースがより充実し、かつゆとりある空間とすることが望ましい
図書館本来の機能である、ゆっくりと本と向い合える空間を作ってください
2Fへの階段が登りおりにあぶないので、しっかりした物にして欲しい。絵本を読む際のスペース（カーペット）を広げて欲しい。全体的に暗いので明るくして欲しいです！！
障害者、高齢書が利用しやすいバリアフリー、十分な通路の確保。小さい子どもさんとパパ、ママと一緒に絵本を見たりできる十分なスペース、出来れば一般の人と区切られていると良いと思う
建物全体的により広く、新しくしてほしい。子供向けの本と、大人向けの本とをスペースを分けてもらえればお互いより気兼ねなく楽しめると思います。あと、お手洗いは必ず新しい方がいい
雑誌コーナーのいすをもう少しなんとかして欲しい
今まで海外に住んでいました。アメリカの図書館は子供スペースが広がったです。ブロックがあったり季節のイベント(ハロウィン、クリスマスなど)もありました
スペースを広く（特に座席）
児童が集まりやすい場所（児童書コーナー等）にガラス壁と扉を設置してはどうでしょう

施設の静寂性と、児童に危害を加える者への抑止力になるのではないのでしょうか
館内でゆっくり読める場所があるとよい
座席数の増加、特に高齢者向けに個人別についで区切られた席の増加、現在利用時間が短いのは席が少ないため、貸出しにのみしているため
図書館の絵本の読みきかせを以前、児童コーナーでやっていたが、あれはいかかなものかと思う。今もやっているなら別室にしてほしい。『図書館では静かに』の原則がまもられていない上、幼い子供に図書館＝騒いでいい場所というイメージを与えかねない
図書の閲覧室をとにかく明るく広く（今は倉庫と同じ）
バリアフリーに特化してほしい（書架の場所が使いにくいのではないかと思います。）
書庫にある本も開架に並べられるような広いスペースがほしい。座って本を読めるスペースを増やしてほしい
本棚のスペースが狭いため、下段の本が見えにくい。閲覧スペースも含めもう少しゆとり感を希望します
私は10年前に瀬戸へ来ましたが、広さはそれまで住んでいた街の1/4スペース位。けれど書庫にはかなりの本が、それもいい本がいっぱいあってちょっと不思議だなあと思いました（笑）。書庫から出して頂くのはやはり少々手間なので、本を置くスペースがもっと取れると借りやすくていいですね
もっと本を増やして下さい
空間を広くしてほしい
小さい子どもが手に届く場所に絵本をおいてほしい。今は高すぎる
小さい子がいられる個部屋があるといいです
本棚の脇に座って本を読めるイスを置いてほしい
文化の源泉です。もう少し広く、閲覧室の座席数も多く、清潔な環境にして欲しいですね
本を選べるスペースを広くしてみやすくしてほしい
座って読めるスペースがほしい
閲覧室を広くしてほしい
乳幼児のスペースが、のんびりできるスペースがあると助かります。子どもがグズリなかなかゆっくりみられないので
日進市の図書館を参考に広々とした空間を！！
図書館内に落ちついて読むことのできるイスをふやしてほしい
くつろげる空間とけしきがいい場所がほしい
図書館員の目が行き届く本棚の並べ方にして欲しい。しきりが多すぎる。奥の部屋では目がゆき届かない
静かな環境は・・・は昔のことなのではないでしょうか？静かにえつらnderけるスペースがほしいです

子供用の小さいトイレがあると便利
子供のコーナーをもっと大きく、少し遊ぶ所があるとうれしい。子供のコーナーが独立していたらもっといい
閲覧を個別化して欲しい（ねている人がジャマ）・・・イスが無い
「小学生までに読んでおきたい」シリーズなどの配置が来館するたびに変更されていて、非常にわかりずらいです。また、P Cで書架の位置が案内されていますがそこに無い場合が多いと思います。本の分類、配置は図書館の機能として、とても重要だと思いますがいかがでしょうか？それと、ただ本を捜すのであればアマゾンの方がよほどすぐれています。私は本を捜す上で、司書の方の意見や指導を受けたいと強く思います。これはアマゾンには無い、これからの図書館のあり様として期待しています
資料の充実について
可能な限り最新の資料を入れていただければと思います
大人の本を見やすく
もっと新刊を増やしてほしい
本が探しにくいので探しやすくしてほしい
もっと本の数を増やしてほしい
「雑誌」の貸出し期間を「本」と同じにしてほしい
紙芝居が探しづらいです。・新書を分かりやすいように置いて欲しい。・2階の本が全体的に見にくいです
言学の学習メディアが欲しい（英語等）
本の貸出10冊、DVD貸出は本以外で5点ぐらいが借りやすいです。・乳幼児向けの近くにママ向けの本をおいてほしい
スポーツ、ペットのDVD資料
本の数を増やしてほしい
政治、経済、エッセイ等の図書が5年以上ものは一応整理して新しい図書に替えてほしい
電子書籍の利用
人気作家の書籍数が少ない為、予約待ちの期間が長いので数を増やして欲しい。P C閲覧時に作家のエッセーか小説かの区分が分かり難い。小説コーナーに新刊が並ぶ事が無い
月刊誌の充実
貸出期間を3週間から1ヶ月（4週）に延長して欲しい。複数冊借りると3週間で読みきれないで返却となる場合が多い
蔵書の充実と増書、文庫本をもっと増やしてほしい
背の出版社名の所に貼ってあるインデックスをずらして欲しい（出版社が見えない）
本の区別、区分が間違っている。シリーズものが一体になっていない、バラバラになっている。シリーズものの内、一部欠けている。随筆が小説の内に入っている、逆もあり

他の図書館に足を運んだ事がないので比較が出来ませんが昔から何となく古びた整理が出来てない様な印象を受けます。置いてある本自体も古い本しか置いてない様な感じです。新刊をもっと置いてほしい。古びたポスター、貼り紙はいらない。表示が見えにくいので本が探しづらい。もっと大きな文字で表示してほしい。棚の案内図もわかりづらい、もっとシンプルに
大活字本を増やしてほしい
子どもが本が好きで毎週利用させて頂いてます。子どもの希望です。伝記をもっと増やしてほしい。新刊の本も読みたい。よろしくお願いします
CD、DVD、コミック類を充実させてほしい
とにかく本が古いです。新刊とまではいいませんが、もっと新しい本で短歌の本をふやして下さい
本の場所を検索しても広範囲すぎて時間がかかることや、見つからないことがあります。簡単に見つかるとうれしいです
名著を充実させるべき。くだらない本、1年したら捨てるような書籍が多すぎ、重複も多い!!
いつきても同じ本がおいてあるので、新しい本を入れてほしい(料理関係)
資料を充実して欲しい。汚れている資料が多いので本の扱いマナーの啓もう必要
先日「天上の虹」里中満智子氏をリクエストしたがコミックなので不可と言われた。コミックでも幅があり、有益と考えられるものは一律の区分でなく裁量で購入できるシステムも欲しい
新しい本を増やしてほしい
新刊をもっと読みたい（パルティの方が多いかな・・・）
新しい本の購入と開示
本に限りがあるので(本屋さんみたいに色々あって買えるといいかな)？図書館の意味がないね
図書資料の充実、名古屋にある図書館みたいなものがよい
リクエスト優先で予算を使って下さい。読まれない資料が毎日リサイクル(11月)で新品で出ています。リクエストのない資料は購入の必要は認めません
資料が少ないので、その拡充
本の充実を望む
利用者無視の現状。不要な資料が棚ざらし→誰もとらない。天空の蜂→13(東野圭吾)砂の街路樹(砂の街路図?)→20(佐々木譲)いずれも資料1冊のみ
PCやプログラム関連の本を増やしてほしい
既刊の古い本で、それでもない本があります。どの様にしたら読める様になりますか。この件充実をお願いしたい

文学、小説他本の数をふやしてほしい。出来れば文庫本を
カセット、CDなどで小説を聞いていますが（両手がふさがっていても可だから）音楽、読みものに限らず古いものでも補充してほしい
動画、画素数の多い、見易い
置いてある本が左翼的な本が多いように感じます。夏になると戦争関連のコーナーが設けられたりしますが、日本が悪かったという論調の本に偏りすぎています。もっと右の論調の本を置いてほしいと思います
新しい本が少ないように思われます。全体にさがす時わかりやすい様にしてほしいです
蔵書に地域資料（瀬戸関連）の充実を図り特色を打ち出すべき
新刊、話題の本の入荷がない
専門書の必要な本がどこにあるか？すぐわかればいいな！！
新刊本の増冊、求められている（人気の本）本（読みたい本が見つからないので）DVD, CD 観賞があるとうれしいです
蔵書を増やす
一部でいいので字典・辞典などを貸し出し可にして欲しい。（一週間でもいいので）書体の字典を毎回コピーするのは大変です
一般誌をふやし専門書は少なくする
子供の本が書名順なので、続きものの本がいっしょになくてさがしにくい
一冊あたりの貸出し期間をもっと短く（例えば2週間）待ち時間が長すぎる
小説の保管庫を作家別（氏名記入して）にして欲しい
児童書（館内に出ている本が少ない。ほとんど書庫にある。子供がフリーで読めるスペースをもっと充実してほしい。例えば長久手図書館のような
本の貸出最大数を増やしてほしい
病院の近くなので医学書がたくさんあると良い
人気のある本を多数購入して貸し出して欲しい
①よく知らないのですが、とりあえず蔵書数が多い方が望ましい。②選定がむずかしいのですが、数人しか読まないような図書の購入はどうかなあとと思います
小学生の孫が読みたい本がないと言っている。小2の子は光陵中がお気に入りです。小6はどちらも？と言っています
本の数をもっと増やしてほしい
本を充実置いて欲しい
所蔵される書物が古過ぎる。最新の話題本が少ない
他の図書館から貸出しを受ける本を瀬戸市の図書館でも備えてほしい
幼児向けの本の数量と種類をもっと増やして欲しい
CDの充実

大活字本を増やしてほしい
わかりやすい本の並びにしてほしい。検索しやすくしてほしい
本が探しやすい。人気の図書は冊数を増やして早く読めるようにしてほしい
本の数を増やして頂きたい
課題図書の貸し出しを充実してほしい。（読書感想文等）以前3冊が全て貸出し可の図書館に行ったけれども1冊見当たらず借りることができなかった。インターネットでの検索の意味があまりないと感じた。シリーズ物の絵本をまとめてあると借りやすいと思います
陶器に関する資料は多いが見にくい、わかりにくい。現代のものも含めてふやしてほしい……。国外のもの。イメージブック。作品集。コーディネートなど。陶器に関するものは、ここに来れば全て見られる！日本一の資料があるくらいに
新刊の部数を増やしてほしい
古い図書館のためか新しい資料が圧倒的に少ないと思う。蔵書そのものも少ない。それは建物が手狭なことが大きいかもしれないが、図書館でゆっくり本を手にとって読む場所が少ない。瀬戸市の文化レベルを上げるためにも図書館をその中心にする考えで業務を進めていていただきたい
新刊を増やして欲しい
本の配列がダサイ
貸出しが3週間より1ヶ月にして頂けるともっと助かるのですが……
サービスの充実について
W i - F i 環境は是非ほしいです。
インターネットで1時間毎の申請は利用者、図書館の職員に負担である。1回延長の申請をしたら2回目以降はやめて欲しい。是非お願いしたい。無駄である
集会室の飲食していい時間を長くしてほしいです
コンビニで本を返却できるようにして下さい
最近、児童書をよく借ります。外国の本を最初は読んでいましたが、日本の本もとても面白くて借ります。だけど①②③……となっている本は新しい本は並んでますが、初めの①②……から読みたいのに書庫・他の地域図書館などですぐ借りられないのが残念ですね
貸出カードがなくても借りられるシステムがいい 番号、おさいふケータイ等
予約カードに借りた本、DVDの履歴、冊数等が分かるようになるといいです。（今までのもふくめて）
品野地域に移動図書を希望します
持ち出し禁止図書に「禁帯出」ラベルを貼って明示して下さい
館員に都合のよいやり方が多く、それは利用者にはほとんど知らされていない。建物や設備ではなく運営を利用者の使いやすいように変更して下さい

パソコンの機械での検索がしにくい
インターネットとからませたサービス
貸出期間を以前のように1ヵ月にしてほしい。遠いので3週間に1度来るのは大変
貸出期間の短縮
貸し出し期間を4週間に延長することをぜひ検討していただきたい。(図書館から遠いのでなかなか来ることができないので)
図書館行事がある時のその掲示
以前予約サービスを利用したが、他の図書館へ貸し出す準備で場所が不明だとかで全く予約の意味がなかった。あるいは、いつ戻ってくるかの目安の日の提示もなかった
英語のよみきかせをしてほしいです
愛知県図書館との連携
いつでも資料が手に入る様になると大変便利だとは思いますが
全体所蔵冊数に制約があるのであれば、大学図書館も含め隣接エリアとの相互融通とネットワークによる検索、貸出があるとよい
パルティ瀬戸の図書館の充実希望
子供が中高生になって、あまり利用しなくなったので、中高生が利用しやすいサービスがあると良い
検索システムが不親切 ex. 街道をゆく④←この内容、場所(近江とか)知りたいが、利用する人のことを全く考えていない
HPで資料検索する際に、本名で検索してもヒットしないのに著者名で検索すると出てきたり、時々不便に感じます。改善して頂ければ嬉しいです
子どもが来る図書館にしたいです。読み聞かせ等何十年も取り組んでいるものの他に、もっと新しい試みをしてはどうでしょう
返却だけでも坂の下にポストがあればうれしい
返却、予約図書を受取だけでできればいいから、拠点が増えてほしい。現在の「貸し出し中でない本の予約・取りよせができるサービス」は維持してほしい
愛知県の蔵書の取りよせがネットでできるとうれしいです
リクエストを充実して欲しいと思います
もっと子ども達が本好きになるような空間や資料を充実させてほしいです
市内の大学図書館との連携にて、専門書の閲覧を希望します
遠い図書館からの取り寄せの場合、かなりの時間がかかるのでそのような場合は、置いてもらえるとありがたい。待つ時間が長く貸出期間が短いのはちょっと・・・
子どもたちが本に親しめるための環境づくりの実践
いくら新しくなっても人間くささがなくなってしまう
静かな環境確保のための施策

以前ある施設の方が沢山かりていった本を返却にこられた時、とても手荒に返却ダナにいられて行かれるのを見ました。自分のところの本でもないのに、あれでは本がいたんでしまうと思いました。図書館の職員さんはそばにいらしたのにその方には注意しませんでした。（一言声をかけてもよかったのと思いました）
大半は親切な職員ですが、時おり昔の公務員然とした態度で接しられる方がみえて嫌な感じを受けます
優しいようなスタッフさんがいてくれると居やすい
新聞機の照明が暗い為、小さい数字が見にくい。高齢者は年令と共に目が悪くなるので照明を明るくしてほしい
夏、暑いのでクーラーの温度下げて欲しい
もっと明るい雰囲気にしてほしい。本の独特な臭いが気になる
もっときれいな図書館が望ましい。長久手図書館のような、宜しくお願いします
空調をもっと快適に
冷房、暖房は月で決めるのではなく温度で。（6月もすこし暑い時もある）
夏の蒸し暑い時季でも冷房があまりきいていない時がある
明るく開放館のある空間、本屋のようなワクワク感がほしい
もう少し設備を綺麗にして欲しい
もっときれいな図書館にしてください。古すぎます。宜しくお願いします。
図書館を建て替えるのであれば、岐阜市のメディアコスモス（伊東豊雄デザイン）のようなざん新なものをお願いします。図書館内で婚活イベントや美術作品の展示等ができれば、より利用が増えるのでは！？
個人的に部屋の空気（臭い）が気になります。長く居れない。頭が痛くなってくる。
市民情報センターとしての魅力とサービスの向上。「せともの」よりせと市民、せとの生活者への視点の強化
貸出・返却期日の厳守のこと
多くの人の生活の知恵を提供する場となって欲しいです
「立ちよりたい」と思える図書館にしてほしい
サービスの充実はほどほどで、シンプルな図書館がいいです
開館日・開館時間について
平日の開館時間が短い為、仕事帰りに寄ることができない。（特に10月以降）できればもう少し長く開館してほしい
冬季が短い（開館時間が）
開館日をもっとあってもよいのでないか
月曜日を閉館し、別の曜日を閉館にしてほしい。冬場も19：00まで開館してほしい
時間を21時までに延長してほしい

10月～の閉館時間を7時迄に変更して欲しい
閉館時間を冬場も7時を希望
年中無休にしてほしい
付帯施設について
ドトールコーヒーなどお茶できる場所があると嬉しい
行事があると学習室や会議室が使用不可になるので、どちらか一つは必ず使えるようにしてほしい
カフェ・店の併設、ゆっくり閲覧できるスペースの確保、坂のないバリアフリーの設備など、市民の憩いの場となる設備にして欲しい
習い事の出来る教室の誘致
水飲み場しかなく、自販機でも良いので飲みものがのめる様にしてほしい
カフェをつくってほしい。長久手のようなちょっとしたランチができる場所
集会室がいつも何かの団体にふさがっていて、勉強するときとても困りました。こちらの男性の方にそのことを言ったら他でして下さい、図書館は勉強するところではありませんとの回答でがっかりでした
集会室が行事などで使えないときに会議室がいっぱいと自習スペースがないので図書館としてどうかと思う。集会室は基本暑い。集会室で小学生などが平気でペチャクチャしゃべっている。（周りの方も迷惑そうにしています。）
喫茶店があると良い
カフェなどを併設して、長くいたくなるような明るい空間にしてほしい
夏の暑い時期にお茶等水分をとりたいとき、館内飲食はつらいです。水飲場はあまり利用したくないです。ごめんなさい
多目的図書館として第2道の駅機能（レストラン、カフェ）本屋、相談室（育児、介護、健康など日によって交代）などの並置を。ボランティア+文化サークルの大充実を。小ホールの設置を（講演、上映、演奏など）
集会室の利用でマナーを守れない人がいたら、ちゃんと注意してほしい。音楽を聞くのは構わないが、イヤホンから音が漏れている。飲食可能な時間外に食べ物を堂々と食べる。携帯電話の着信音がマナーモードになっていない。しかし、これはただの常識のない人がしていることなので正直抑制するのは難しいかも知れません。集会室の所々に注意の紙を張るとか・・・できれば改善をお願いします
集会室の飲食について、12:00～13:00とされていますが、時々時間を守らない学生さんをお見かけします。（注意書きが前方に1か所しかないの知らない方もいるのかと思います）ドリンクは問題ないと思いますが、集中したい方もいらっしゃると思うので食事は禁止でもよいのかと思います。（近隣の図書館は食事は禁止だと思います。）又は飲食可能なスペースを作っては？

現状への評価
現状で良し。司書の方も新設で感謝
現状には満足しています。この方向の更なる充実を目指して欲しいと思います。なによりも利用者優先です
瀬戸市の図書館の受付の対応は県内No.1 だと思います。ハードが悪いだけです
パルティの図書館は仕事帰りに立ち寄れるので、重宝しています。ありがとうございます
職員の対応・サービスは丁寧でとてもいいです。ありがとうございます
希望する本は他図書館から借りていただきありがとうございます
図書館らしくシンプルでよい。余分の設備は不要。過剰な費用をかける必要はナシ、絶対にNO です
今でも充実している図書館だと思っています
職員の方々がとても感じがよく、親切でいつも気持ちよく利用させて頂いています。いつもありがとうございます
広いと良いと思いますが、職員の方は親切でとても良いと思います
以前より休館日が減り、私にとっては本当にありがたいです。新刊も多く、私にとっては図書館様様です。これからも頑張って下さい
その他
新しい図書館あると瀬戸の知的活動も活発になり地域振こうに有益と考えます。介護福祉も重要ですが、将来の教育のための投資を重視すべきだと思います
CCC のような指定業者にいたくするのは良くないと思う。図書館業務は利益を目指すべきものではないので、安易に私企業に業務いたくしないほうが良いと思う。私企業は利益を出す必要があるので、利益主義に図書館運営がなってしまうと思う
民次さんの壁画は残してほしい
建て替えるなら、壁画は残して欲しい
近隣と比較してあまりにも貧弱。小牧みたいにカフェ、デザインの奇抜さは不要なので、図書館の本来あるべき姿とは何かという原点にのっとり建て替えしてほしい
企画段階から情報公開し広く意見を聞く。建設費の調達の明確化。費用の捻出のため行政合理他職員、議員の報酬消滅
企業との連携とか・・・いろいろ問題はありますが。欲を言えば豊田市のような図書館になってほしい（大きく、キレイに）
以前、新聞に『学校に行きたくない子、行くのが死ぬほどつらい子は学校を休んで図書館へいらっしやい・・・。』という鎌倉？!の図書館の方が発信されたものがありました。こちらの図書館でも、もし、そういうような子供をみかけたらあたたかく迎え入れて頂きたいと思います
太陽光発電等、自然エネルギーでまかなえるシステムにしてほしい

最近、全国の図書館で TSUTAYA と提携したというような所も聞くのでそのような事があったらいいなと思います
日進市のような図書館にしてほしいです
車椅子備え付けはいいことです。しかし空気入れの備えがない。利用者の善意で空気を入れてます
ボランティアをやっているのに、遠くなると参加できなくなってしまう
車椅子の空気入れ常備しろ→利用者が私物で空気入れている
パルティセトの駐車を 2 時間としてほしい（現在は 1 時間未満である みじかすぎる）
改装するにしても休まないでくれると助かります。本を読むのが大好きなので・・・
武雄市型の図書館は不可
図書館の在り方は瀬戸市民の知の在り方だと思う。もっとみんなが使いやすく、駐車場の整備等必要だと思う。他の市の図書館（豊田市や刈谷市、東海市など）をもっと調査、研究して同じレベルにしてほしい。瀬戸の図書館は正直なところレベルが低いと思う。
夏季は蚊が非常に多いのでノーマットを多数配置して下さい
民治の陶壁画を前面に掲示を！！（蔵の様に絶対しないこと）
スペースも狭く、収蔵量も周辺自治体と比べると淋しい。13 万人の人口を考えると余りも貧しくないですか！
建て替えるのであれば、今の「知」を感じさせるような近代的なものを。もう「瀬戸」という概念にとらわれずに
読んでいて気持ちのいい椅子がほしいです。予算がないんですかねえ。※リクエストした本、いつも購入してくださってありがとうございます
図書館を新しいものに変えていただけると嬉しいです
明るいイメージの図書館にしてほしい
新しい図書館（近代的）になれば良い
歴史資料館を利用してほしい
建物が他の都市に比較して古いので建替えて欲しい。日進から引越してきましたが、日進は新しくなって良くなった
専業主婦として年金の範囲内でやりくりをしています。陶芸を仕事として地場産業と関連する地域おこしの文化の新しい産業として幾つかを掘りおこすと思います
歴史資料館が見たいです
大学の人文学科が危機にひんする今、図書館は公的文化機関の最後のトリデとなるかもしれません。がんばって下さい
市会議員の手柄話でなく、図書館の人、市役所の文教関係の人が近隣の図書館瀬戸と同じ財政規模で手近なモデルをひろってスペースアップしてほしい。（長久手なんか、瀬戸と比べてはるかに新しい市だが内容ははるかに充実している）

本当に本が見たい時は、長久手や豊田（岡崎）の綺麗な図書館まで行ってしまいます。県外からこちらへ来ましたが、瀬戸の図書館はあまりにお粗末でびっくりしました。この図書館を新しくするより、市民が全く使っていない瀬戸蔵やパルティ瀬戸へ思い切って移転して、みなが利用できる（しやすい）図書館にして欲しいと思う

② その他アンケート

(ア) 小中学校図書主任教諭へのアンケート

問 1 現在、瀬戸市立図書館と市内小中学校との間でどのような連携が行われていますか。
図書館見学。年 2 回の図書貸し出し（学年・学級に）
瀬戸市立図書館からの学校配達が年に 2 回あります
学校図書貸し出し
図書館見学をしている。今年度は 2、3 年生が行う予定。
地域図書館として毎週火曜と土日に司書の方が来てくださっています。小 2、3 年の図書館見学
図書の貸し出し
図書館の本を小学校（各クラス）で読めるようにしている。3 年生の校外学習
図書館の本を学級文庫に借りています。
社会科の学習で図書館見学を行っている。授業で必要な本を捜すお手伝いをしてもらっている
特に行っていません
小学 3 年での図書館見学（その時に本を借りる）
瀬戸市立図書館の分館、地域図書館の図書館見学
相互の貸し借り
社会科・生活科における図書館見学。図書の学校への貸し出し
図書館見学・司書によるブックトークを学校に出向いておこなっている
市立図書館本の貸し出し
学校図書館の日常業務の補助支援。児童がリクエストする本を全市中の図書館から捜していただく。本の配架、廃棄等に関するアドバイス。読み聞かせ
連携していません
本校は図書館からの距離がある為、2、3 年生の見学以外の利用は特になし
月 1 回の委員会の際に本紹介して頂いたり、おすすめする本の紹介の仕方、カバーのかけ方などを教えて頂いたりしています
問 2 小中学校として公共図書館に対し、具体的にどのような連携を期待しますか

本によって知識を深めることの楽しさを伝える取り組みを学校と連携して行ってほしい
学校のPCで図書館においてある本の検索ができる
ネットワークでつながること。学校のパソコンで図書館のある本を検索するなど
学校図書で足りないものを利用できるといいかな
図書館のアピールもかねて、職員の方が学校へ出前読み聞かせをしてくれる。授業で必要な本の貸し出しをスムーズに簡単に
(調べ学習) 調べものをするときに、インターネットではなく本で調べられるようにしてほしい
図書室の整理の仕方を教えてほしい(図書教諭がいないため)
見学内容の充実。定期的に新しい本を入れていただきたい
図書だよりみたいなものがほしい。(学校で作るとかたよってしまうから)
生徒向けの図書通信のようなものを期待します
小中学校の児童生徒が自校の図書室から図書館の本の予約ができるようにしてほしい。 →図書館のカードを持っていない児童生徒がいるため
資料の貸し出し
図書館見学、出張ブックトーク、学校への本の貸し出し
学校ごとに教科書に出てくる本をすべてそろえるのは難しいので図書館で数セットかそろえておいてほしい
本を読む喜びをアピールするようなイベント、催し、グッズ等を紹介したり実演してほしい。その時のブームや人気のある読み物の情報をいただきたい。→本の購入の参考になる
メール便等による迅速で安価な貸し出し
避難訓練等、授業で使える新しい教材を増やし提きょうしてほしい
専門を活かして生徒の読書活動をうながすようなことをして頂きたいです
問3 小中学生の年代の発達・教育にとって、図書館はどのような役割を負っているとお考えですか
多くの本にふれて、知識を深め心を豊かにするもの
小学生の生活を楽しくするもの
教科の枠を越えて興味、関心を深められる場
広い分野の本に出会える場、学習をする場
より多くの書物との出会いの場
心の教育にとっても図書(読書)は大切なものなので、できる限り利用しやすいものにしてほしい。地域図書館として学校にできるといいかと思います
様々な本や資料に触れることのできる場所

様々なジャンルの本に親しみ、興味関心を広げる。また、想像力や言語力の育成
豊かな心を育てる。感受性を豊かにする。授業での調べ学習での資料探しに役立つ
学校や家庭、地域社会などでは経験できないような経験を味あわせてあげられる
知識や興味を広げる場。ゆっくり落ち着ける場
人格形成上、大きな意味をもっていると思いますが、現在はあまり親しみを感じる場にはなっていないと思います
情報を得る面もあるが、やはり“人格形成”の礎となる読書を期待したい
豊かな知識を得させる役割
豊かな心を育む。読む力、イメージする力、さまざまな所につながる
新たな可能性に出会う場だと思います。しかし、生徒にとっては身近な場ではないように思います
問4 新しい瀬戸市立図書館は、以下の点で具体的にどうあってほしいとお考えですか
資料について
できるだけ新しい物を数多くそろえてほしい
子どもに限らず、幅広い年代に利用できるもの
ディスプレイを見やすく、明るく
より幅広い分野の内容の資料があると大変活用しやすいと思います
調べ学習ができるように充実してほしい
幅広いジャンルものがよい
開架資料をもっと増やしてほしい。雑誌の種類も増やしてほしい
幅広いジャンルの資料を扱ってほしい
最新の資料を提供してほしい。ネットを利用した、手に入れやすい形をとってほしい
学校からこんな本がほしいと要望したときに多くの資料が常に貸していただけるとありがたい。（他校と時期が重なるので）
古いものもいいものはシリーズで残していただき、何かの土岐に期限を決めて貸し出しでもいただきたい
豊富なDVD資料（教科書の内容に即したもの）
施設設備について
老朽化、狭さ（2階は人がすれちがえません）を改善していただきたいです
学習室、くつをぬいでくつろいで本を読めるスペース
駐車場を広く、駐輪場、交通の便のよいところ、坂のないところ
蔵書が多いこと
駐車場がもっと多くあるといい
狭い。駐車場が安全でない。暗い。小さい子どもが本を読むスペースが狭い
より利用しやすい雰囲気であってほしいです

本を読んだり、視聴するスペースが広くほしい
カフェの併設。ソファなど居心地のよい空間になれば嬉しい
座って読むことができるスペースがほしい。新しくしてほしい
ゆったりした空間を確保してほしい
図書を検索できるパソコンを増設してほしい
図書が探しやすく配列されていてほしい
駐車場を広くとってほしい。または交通の便のよいところに設置してほしい。全面的に禁煙にしてほしい
広く明るいイメージ
子どもや赤ちゃん連れの母親がねころんで読むことができるような広大なスペース、快適な設備がほしい
自主勉強のできる広いスペース
明るく開放館がある施設
サービスについて
トイレ等も使いやすく、駐車場もスペースを広く多くとってほしい
おすすめの本の紹介や、借りたい本を捜す時の相談に乗ってほしい
インターネットで本を予約し、家に配達してくれるといい
返却できる場所をふやしてほしい
読み聞かせ会などの開催。司書の学校図書室への巡回。子どもたちの司書経験など
閉館日を少なく、開館時間を長くしてほしい
「情報」もそうだが「人」を介したサービスがありがたい
24H返却BOX。返却期間の延長（メール等で申請可）
個人的に本の検さが苦手。分かりやすい設置の仕方等があると嬉しいです
専用のカードではなく、皆が持っている何かカード等のもので共有できるといいと思います
職員について
多くの方、知識豊富な方がよいと思います。明るく接しやすいとうれしく思います
常に館内を巡回している職員がいると良い。→探したい本が見つからないとき、カウンターまで行くのが手間、行きづらい
図書室へ来てと訴えていた司書さんがいましたが、そういう場合の受け入れについて考えてほしいです
現状とてもいいで、親切でこどもうけする職員の方々に来ていただいている。（3名）ありがたい限りです。申し分ありません
返却が遅れた時、あまり怒らないでいただければ・・・

(イ) 小中学校図書委員児童生徒へのアンケート

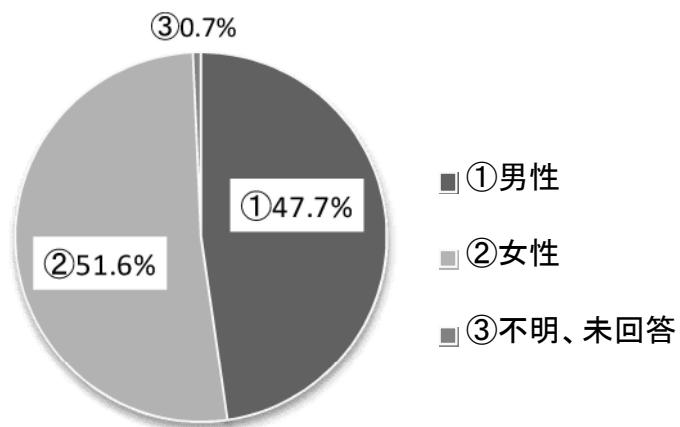
標本回収数

小学生	中学生
285	129

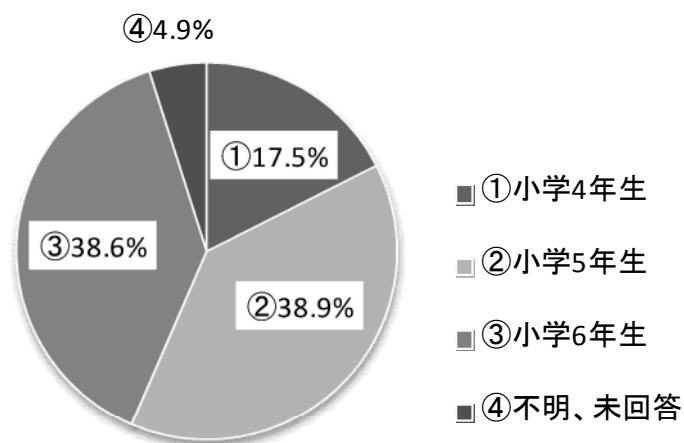
◆小学生

回答者属性

■性別	回答数	割合
①男性	136	47.7%
②女性	147	51.6%
③不明、未回答	2	0.7%
全体	285	100.0%

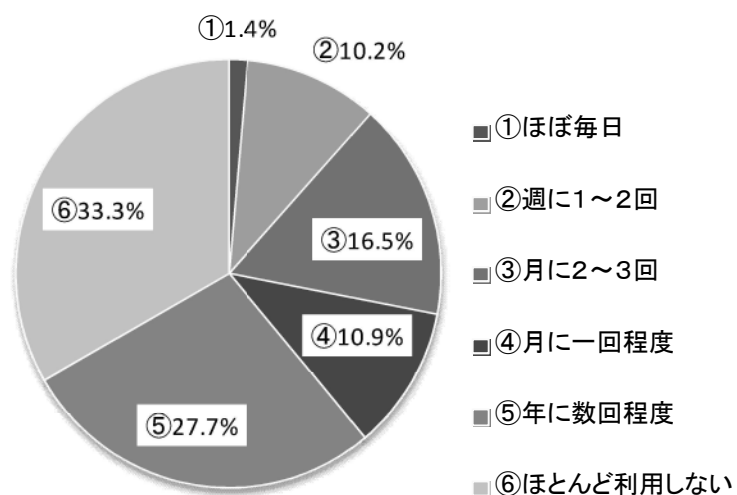


■学年	回答数	割合
①小学4年生	50	17.5%
②小学5年生	111	38.9%
③小学6年生	110	38.6%
④不明、未回答	14	4.9%
全体	285	100.0%



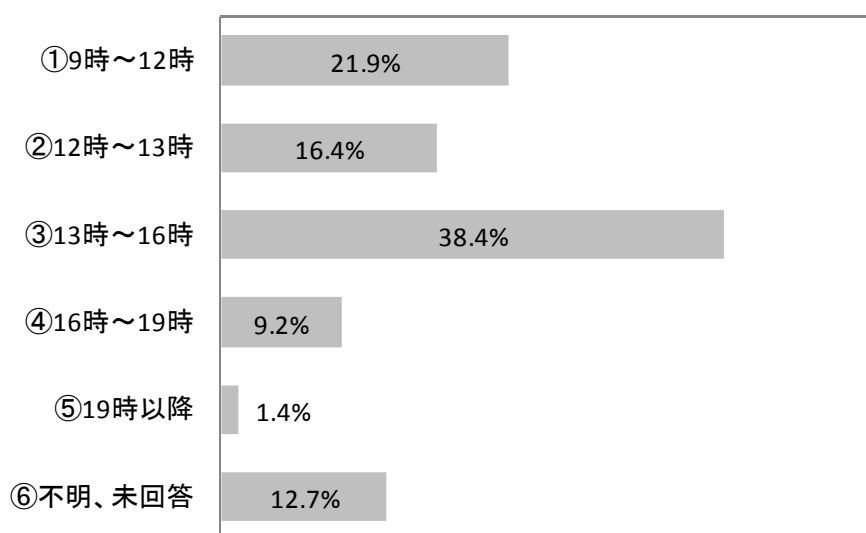
問1 あなたは図書館をどれくらい利用していますか？

	回答数	割合
①ほぼ毎日	4	1.4%
②週に1～2回	29	10.2%
③月に2～3回	47	16.5%
④月に一回程度	31	10.9%
⑤年に数回程度	79	27.7%
⑥ほとんど利用しない	95	33.3%
⑦不明、未回答	0	0.0%
全体	285	100.0%



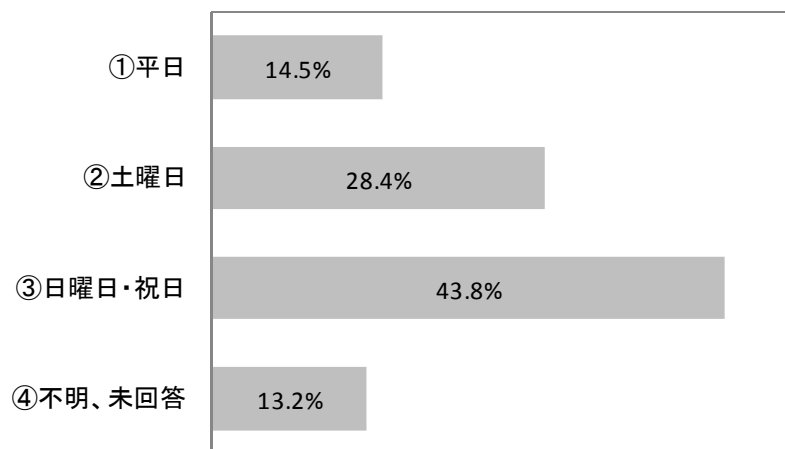
問2 図書館を利用する時間帯はいつ頃ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①9時～12時	64	21.9%
②12時～13時	48	16.4%
③13時～16時	112	38.4%
④16時～19時	27	9.2%
⑤19時以降	4	1.4%
⑥不明、未回答	37	12.7%
全体	292	100.0%



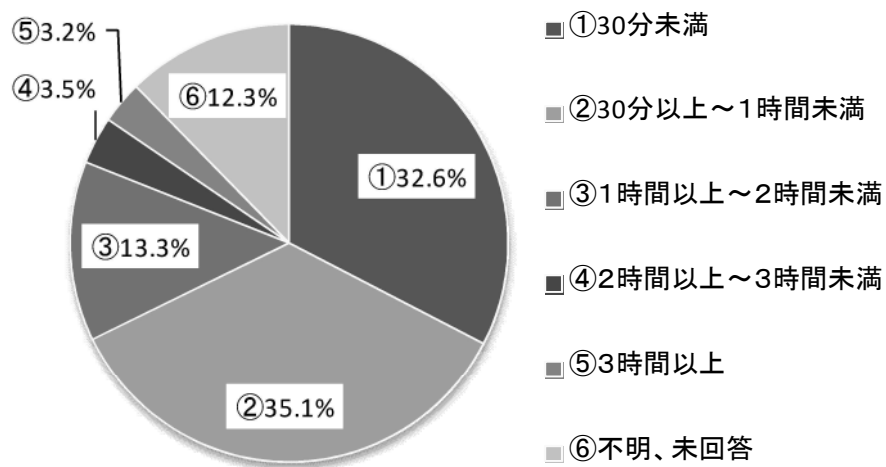
問3 図書館を利用するのは何曜日ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①平日	46	14.5%
②土曜日	90	28.4%
③日曜日・祝日	139	43.8%
④不明、未回答	42	13.2%
全体	317	100.0%



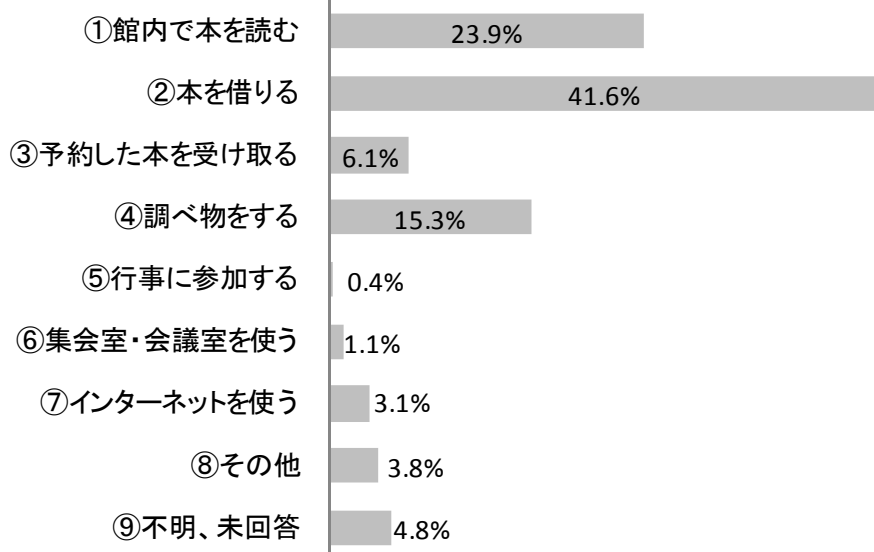
問4 図書館にいる時間はどれくらいですか？

	回答数	割合
①30分未満	93	32.6%
②30分以上～1時間未満	100	35.1%
③1時間以上～2時間未満	38	13.3%
④2時間以上～3時間未満	10	3.5%
⑤3時間以上	9	3.2%
⑥不明、未回答	35	12.3%
全体	285	100.0%



問5 図書館を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

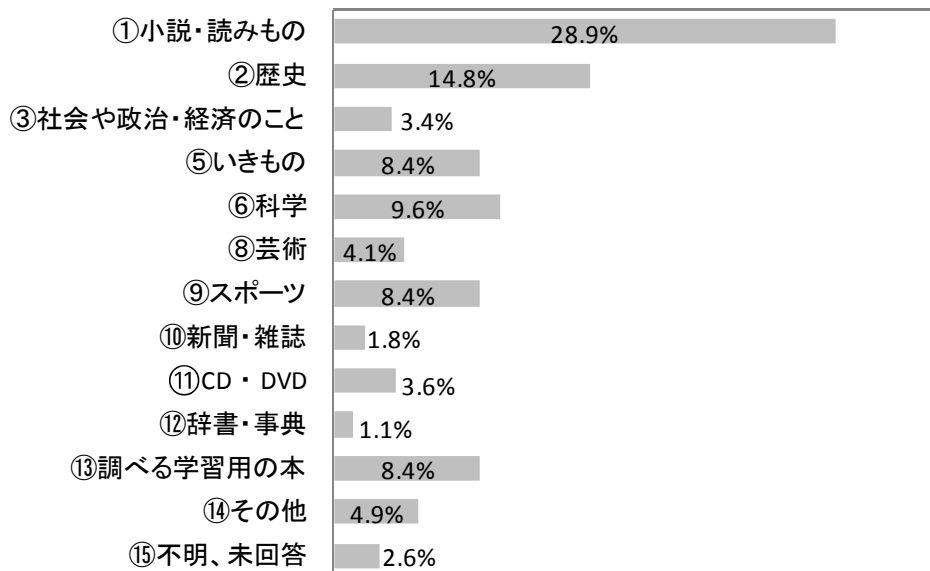
	回答数	割合
①館内で本を読む	125	23.9%
②本を借りる	218	41.6%
③予約した本を受け取る	32	6.1%
④調べ物をする	80	15.3%
⑤行事に参加する	2	0.4%
⑥集会室・会議室を使う	6	1.1%
⑦インターネットを使う	16	3.1%
⑧その他	20	3.8%
⑨不明、未回答	25	4.8%
全体	524	100.0%



問6 あなたがよく利用する資料はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①小説・読みもの	178	28.9%
②歴史	91	14.8%
③社会や政治・経済のこと	21	3.4%
⑤いきもの	52	8.4%
⑥科学	59	9.6%
⑧芸術	25	4.1%

⑨スポーツ	52	8.4%
⑩新聞・雑誌	11	1.8%
⑪CD・DVD	22	3.6%
⑫辞書・事典	7	1.1%
⑬調べる学習用の本	52	8.4%
⑭その他	30	4.9%
⑮不明、未回答	16	2.6%
全体	616	100.0%

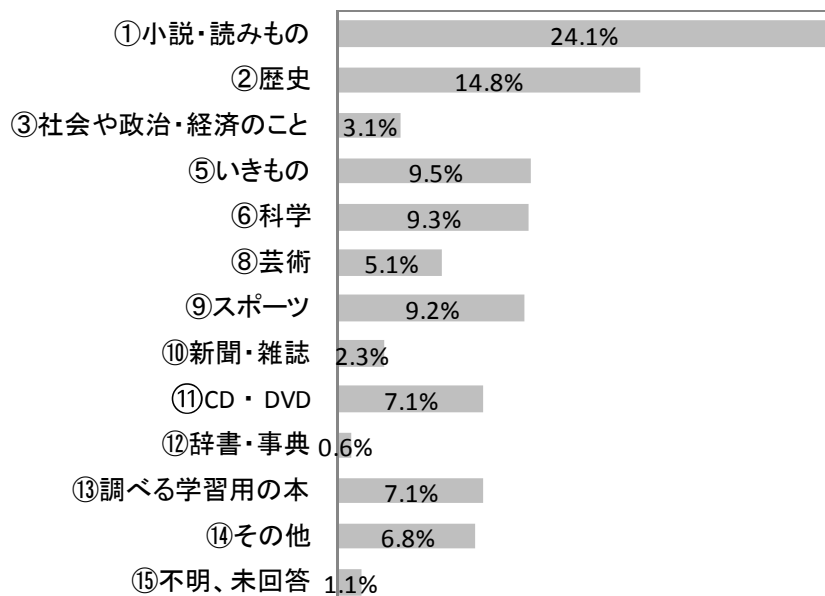


その他（具体的に）

- ・マンガ（7）
- ・料理（4）
- ・自由研究
- ・クラフト、工作（4）
- ・釣り
- ・電車
- ・将棋
- ・物語

問7 図書館でもっと増やしてほしい本はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①小説・読みもの	150	24.1%
②歴史	92	14.8%
③社会や政治・経済のこと	19	3.1%
⑤いきもの	59	9.5%
⑥科学	58	9.3%
⑧芸術	32	5.1%
⑨スポーツ	57	9.2%
⑩新聞・雑誌	14	2.3%
⑪CD・DVD	44	7.1%
⑫辞書・事典	4	0.6%
⑬調べる学習用の本	44	7.1%
⑭その他	42	6.8%
⑮不明、未回答	7	1.1%
全体	622	100.0%

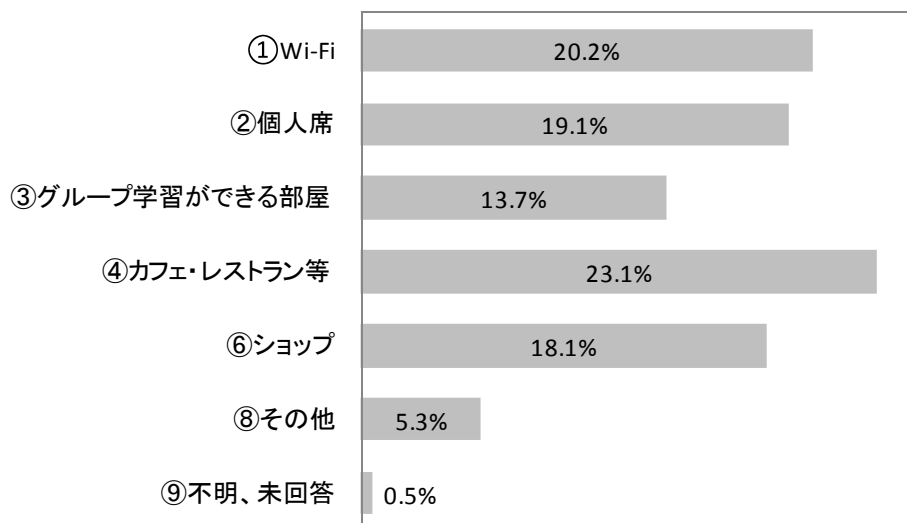


その他

- ・マンガ (19)
- ・アニメ (3)
- ・工作 (3)
- ・サバイバル (3)
- ・料理 (2)
- ・将棋 (2)
- ・大型本
- ・クラフト
- ・恋物語
- ・サッカー
- ・電車、新幹線の本
- ・釣りの本

問 8 新しい図書館にどんな機能があるといいですか？ (複数回答可)

	回答数	割合
①Wi-Fi	167	20.2%
②個人席	158	19.1%
③グループ学習ができる部屋	113	13.7%
④カフェ・レストラン等	191	23.1%
⑥ショップ	150	18.1%
⑧その他	44	5.3%
⑨不明、未回答	4	0.5%
全体	827	100.0%

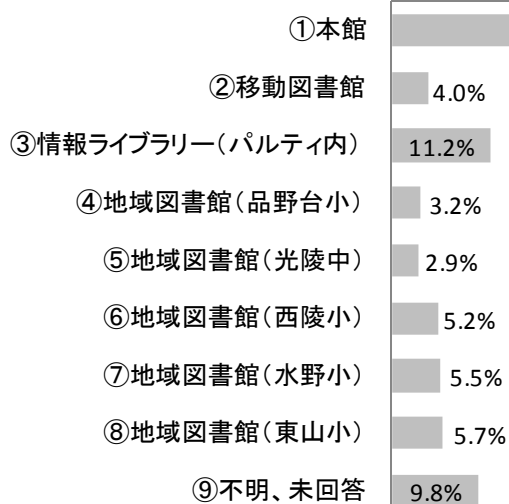


その他（具体的に）

- ・いらなくなった本を持ち出せるところ
- ・明るい部屋
- ・健策するPCの機能をもっとよくする
- ・飲み物が無料
- ・有力な人員
- ・パソコン、PCルーム
- ・マンガショップかマンガパフェ、スマホやパット（個人席）
- ・テレビ、ゲームとマンガの貸出、試食、ジュースのセルフサービス
- ・テレビゲーム、無料でもらえるもの、マンガ
- ・ホテル、旅館
- ・自動販売機
- ・文房具店
- ・いいにおい
- ・小さい子と大きい子がわかれる部屋
- ・プラネタリウム
- ・映画館
- ・まんが喫茶
- ・バッティングセンター
- ・ニンテンドーゾーン
- ・標本
- ・まんがショップ
- ・おかし売りば
- ・勉強部屋
- ・自動ドア
- ・本屋
- ・ドリンクバー
- ・ゲームセンター
- ・うるさくしてもいい
- ・トイレ
- ・ゲームやマンガをやれるところ
- ・コンビニ（売店）
- ・おあそびひろば

問 9 あなたがよく利用する図書館に○をつけてください。(複数回答可)

	回答数	割合
①本館	183	52.6%
②移動図書館	14	4.0%
③情報ライブラリー（パルティ内）	39	11.2%
④地域図書館（品野台小）	11	3.2%
⑤地域図書館（光陵中）	10	2.9%
⑥地域図書館（西陵小）	18	5.2%
⑦地域図書館（水野小）	19	5.5%
⑧地域図書館（東山小）	20	5.7%
⑨不明、未回答	34	9.8%
全体	348	100.0%



問 10. その他、あたらしい図書館についてのご意見を自由に書いてください。

施設や設備、立地について
トイレが明るくきれいなふう（室内も明るく）。ホラーや恋愛物の小説をふやしてほしい
トイレをふやしてほしい。すわる場所がほしい。PCをもっとふやしてほしい
トイレをきれいにしてほしい。明るい雰囲気がいい。小学生・中学生向けの小説をふやしてほしい
夏はすずしく、冬はあったかくしてくれるといいです
広くてすずしい図書館
明るい雰囲気な図書館が良いです。1 番人気の本を入口近くに置いておくと良いと思います。2 階建てにして、エレベーターを広くしてほしいです

広い図書館にしてほしいです。学習マンガをもっとふやしてほしいです
いろいろなしせつをもっとふやしていけばいいと思います
食堂があるといい！
ふかふかソファをおいてほしい。1つの本の数を多くしてほしい
もう少し目立ちやすく！部屋の色をカラフルにする。本の種類をふやす！トイレをきれいに！部屋をもっと広く！自動販売機を設置する！貸出期間を長くする！とにかくおもしろい図書館がいい！何かおもしろいしかけがいい！
もっと広くしてほしい！本のぶるいでかりられている物を出してほしい。デザートやジュースを食べたり飲んだりしたい。全部トイレを洋式にしてほしい。小さい子が遊べるところをつくる！
本をきれいにならべる。イスをふやす
トイレをふやしてほしい
ソファを新しくしてほしい
ソファを増やして欲しい
ロッカーをもっと多くてもいいと思う。棚が多いと思う。本館中に鏡をつけてもいいと思う。クルクルいすがあるといいと思う。何時かをしらせる放送があるといいと思う
自動販売機、全部洋式がいい、ソファがほしい、寝る部屋がほしい！となりに遊園地か映画館がほしい
おとし物コーナーをつくる。とまれる部屋をつくる。ゲームの部屋をつくる。大人が静かに本を読めるスペースをつくる
もっと読むところを増やしてほしい
かつぱずしを作ってください！ソファを超ふっかふかにしてくれ！もっと読むところを増やしてください！自動販売機を作ってください！テレビがほしい！温水がほしい！
ソファをふかふかにしてほしい。トイレを全部洋式にしてほしい。DVDコーナーを作ってほしい。TVをつけてほしい
たいらな場所に作ってほしい。一つの本を多くしてほしい
ソファ。ねる部屋。キッズルーム→DVDをながす。ホテル。イベント（たまに）
学習したりする部屋
みんなが使いやすく、体が不自由な人でも楽しく行ける図書館がいいです。（車いすなどを使えたり、手すりなどがついている。）
本棚をあまり高くしすぎないでほしい
中で本を読める席をふやしてほしい
学習できる場所がほしい。飲食OKの場所
席をふやしてほしい
個室＝4～5人で本について話せる！

問 8 の所を書いた物ができていたらうれしいです（まだ行ったことがないので）
家の近くにある所
公園の近くにつくる
1 階が図書館で 2 階がまんが喫茶で 3 階がバッティングセンター
マンガ喫茶を作ってほしい。
大きい図書館がいい
新しい図書館ができるなら、大きくて、広くて、2 階建てできれいな図書館がいい
大きな図書館でグループ学習で 1 日いられるようにしてくれれば（カフェもね！）新作の本が一ヶ月内にいれてください
エスカレーター、エレベーター、ふっかふかソファ、ペッパー君、マッサージチェア、3 階図書館、手話、くじびき（当たったら図書カード）、点字
エアコンのきいた部屋がほしい、スポーツ、高齢の人が来られる場所。みんながルールを守る。利用カードがかえる場所
エレベーター、本を調べられるコンピュータ、手話できる人、点字、図書カード
冬はあたたかく、夏はすずしくしてほしい。
照明をもっと明るめにしてほしい
イスを多くしてほしい。もう少し整頓してほしい
いすを多くしてほしい。わかりやすいようにしてほしい
とてもすごしやすく満足です。あとはワイファイをつなげてくれたらうれしいです。
図書館がふえてうれしいです。ワイファイをつなげてほしい
パーソナルコンピュータをつかえたらいい。本をふやしてほしい。席をふやしてほしい
パソコンで自由に調べものをしたい。本を読む場所をもっと多くしてほしい。
カフェレストランがあるといい。わかりやすい本がたくさんあるといい。
ショップがあつたり大きな声を出してもいい部屋
本を読みながらごはんや飲み物を飲みたい。
本をかりるほかに、本やカバーやしおりなどを買える店がほしい
いすがあつてのみものがある図書館がほしい。
個人やグループで楽しめる図書館がいい。
自動販売機があるといい。アニメの本を置いて欲しい
坂の上にあるのがつらいです。
もっと広くしてほしい
坂をこわして平らにしてほしい。駐車場をひろくして、平にしてほしい。
もっと図書館を大きくしてほしいです。駐車場を平らにしてほしいです。
何でもそろってる。デカイ
お年寄りにも利用してもらいやすく

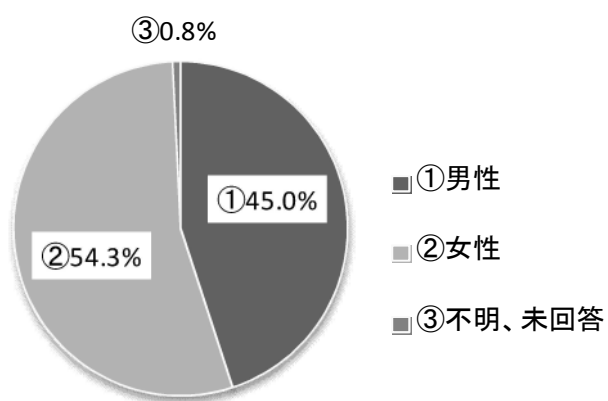
もっと老人や体の不自由な人も通りやすい道
下半田川にすんでいます、もっとちかくに図書館がほしい
病院の近くはやめてほしい
近くに作ってほしい
坂がないほうがいいな
週刊、月刊誌のコーナーがほしい。ゆっくり座って読むためのイスを多くしてほしい。邪魔な荷物をしまうためのロッカーがほしい
車をとめるところ平面にしてほしい
資料について
広くして本をふやす
本をたくさんふやす
雑誌の今月号を借りさせてほしい
本が多くなればもっといいと思います
本をもっとたくさんふやしてほしい。
本だけではなくマンガもおいてほしい。アニメのマンガがいっぱいおいてある部屋をつかってほしい。インターネットの台数を増やす。最新のマンガを増やす小説も増やす。1人の部屋。寝ながら本を見れる部屋。ホテルを作る(無料)
本やDVDの場所をわかりやすくしてほしい。トイレの数をふやす。本のジャンルをつけてほしい。見ためをよくする。いろんな人がきやすいところにつくってほしい。駐車場無料
小さな子が絵本を読んでいるのをよく見るから、小さな子が読む本を集めてキッズライブラリーを作ってもいいと思う。
クイズの本がたくさんほしい
おりがみがあるとしょかん
絵がいっぱいある本
学習用の本に限らずもっといろいろな本があったほうがいいと思う
クラフトコーナーや料理本をもっとふやしてほしい。ディズニーのクラフト本もほしい。机、いすがいっぱいある所。すぐに本がどこにあるかわかる
ディズニーの本が多い。汚い本がなくキレイ(やぶれてない)。コンピューターで調べると、よく位置がわかりにくいのでわかりやすく。カードなどの絵をかわいく
手芸の本やディズニーの本をもっとふやしてほしい
マンガをふやしてください
集英社みらい文庫の小説を多くおいてほしい
楽しくておもしろい本がたくさんふえとうよいと思う。作る物やクイズの本もふえとうよいと思う
子ども向けのDVDやCDがほしい。例 快とうグルー

本の数を増やしてほしい
本のジャンルをふやして本のありがさがすぐにわかるようにする
新しい本をふやしてほしい
CD、DVD をいっぱい置いてほしい。電車の駅の近くにしてほしい
芥川賞を受賞したピース又吉様の「火花」を置いてほしい
本や本の種類をふやしてほしい
冊数をふやし、もっと人に本を読んでもらうように工夫すると良いと思う
小さい子むけの本を新しくしてはどうでしょうか？キッズルームを作るのはどうでしょうか
本の配架や探し方について
パソコンの質問にこたえて、ぴったりの本を見つけるページを加えてほしい
店員をふやしてほしい。本をもとにもどしやすくしてほしい
みんながとどく場所に本をおいてほしい
いつも本を探している人がきても、借りる人や返す人がいるしパソコンが2つなので探している人を待たせちゃうから見つけたとしても片方がいいと思います。本がある場所をもっと分かりやすくしてほしい（棚の上にもっと大きく本の種類を書いてほしい）
借りたい本をさがす機械など
これは〇〇類と書いてほしい
調べた本がでてくるマシン
その他
あたらしい図書館ができると聞いてとても楽しみです
まだ行った事がないのでわかりませんが、こんど図書館に行った時わくわくしながらあたらしい図書館に行ってみたいと思います
コンピュータをつかう
新しい図書館を作るなら、図書館で本を読んで面白かったらすぐにその本が買えるように本屋もあってほしいです
とても小さいこどもから、お年寄りの方までもっと楽しく本を読める場所にしてほしい
ニュースをながしてほしい
昨日あったニュースなどをテレビでながしてほしい
キャラクターを作ってみてはいかがでしょう？イベントをおこなうといいと思います が？図書館のとなりに子どもをあずける所をつくるといいと思う

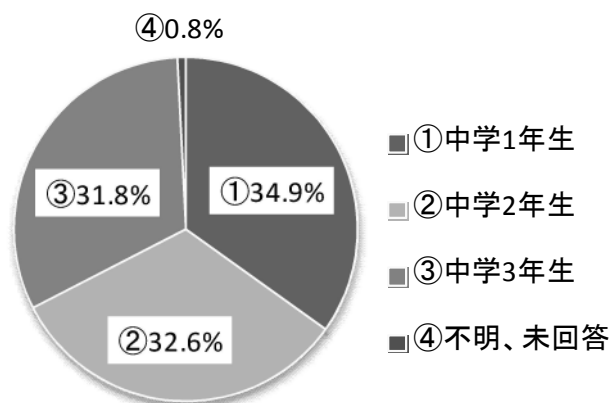
◆中学生

回答者属性

■性別	回答数	割合
①男性	58	45.0%
②女性	70	54.3%
③不明、未回答	1	0.8%
全体	129	100.0%

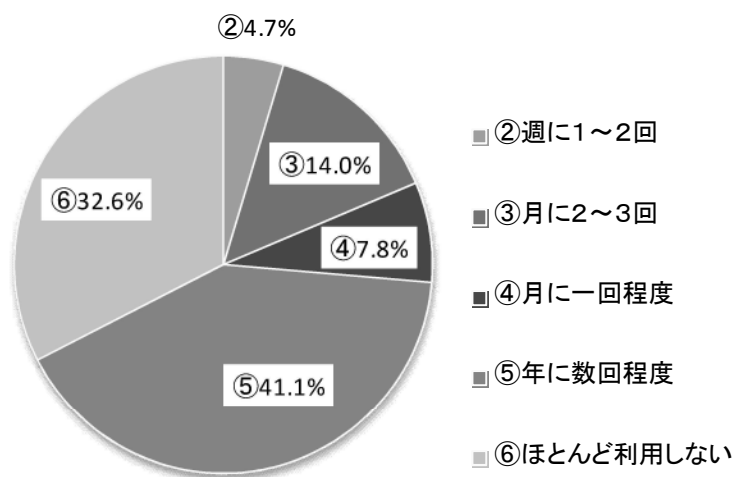


■学年	回答数	割合
①中学1年生	45	34.9%
②中学2年生	42	32.6%
③中学3年生	41	31.8%
④不明、未回答	1	0.8%
全体	129	100.0%



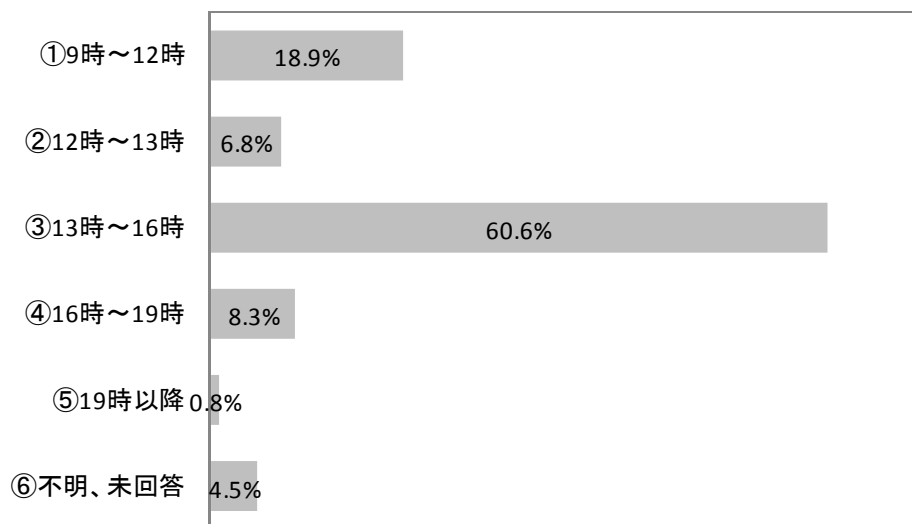
問1 あなたは図書館をどれくらい利用していますか？

	回答数	割合
①ほぼ毎日	0	0.0%
②週に1～2回	6	4.7%
③月に2～3回	18	14.0%
④月に一回程度	10	7.8%
⑤年に数回程度	53	41.1%
⑥ほとんど利用しない	42	32.6%
⑦不明、未回答	0	0.0%
全体	129	100.0%



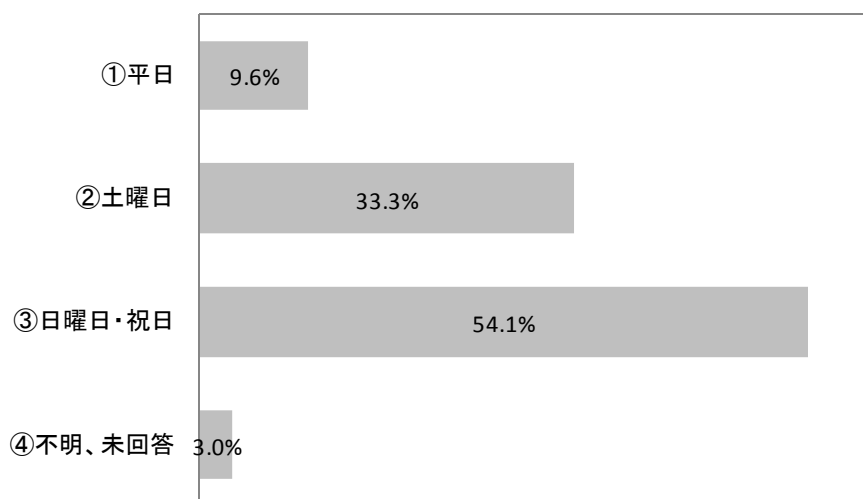
問2 図書館を利用する時間帯はいつ頃ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①9時～12時	25	18.9%
②12時～13時	9	6.8%
③13時～16時	80	60.6%
④16時～19時	11	8.3%
⑤19時以降	1	0.8%
⑥不明、未回答	6	4.5%
全体	132	100.0%



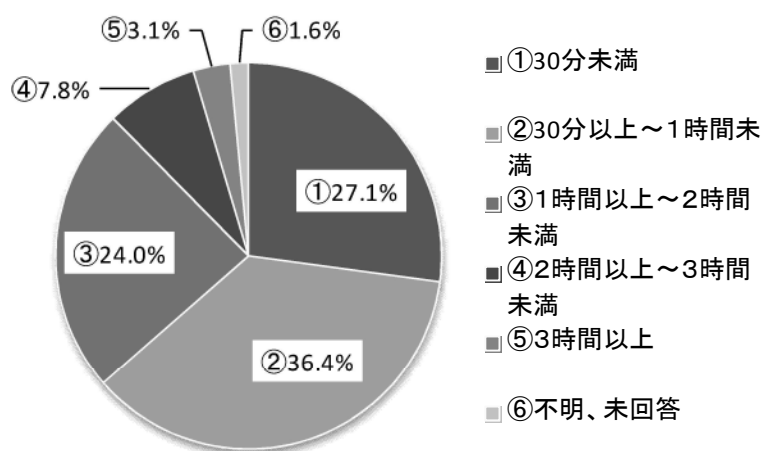
問3 図書館を利用するのは何曜日ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①平日	13	9.6%
②土曜日	45	33.3%
③日曜日・祝日	73	54.1%
④不明、未回答	4	3.0%
全体	135	100.0%



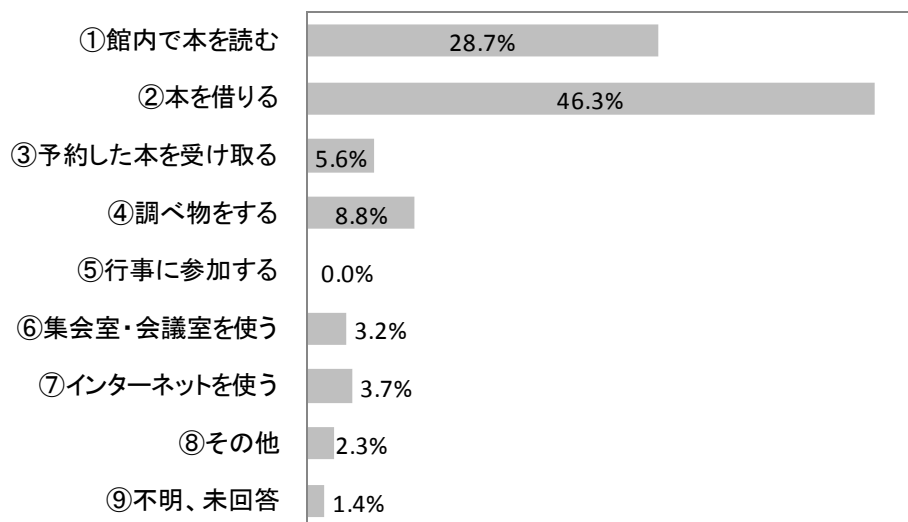
問4 図書館にいる時間はどれくらいですか？

	回答数	割合
①30分未満	35	27.1%
②30分以上～1時間未満	47	36.4%
③1時間以上～2時間未満	31	24.0%
④2時間以上～3時間未満	10	7.8%
⑤3時間以上	4	3.1%
⑥不明、未回答	2	1.6%
全体	129	100.0%



問5 図書館を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①館内で本を読む	62	28.7%
②本を借りる	100	46.3%
③予約した本を受け取る	12	5.6%
④調べ物をする	19	8.8%
⑤行事に参加する	0	0.0%
⑥集会室・会議室を使う	7	3.2%
⑦インターネットを使う	8	3.7%
⑧その他	5	2.3%
⑨不明、未回答	3	1.4%
全体	216	100.0%

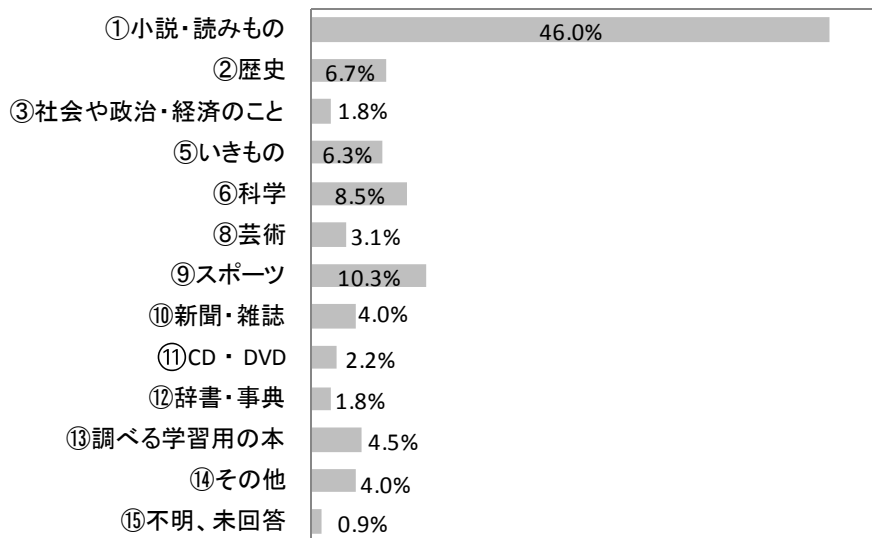


問6 あなたがよく利用する資料はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①小説・読みもの	103	46.0%
②歴史	15	6.7%
③社会や政治・経済のこと	4	1.8%
⑤いきもの	14	6.3%
⑥科学	19	8.5%
⑧芸術	7	3.1%
⑨スポーツ	23	10.3%
⑩新聞・雑誌	9	4.0%
⑪CD・DVD	5	2.2%
⑫辞書・事典	4	1.8%
⑬調べる学習用の本	10	4.5%
⑭その他	9	4.0%
⑮不明、未回答	2	0.9%
全体	224	100.0%

その他（具体的に）

- ・マンガ ・ディズニー
- ・妖怪・怖い本 ・ライトノベル

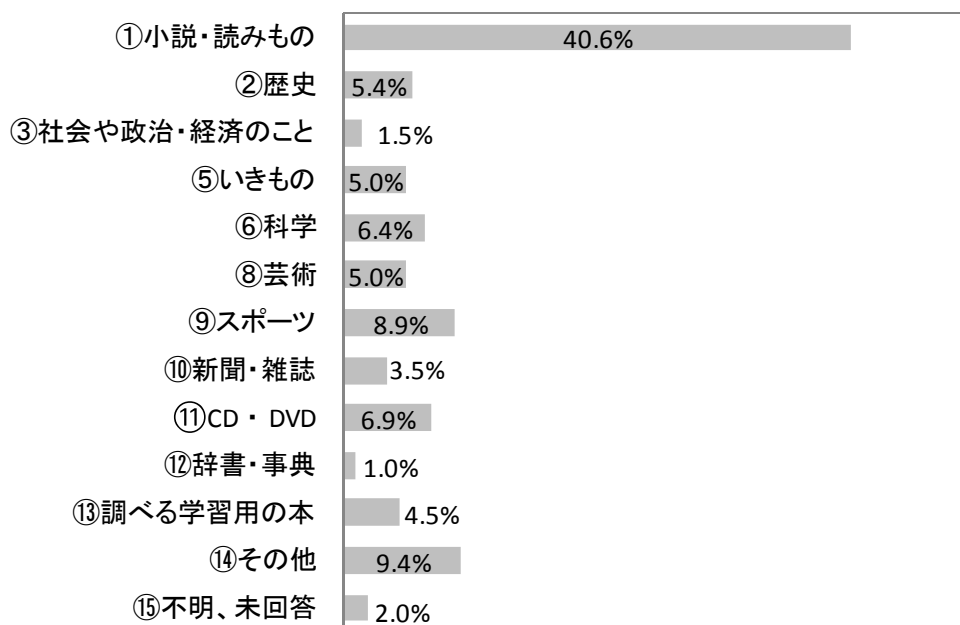


問7 図書館でもっと増やしてほしい本はどれですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①小説・読みもの	82	40.6%
②歴史	11	5.4%
③社会や政治・経済のこと	3	1.5%
⑤いきもの	10	5.0%
⑥科学	13	6.4%
⑧芸術	10	5.0%
⑨スポーツ	18	8.9%
⑩新聞・雑誌	7	3.5%
⑪CD・DVD	14	6.9%
⑫辞書・事典	2	1.0%
⑬調べる学習用の本	9	4.5%
⑭その他	19	9.4%
⑮不明、未回答	4	2.0%
全体	202	100.0%

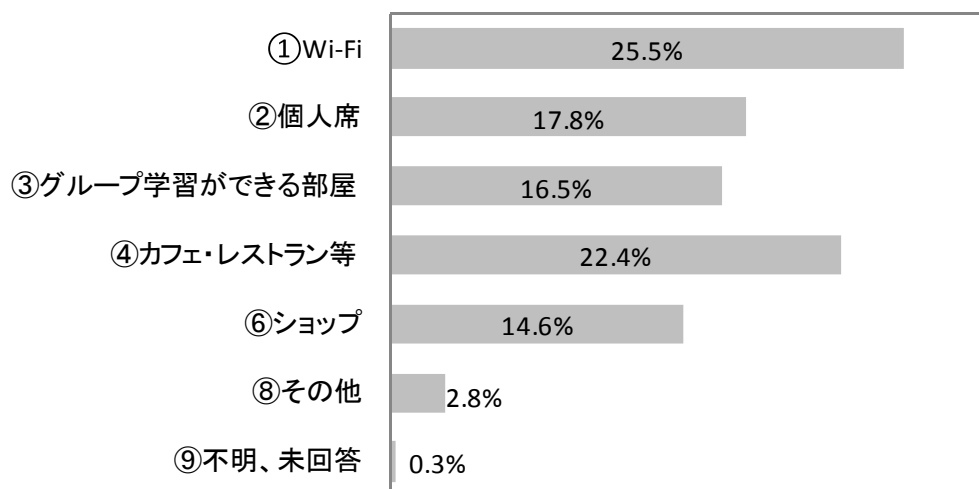
その他

- ・マンガ (8)
- ・ライトノベル (5)
- ・雑誌 (2)
- ・ファンタジー系小説
- ・Disneyの本



問8 新しい図書館にどんな機能があるといいですか？（複数回答可）

	回答数	割合
①Wi-Fi	82	25.5%
②個人席	57	17.8%
③グループ学習ができる部屋	53	16.5%
④カフェ・レストラン等	72	22.4%
⑥ショップ	47	14.6%
⑧その他	9	2.8%
⑨不明、未回答	1	0.3%
全体	321	100.0%

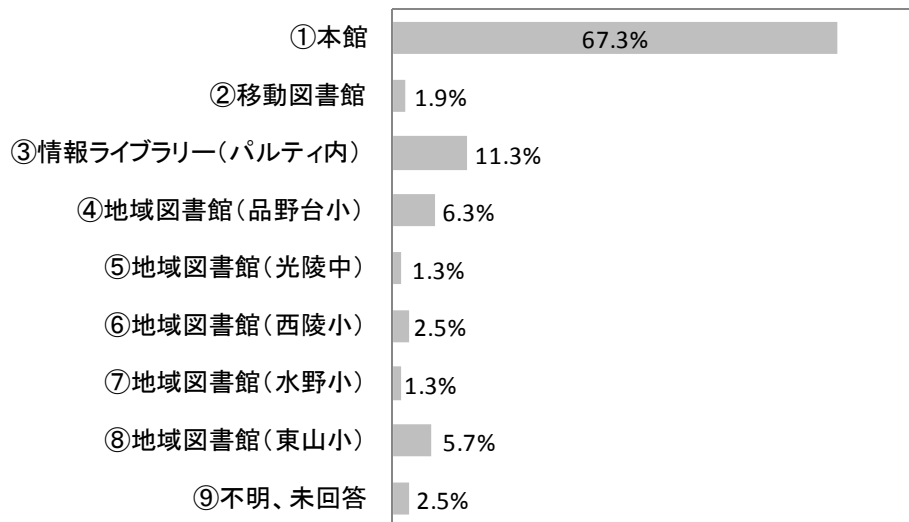


その他（具体的に）

- ・ マッサージチェア、ソファ
- ・ アイドル雑誌（ジャニーズ）
- ・ ディズニーストア
- ・ 座って読める席をもっとふやしてほしい
- ・ CD, DVDをもっと増やす

問 9 あなたがよく利用する図書館に○をつけてください。（複数回答可）

	回答数	割合
①本館	107	67.3%
②移動図書館	3	1.9%
③情報ライブラリー（パルティ内）	18	11.3%
④地域図書館（品野台小）	10	6.3%
⑤地域図書館（光陵中）	2	1.3%
⑥地域図書館（西陵小）	4	2.5%
⑦地域図書館（水野小）	2	1.3%
⑧地域図書館（東山小）	9	5.7%
⑨不明、未回答	4	2.5%
全体	159	100.0%



問 10. その他、あたらしい図書館についてのご意見を自由に書いてください。

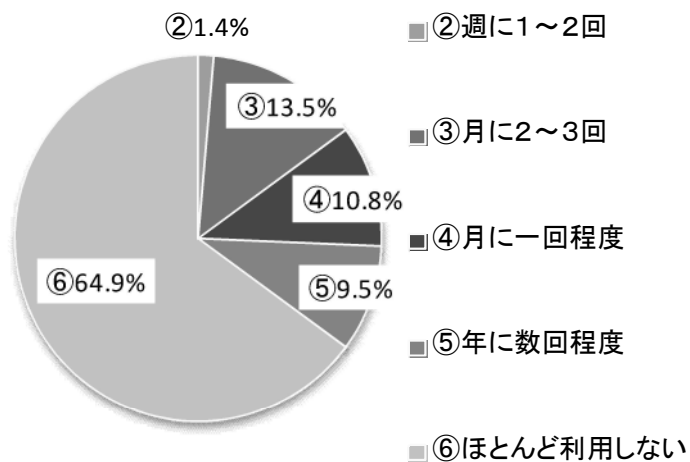
ゴミ箱
坂がない所に作ってほしい。とにかく大きなたてももの（目標 長久手）
本棚の数や図書館の面積の規模が小さく蔵書の数も少ない。もっとほかの図書館のように本を増やしてほしい。また、小説を作者の五十音順に並べてもっとさがしやすくしてほしいと思う
本の位置をもっとわかりやすくして、ちょっとしたサービスを増やす
本等の量が多くなるといいな
アニメやボカロの小説をふやしてほしい 新しい本をふやしてほしい
新しい本を入れてほしい
もっと本を増やしてほしい。本が分かりにくいところをなくしてほしい。人気な本は1巻が2, 3冊有る方が良い
書庫にある本を頼んでとってもらわないといけないのは不便
新しい本をもっと増やしてほしい
本をもっと探しやすくする
タダでジュースがのみたい
探している本がすぐみつかる
サバイバルシリーズを増やしてほしい。
もっと本の種類と冊数を増やしてライトノベルや文庫などもおいてほしい
市役所の近くにつくってください
小説系をふやしてほしい。静かに読める席を設けてほしい。こども用大人用で席などで分けてほしい
新しい本を入れてほしい
本棚がもっとふえるといいと思います
一部の通路をもう少し広くして欲しい。現代小説の数を増やしてほしい
行かないのでわかりません
本の品数をふやしてほしい。マンガをおいてほしい。新しい本とかふやしてほしい
カートの量をふやしてほしい
できるだけ新しい本をそろえる
問 1～問 9 の通りでお願いします
新しい本がほしい
もう少し新しい本が増えるといい
本の種類を増やして下さい
もっと小説を増やしてほしい
イスをもう少し増やしてほしい

1 回に借りられる冊数をふやしてほしい
よくどこにどんな本があるのかとか探しづらい
もっと人気のある本をふやしてあげたらいいと思います
もっと図書館で本を読めるといいと思います
暗い雰囲気が足を運ぶのを妨げていると思うので明るめの照明を使ったらいいと思います
みんなであつまって少し騒げるところがあるとありがたいです
いろんな種類の本と、一人で安心してよめる所（個室）みたいなのが欲しい

(ウ) 子育て世代へのアンケート

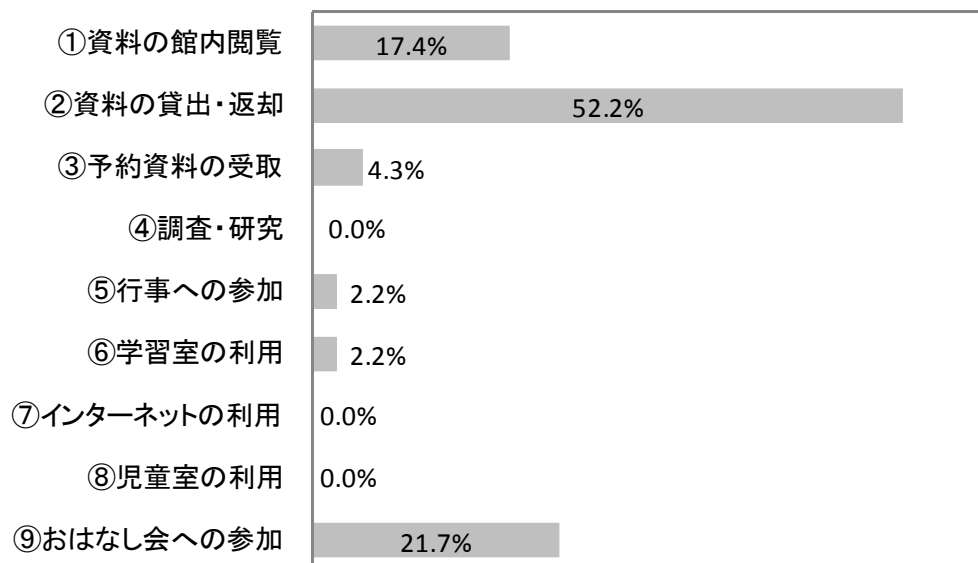
問1 あなたは図書館をどれくらいの頻度で利用されますか。

	回答数	割合
①ほぼ毎日	0	0.0%
②週に1～2回	1	1.4%
③月に2～3回	10	13.5%
④月に一回程度	8	10.8%
⑤年に数回程度	7	9.5%
⑥ほとんど利用しない	48	64.9%
⑦不明、未回答	0	0.0%
全体	74	100.0%



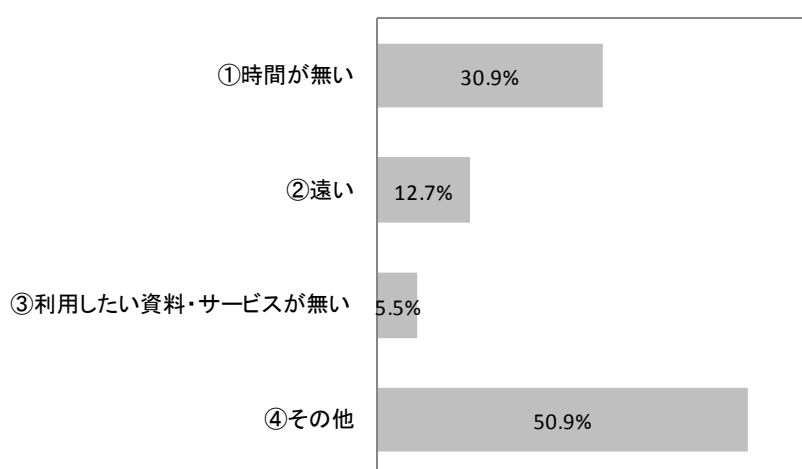
問 2 問 1 で①～⑤と回答された方にお聞きします・どのような目的で図書館を利用されますか。(複数回答可)

	回答数	割合
①資料の館内閲覧	8	17.4%
②資料の貸出・返却	24	52.2%
③予約資料の受取	2	4.3%
④調査・研究	0	0.0%
⑤行事への参加	1	2.2%
⑥学習室の利用	1	2.2%
⑦インターネットの利用	0	0.0%
⑧児童室の利用	0	0.0%
⑨おはなし会への参加	10	21.7%
⑩その他	0	0.0%
⑪不明、未回答	0	0.0%
全体	46	100.0%



問3 問1で⑥と回答された方にお聞きします。図書館を利用されないのは何故ですか。
(複数回答可)

	回答数	割合
①時間が無い	17	30.9%
②遠い	7	12.7%
③利用したい資料・サービスが無い	3	5.5%
④その他	28	50.9%
⑤不明、未回答	0	0.0%
全体	55	100.0%



その他の理由

本を使わない
駐車場が使いにくい。子どもスペースと大人のスペースをわけてほしい。子どもがさわがしくすると迷惑かと思い利用しにくい
引っ越してきたばかり
子どもが騒ぐと悪いので行かない
本を読まないから
上の子供が落ち着いて読めない (小1年生)
マンガがない
移動手段がない
場所がわからない
頭になかった
育児で忙しく、おちついたら利用したい
図書館にいても小さな子どもがいるから目が離せないから利用できない
上の子は学校で借りて済ませてくる。自分では使わない

子どもの手が離せない、まわりの目が気になる
どこにあるのかわからない
最近引っ越してきて場所が分からない
場所が分からない
引っ越して間がない
仕事の間は行っていたけど、現在はほとんど家にいるため
場所が分からない
本はこれから読みたい、大人になってから遠のいた
行きづらい
車が停めにくい
車がなくて行きづらい
他に遊びに行く
必要でない
引っ越してきたばかり
坂の上なので行きにくい、本が少ない

問 4 今後図書館にどのようなサービス・機能があるとよいと考えますか。

よみきかせの専用の部屋
交通の便が良いところ。静かなスペースと子ども達のさわる場所があると良い
パソコン教室の実施
キッズスペース、あそぶ場所、託児
大人も利用しやすく。カフェコーナーが有、本が持ちこめると良い。明るくしてほしい
近いと良い
子供向けの絵本が立体とびだす絵本
駐車場がとめやすい良い。おはなし会部屋が広いほうがよい
読み聞かせは良い。授乳室が欲しい
特にはないが喫茶室があったら行きやすい
利用していないので具体的に意見なし
6, 7 カ月の小さな赤ちゃんが泣いても平気な場所があると良いです。
有名な漫画、CD を置いてほしい。子どもが本をよみやすい環境。有名な本をたくさん入れて借りやすいように。レシピ、料理の本新しいものが多い
赤ちゃんがすわれる、ねっころがれる図書館。下にすわって本と近くでえらべる。赤ちゃんの本と主婦向けの本を近くに。子どもコーナー、天井が低い方がよい。畳の部屋
児童館、プレイルーム併設されていると利用しやすい。食事が出来るスペースや施設があると良い

子供用のスペースをぜひ
駐車場が止めにくい、スペースを広く
おむつ替のスペース希望（現在2F）
読み聞かせの部屋。子どもが遊べる部屋とかイベントがある。
移動図書を望む（公民館など）
子どもの遊び場。子どもの本がたくさんあると良い
小さな子がゆっくりできる図書館
壁面に残してほしい。広い場所が欲しい。春日井図書館のように駐車場が広いと嬉しい
子どもが遊びやすい。駐車場が坂が大変
駐車場がとめにくい。スペースがない→広く。1、2階人目がないから怖い感じあり
コミュニティルーム、会議室、企画展があると良い。イベントが出来る様なスペース
読み聞かせがいつでも聞けるといい
子どものスペースが小さいので大きく（荷物を置きたい）。くつを脱いでおけるように（げたばこ）。子どもを安全にねかせておけるように。子ども用のお手洗いなど一式ほしい
年齢別の本の紹介を増やしてほしい。駐車場が坂にあって使いにくい
赤ちゃん用ルームなどがあるとよい
子ども向の図書の充実。明るく広々とした所にしてほしい。駐車場を広く坂がない方がよい
プレイルームがあって子どもが安心して預けられる所があれば良い。交通の便の良い所
託児、行きやすいところがあれば行くかも
子どもを遊ばせるところ、託児があれば
託児、行きやすいところがあれば行くかも子どもが遊べて本を置いてある、カーペット敷き、駐車場が混んでいるので広いともっといい
家から遠い、本が返せる場所が近くにあるといい、子の年が離れていると読む本も違う、目を離していても安心できる環境
暗いのもっと開放感があり子どもが入りやすい空間にしてほしい。館内に死角が多く使いづらい。駐車場が狭い、斜めで怖い
近くにあると良い
育児施設がほしい
近いのが一番、子どもを安心して預けられること
小さい子が遊べる場所がほしい
子どもを連れて行って遊べる場所がほしい
カフェ
子どもが使いやすい、子どもを安心して預けられると良い
受付で待たされることなく返しやすい、トイレを広く、授乳室・おむつ交換場所がほしい

子どものスペースがあった方がよい、子どもが静かにできないので子ども専用の場所がほしい
子どもがいても行ける、うるさくても行けるような場所だと良い。授乳室、おむつのスペース
ベビーカーが通れるよう、幼児用スペースがほしい
平地にほしい、駐車が大変、おむつ替えの場所ほしい
子どもが遊べる所があると良い
おすすめの本の紹介
駅に近い、同じ年齢層の子どもが多い子ども向けスペースがあると良い
静かにしていなければならないのが負担。少し離れたところで安心して本を選べるようにしてほしい
場所が近かったら、複合施設、プレイルームがあると
子どもの遊べるスペース
子どもといっしょに騒いでも大丈夫、遊び道具がある、ランチもできると良い
家にたくさん本があるので子どもがいっぱい読みたくなったら大いに利用したい。読み聞かせをいっぱいやってください
検索しやすいこと、授乳室があると良い
子どもが楽しめるコーナーがほしい（自由にはしゃいだり）、その中でお友達ができるといいと思う
駐車場が広いとよい、授乳室

(2) ヒアリング内容のまとめ

ヒアリング先一覧（ヒアリング順）

瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会／菱野幼稚園／水南保育園／社会福祉法人アニモ福祉会／社会福祉法人麦／社会福祉法人くわの実福祉会／公民館協議会／図書館友の会／地域図書館サポーター（西陵小学校）／学びキャンパスせと／瀬戸窯業高校／地域図書館サポーター（光陵中学校）／瀬戸北総合高校／読み聞かせボランティア（東山小学校）／市民活動センター／銀座レディース（せと銀座通り商店街婦人部）／聖霊高校／瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会／瀬戸商工会議所

ヒアリング内容は次の通りです。

瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会 ヒアリング

平成 27 年 9 月 5 日（土）

団体の活動概要：

- ・平成 4 年に学校教員 OB を中心設立。「せとあさひの昔話」3 巻の編集発行、庄屋文書 50 点くらいを解説し冊子にするなどの活動のほか、設立 5 周年・10 周年・20 周年に記念誌として会員研究要録を作成。年 2 回会報を発行し会員の研究レポートを掲載、自治会、公民館、学校図書館等へ送付している。実働会員 20 名（賛助会員 10 名）。

図書館との関係：

- ・会合で会議室借りている。
- ・昔話の読み聞かせ第 1 回目を図書館で開催した。講演会などは公民館で行っている。
- ・図書館の郷土資料は会員個人で利用しており団体としての利用はない。「瀬戸市史」は 5 年かけて会員間で通読勉強会をした。

図書館への期待・要望：

- ・資料の拡充をしてほしい。周辺自治体の市史がない（尾張旭、春日井などない）。
- ・資料によってはカラーのものがあカラーコピーができるようにしてほしい。
- ・発表用の機材・設備の充実
- ・職員の対応は良く、助かっている。こちらも遠慮なく聴く関係ができています。高齢者は検索が苦手なので助かる。
- ・「瀬戸ところどころ今昔物語」をデジタル化したがいにくい。ページを分割して取り出しやすくしてほしい。
- ・「愛知県史」のデジタル化など、個人では使いにくいものを使いやすくしてほしい。尾張旭、春日井、長久手等周辺自治体、春日井郡、愛知郡といった広い範囲から瀬戸の歴史を見たい。江戸時代尾張藩が出していた史料を揃えてほしい。
- ・スペースが狭い。蔵書数も大事だがもっとゆったり本がみられるスペースがほしい。
- ・部屋を充実させ、天井高く圧迫感ないところで落ち着いて勉強、発表できるようにしてほしい。

郷土の歴史を広めるための活動：

- ・昨年までの 3 年間「陶祖 800 年祭」で地元陶磁器産業界、文化センターとの共同研究、講演会など行った。
- ・読み聞かせ会場を広いところへ移し、昨年度から瀬戸蔵で仏教会とタイアップして行っている。以前は学校や幼稚園・保育園へ定期的に出かけて行ったが今は余裕がなく、行事があるときに合わせて行っている。

菱野幼稚園 ヒアリング
平成 27 年 9 月 15 日 (火)

図書館との関係：

- ・図書館から団体貸出として約 1,000 冊借りている。読み聞かせ、園からの貸出を行うほか、本がたくさんある環境をつくるために園所有の本も含め各部屋に 100 冊ずつ置いている。2～3 カ月で入れ替えを行う。絵本の割合が多い。

図書館への期待・要望：

- ・図書に関する情報、話題の図書、時代に合わせた傾向などの情報を入れてほしい。
- ・洋書などきれいな本だけれど高額な本を手軽に読めるといいという要望が親御さんからある。そうした園では買いにくい本を図書館で揃えてもらえるとよい。
- ・読み聞かせは園の職員が行っており、研修も独自にやっている。図書館からのフォローがあるとありがたい。
- ・本好きな子どもになってほしいと思っているので、園内にもたくさんの本を置き、一斉保育の待ち時間に本を読んで待っているということを習慣にしている。さらに子どもたちを本好きになる企画があれば図書館から教えてほしい。
- ・園児を図書館に連れて行くことは今はないが、近くにあったら行ってみたい。人数の問題もあるが、ゆったり子どもたちが本を読めるスペースがあるといい。天井を高くして日が入るようであるとよい。
- ・子どもたちには本が堅苦しいものと思わずいつも隣にいる友達と思ってほしい。利用に制約が多くないようにしてほしい。
- ・いま人が集まる本屋には知識豊富でまたその人に会いに行きたくなる、相談できる人がいる、ホテルのコンシェルジュのようなよろず承りをする、ということがあると思う。図書館でもその人に会いに行くということがあってもいいのではないか。
- ・お母さんが行きたくするには隣接地に公園があつて子どもを遊ばせることができることと、絶対にあつてほしいのがカフェ。スターバックスが来たら絶対に行くと思う。そして停めやすい駐車場が必要。
- ・子どもがたくさん瀬戸市内で育ってほしい。文化的要素もある図書館を中心としたいろんな人が行きたくなる人が集まる場所、ポップな感じで、素敵な図書館ができると嬉しい。
- ・長久手市の図書館はスポーツ施設と併設で水の遊び場などあり、参考になると思う。
- ・子どもにも簡単に検索できる IT 機器があるとよい。

水南保育園 ヒアリング
平成 27 年 9 月 15 日（火）

図書館との関係：

- ・各保育園とも図書館のカードを預かって職員が 30 冊まで借りられるようになっている。園児と一緒に図書館へ行って園児が借りることもある。当園は図書館に近いので幼児・乳児とも年 2 回くらい図書館に行くが、歩いて行けない園は行かない。図書館では子どもが自分で本を選ぶ。バスが通るところの園は帰りがけに親子で借りていくところもある。
- ・職員が借りるのは大型の絵本や紙芝居等園で買えないものが多い。園内に本は 300 冊くらい、週 1 回貸出している。

図書館への期待・要望：

- ・子どもは絵本が大好き。図書館の読み聞かせを団体向けにやってもらう、あるいは館内体験などやってもらえればよいと思う。
- ・現在子どもたちへの読み聞かせは園の職員が行っている。図書館から本の紹介、読み聞かせの指導などあればよいと思う（数年前はあった）。
- ・小さい子向けの自然の図鑑があるとよい。絵本でもよい。
- ・子どもたちが好きなものを見つけられる、探している本を見つけられるようにしてほしい。
- ・パルティのように何かのついでに気楽に行ける場所にあるとよい。
- ・市民が使いやすい場所、高齢者も多くなるので電車を降りてすぐの場所に図書館があるとよい。

幼児にとっての図書館の意義：

- ・自分で表現して伝える力が以前より乏しくなっていると感じる。お話の世界に触れることで想像力が養われ、そこから言葉も出てくる。
- ・子ども自体の変化はあまり感じないがお母さんが変わった。親子で集まっても子どもには DS で遊ばせておくなど実体験の遊びが減った。
- ・文字に対して興味の高まりがある子はその後獲得する語彙数も増え、先生の言っていることも理解しやすい。保育園の年代でどれだけ言葉を獲得できるかは重要。読み聞かせの中で与えることができる。保育園は字を書いて学ぶというような時間はないので、お話を聞いて絵を描くなど幼児期の感性を育てることは大事である。

法人の事業：

- ・ ①生活介護事業②共同生活援助事業の 2 つの事業を行っている。①は就労できない人に作業をしてもらいながら生活の場を提供。②は一般にグループホームというが何らかの事情で家庭生活ができない人への援助。児童養護施設を出て就労しているが帰る家がない人を受け入れている。

図書館への期待・要望：

- ・ 365 日施設側で受け入れている人は土日に行き場がないので、図書館に行くという選択肢はあるが、図書館に連れていくまでには他法人の移動介護に乗り合いするなど方法を考える必要がある。
- ・ いろいろな発達段階の人がおり、自閉的な特徴のある人は図鑑が好きだったりする。
- ・ 作業として軍手やクッキー、手編みマット、有機肥料など作っている。年間行事としてお花見や餅つき、運動会など行っており、夏と冬にバスハイクがある。希望者を募って図書館へ行くことなどもありだと思う。
- ・ 図書館にゲーム機のようなものも置いてあれば一日いられる。パソコンで図鑑などが見られるとよいと思う。
- ・ 身障者用トイレの設備、全館バリアフリーであること、おむつ替え用のベッド、介助者がトイレに行っている間に座れるイスなどあるとよい。
- ・ ふだんの環境と変わると落ち着かなくなる人が多い。声を出しながらうろうろして注意されるとパニックになる。そういう時は場所を替えて対応することが必要になる。
- ・ 図書館利用の障壁は交通手段。公共交通機関か車になるが、付添いが必要になる。
- ・ 施設内の行事に本の読み聞かせや移動図書館を活用することもあり得る。

社会福祉法人麦 ヒアリング

平成 27 年 9 月 16 日（水）

法人の事業：

- ・施設の特徴として重度障害者（知的・身体とも）が多い。知的＋身体という重複障害の方など特殊な方の受入れもしている。盲重複の人も多い。
- ・作業としてパンの製作をしている。

図書館への期待・要望：

- ・いろんな障害のレベルの人でも楽しめる紙芝居や朗読テープなどがあるといい。
- ・図書館は障害者向けのレクリエーションの場として頼りにできると思う。
- ・朗読テープに大人向けはあるが子ども向けは少ない。知的障害者は子ども向けの方がよい。音声のほか短編でも子ども向け映像などがあれば親と一緒にみられる。ちょっと古いものでもいいものは図書館に揃えておいてもらえるとよい。
- ・図書館の方から来てもらうこともよいが、図書館のような場所へ出かけていくのも必要と考えている。
- ・施設が休みの日に図書館を利用したい人もいる。公共交通機関でないと連れて行けない場合もある。雨が降った時の居場所も少ないので図書館に行けるとありがたい。
- ・施設で作ったものを図書館で販売するチャンスがあればありがたい。商業施設だとあまり多く商品を出せない。公共的なところでできるとありがたい。
- ・トイレや洗面台などいろいろな障害のタイプに対応したかたちがあるとよい。ベッドがあるとよいが赤ちゃん用だと高すぎサイズも合わないなので、大人が使える高さ・幅への配慮が必要になる。

法人の事業：

- ・ 障害者の生活の施設であり、軽度から重度まで受け入れている。土日は出かけることが多いが図書館はまれにしか行かない。

図書館への期待・要望：

- ・ インターネットを使える場があるといい。
- ・ 声を出したりパニックを起こしたりした場合に避難する場所があるといい。
- ・ 車椅子の方が利用しやすくしてほしい。現在の坂のうえ、駐車場が斜めなのはよくない。
- ・ 職員が資格所得の勉強ができるブースのようなものがほしい。
- ・ DVD が見られる場所があるといい。
- ・ 図書館から読み聞かせの出張をしてくるのも面白いと思う。
- ・ 自立した活動ができる人については、施設が休みの日に図書館に行くのは余暇の一部としてよいと思う。
- ・ 何かあった時の対応は障害の度合いにより個別対応である。人がたくさんいることが苦手な人が多く、落ち着かせるための別室はあるとよい。
- ・ トイレトペーパーをそのまま突っ込む、差し込む芯まで流す人がいる。
- ・ 施設で作られたものの販売や展示ができるのはありがたい。
- ・ 重度障害の人が図書館へ行って何かするのは難しいかもしれない。ぬり絵など指先を使った遊びが好きな人は多い。

公民館の活動：

- ・生涯学習の拠点として、子どもから大人まで生き生きと過ごせるための事業を行う。
そのための講座（企画は各館独自）、サークル活動のお世話、場の提供をしている。
- ・サークル活動は自主活動であり公民館は部屋貸し。100 人規模の参加があるコンサートや、バスで出かける健康ウォーキングなども行っている。
- ・サロン（隣近所で集まっておしゃべり、情報交換）をやっている。2 時間半～3 時間くらい、毎回 70 人くらい参加者がある（1 年間ほぼ固定メンバー）。
- ・地域に開かれた公民館でありたい。公民館まつりを年 1 回くらい各館で開く。サークル作品発表・活動発表、小学生マーチングバンド、先生方の和太鼓演奏、ボーイ・ガールスカウトの協力などがあり地域ぐるみイベントとして認知されている。

図書館との関係：

- ・公民館で行っている文学講座（直近では時代小説をテーマに、研究者を講師に招いた）に、図書館から関連図書 20 冊を借りて受講者に紹介した。
- ・公民館便り（年 10 回）を置いてもらっている。
- ・公民館図書室の本を定期的に入れ替えてもらっている。

図書館への期待・要望：

- ・坂道がきつい。足場の問題が大きいと思う。
- ・周辺自治体の図書館は立派になってきている。瀬戸市でも文化施設がひとまとまりにあって足場がよく駐車場もあるような場所がよい。新瀬戸駅前周辺でもよい。
- ・視聴覚教材の公民館での利用頻度が低い。図書館としての周知の仕方も考えていく必要がある。利用が上があれば一層の充実を要望できる。視聴覚教材は防災防犯についての利用が多い。公民館では作れないので図書館で手軽に借りられるとよい。
- ・公民館では子育て支援講座や小学生対象の体験講座（学校ではできない体験学習）に力を入れている。図書館がブックスタートに力を入れているのは良いと思う。大人向けにも図書の講演会を開いてほしい。以前あった絵本作家の講演会が非常に参考になった。
- ・公民館でも親子向け講座をやるが、ねらいは参加者同士がつながっておしゃべりできるグループができるといいと思っているが、なかなか発展しない。最近ブックスタートや休日などにお父さん連れが多くなっているのがいい傾向、小さい子連れだと遠くへ行けないので近くの図書館で何かやっているといい。
- ・公民館だけだと情報が限られてくる。図書館でやっていることを公民館で紹介していく、文学講座を図書館でやることも考えられればよい。
- ・図書館は情報源であり、公民館便りを置いてもらえるのは嬉しい。公民館の方が積極的に図書館の資料・情報を活用する姿勢を持つ必要があると思う。図書館から出かけて行って情報提供してもらえるとよい。時期は冬（次年度の事業計画を立てる頃）がよい。
- ・公民館館長以下スタッフはボランティアなのでほかに仕事をもっており、自分から図書館で情報を集める人は少ない。図書館から来てもらえるとありがたい。

図書館友の会 ヒアリング

平成 27 年 9 月 19 日（土）

現図書館の課題：

- ・市民が憩う場になっていない。交通が不便で、狭く、休むところがない。
- ・中央館に蔵書が集約されていない。スタッフに専門家がない。利用者の声が反映できていない。室内に緑が少ない
- ・財政的なこと考えると新館建設は必須ではないのではないか。地域特性を活かした図書館、瀬戸らしさを市民にアピールできる図書館であってほしい。また図書館として集客できる仕掛け（行事、施設）が必要ではないか。
- ・立地が坂の上で老人や体の不自由の方に不便。中が狭く書架の間に車椅子が入れない。書架が高い。会議室スペースが少ない。自由に勉強できるスペースがほしい。
- ・ホームページには「市民の情報と知的交流の拠点」とあるがそのことが足りない。愛知県平均より利用が少ないのはスペースの問題が大きい。
- ・児童コーナーにベビーカーで入れない。児童専用の部屋があると良い。読書週間など集会室をつぶして行事を行うのでイベント専用のスペースがほしい。水分補給できる自販機や喫茶があると良い。
- ・修理専用の部屋がほしい。カフェがほしい。建物が古く、駐車場が狭く停めにくい。蔵書も古い。視聴覚資料を充実してほしい。書架間が狭く下の方の本が見にくい。勉強部屋スペースがほしい。
- ・予算が少ないことに尽きるが借金でつくることなく計画的に整備してほしい。人が集まるところに建てないと費用対効果など意味がある施設にならない。施設複合化など図書館だけでなく総合的に考える必要がある。
- ・雨の日に使いやすい駐車場が必要。
- ・あちこちの図書館を見て回っていると瀬戸の図書館の古さがよくわかるが、その歴史に新しいものを重ねるチャンスでもある。市民にとって図書館がどのような役割を果たせるかを真剣に考えて市民に投げかけてもらいたい。図書館があることでこのように市の活性化につながるということを市民が広く共有していれば納得した図書館ができると思う。
- ・いまの図書館は図書館の体をなしていない。図書館は市民のコミュニケーションの場である。本を借りるだけでなく市民がどのように情報を使うか。喫茶店は必要。子育て・保育スペースがほしい。図書館は市の文化のバロメーターであり、議員ももっと文化に目を向けるべき。13 万人都市に相応しい図書館をつくってほしい。

現図書館から引き継いでほしいこと：

- ・壁画を残してほしい（いらないという意見もあり）
- ・働いている方は優秀だと思う。
- ・休館が月 1 回と少ないこと。読み聞かせが活発でブックスタートを図書館がやっている。
- ・図書館の協力があって友の会の活動ができている。
- ・引き継ぐものなし、新規まき直しでお願いしたい。
- ・学校図書館との交流がうまくできている。

図書館への期待・要望：

- ・図書館の利用の仕方、貸し借りだけでない利用の仕方を行政からアピールしてはどうか。
- ・場所さえ解決すれば利用の仕方も広がる。
- ・図書館だけでなく市役所窓口との連携機能、郵便局、ここへきたら買い物もできるなど総合的な機能を持たせてはどうか。
- ・各種サークル・市民交流の場としてほしい。図書館へ来ればどこへ行けばいいかわかる（専門家とつなぐ）、図書館からアピールしコミュニティの拠点となるように。
- ・瀬戸の子どもたちの将来につながる場であってほしい。病院と連携することで医者になる夢を持つ、など。
- ・図書館だけでなく文化のバロメーター、コミュニティの場として考えてほしい。
- ・市が文化都市宣言をしてはどうか。サークル活動の拡大、市民が発表できる場になればよい。
- ・自動化書庫のようなものは市民の図書館にはいらない。楽しくて行けば何かプラスになるゆとりある図書館がほしい。
- ・せともの資料を充実させる。田原市の図書館は絵まで貸し出す。図書館をつくることを市民活性化の起点にしてほしい。
- ・職員は司書を配置し、レファレンスをしっかりしてほしい。

地域図書館（西陵小学校）サポーター ヒアリング
平成 27 年 9 月 20 日（日）

活動の概要：

- ・平成 22 年からサポーター活動を行っている。司書のような活動をすると思っていたが、それほどでもなかった。本の入れ替え、修理の手伝いなどのほか自主的な活動（折り紙教室、教養講座で歴史の話など）もしている。

図書館への期待・要望：

- ・いまの図書館は本が古くて、狭い。読書室が狭すぎる。学習室も含めたスペースがほしい。小さい子と分ける配慮欲しい。
- ・紙芝居、読み聞かせをやっているところも独立した場所がほしい。
- ・地域図書館もようやく定着してきて、利用者も増えている。継続するためにサポーターを増やしてもらいたい（いまは常時 4 人、5～6 人いるとよい）。資料数としては適当と思う。
- ・地域図書館運営のための事務費を付けてくれるとよい。
- ・図書館は読書をしにくところであり、交流はまた別の機能（公民館など）と思うが、談話室のようなものはあってもよいかもしれない。
- ・交通の便のいいところに建ててほしい（パルティがあるところなど）。車に乗れなくなったら公共交通機関に頼ることになると思う。
- ・視聴覚機能を持った部屋にて、映画館ほどでなくとも図書館にふさわしい文学作品を映像化したものなどを見られるとよい。
- ・インターネット、パソコンなどはみんな持っているので図書館には必要ないと思う。

学びキャンパスせと ヒアリング

平成 27 年 9 月 29 日（火）

事業概要：

- ・以前は瀬戸市生涯学習部局が担当していたが、講座運営は市と共催団体とで行うことになり平成 18 年度から始まった。3 年ごとに運営団体変わる。講座講師は市民から募集。開催最低人数は 10 名。開催数は年によって変わるが、130～140 講座募集して成立数が 70～80%である。応募者は全部で 1600 人～1700 人、ほぼ瀬戸市民。運動健康系、趣味教養（音楽・美術）系が人気。参加者の平均年齢は高く、リピーターも多い。

図書館との関係：

- ・図書館には募集の冊子を置かせてもらっている。図書館から本を借りてくることはない。
- ・さらなる学びを深める連携も今のところはない。

図書館への期待・要望：

- ・学びキャンパスとして子ども向けの講座が開ける場所が図書館の中にあるとキャンパス参加者の年齢層も広がると思う。本から学ぶことも多いはず。
- ・夏休み子ども読書感想文対策講座などやってもらえるとよい。お母さんの中で評判になると使われるようになると思う。本が読めるだけでない付加価値が必要ではないか。
- ・子連れのお母さんの行く場所がない。友達を作れる場、相談できる場、会話が出来る場を図書館で作るとよい。そこに参加できる講座があると、お母さんが一歩踏み出せる。
- ・読書スペース、フリースペース的なものがあると高齢者も出かけるきっかけになる。おしゃべりできたりお茶も飲めたりできるとよい。
- ・駐車場は重要、お年寄り特に。
- ・いまは本を借りて帰ってくるだけ。くつろいで選べる場があるとよい。
- ・歴史民俗資料館を子ども館にすとか。運動できる場所もあるとよい。
- ・図書館資料を活用した講座、本の読み方のコツを教える講座、自由研究対応など。親も一緒に楽しめるとよい。
- ・子どもたちが日本の歴史を知らない。図書館で学べるように。瀬戸の歴史も絵で分かりやすく解説するなど。
- ・せとものの歴史など資料があれば市外からも人が来る。資料をもとに学びキャンパスで地域を学ぶ講座もできる。
- ・設備としてプロジェクタ、PC があればよい。講座専用の部屋があるとよい。
- ・自然観察などができるのと合わせて本で調べることが必要。ネットではなく本で調べるプロセスを教育課程の中にいれるべき。
- ・授乳室 2 階でなく 1 階にしてほしい。

図書館との関係：

- ・市立図書館と高校との連携は今のところない。

図書館への期待・要望：

- ・WiFi の整備がされているとよい。音の問題はあるかもしれないが、専用の部屋を作るなど対応はできると思う。
- ・インターネットを使って NHK オンデマンド放送などが図書館でフリーで見られるとよい。
- ・図書館の中に陶器関連資料がまとまって見られるとよいが、本校は瀬戸蔵が近いためどうしてもそちらを使ってしまう。
- ・高校図書室には陶芸、陶磁器関係の本は多少はある、歴史がある学校なので古い資料も多いが使われていない。新図書館への集約はありうるかもしれない。
- ・学校の図書室は夏休みは勉強しにくる子が増えるが借りにくる子は少ないので、教室に本を持って行って見せることをしている。1 週間くらいで入れ替える。図書館の本を授業で使うこともある。専攻科の先生はよく使っている。
- ・学校の中ではあるが中立な場所としての図書館の役割はあると思う。本を読んだり好きなことができる場、わざわざそういう場所を作る学校もあり心の問題を持った子は多い（確実に増えている）。
- ・図書館は情報を扱う場であるから今後大きな可能性を持っている。
- ・充電スポット、無料 WiFi、携帯ショップ、コンビニ、トイレ、レンタルビデオ店などが一緒にあると便利、など市民感覚が図書館にも必要ではないか。同じ建物の中での相乗効果、あそこに行くと何かある、プラス他にも何ができるという場所になってはどうか。
- ・予約本を全自動で受け取れるとよい。
- ・人が集まる、話題にのぼる図書館になってほしい。
- ・本の魅力を伝える人たちが学校を回って読み聞かせしたりするとよいかもしれない。ラジオのアナウンサーなどがやっているところもある。図書館での企画を宣伝して生徒を集め、生徒にボランティアとしてやってもらうこともありうる（最近の生徒はボランティア意識が高い）。ボランティアに行ける場として図書館、自分を表現できる、役に立てる場としての図書館となるとよい。
- ・スーパー銭湯、飲食店、動物との触れ合い、などこれまで無かった複合化を考えてみてはどうか。行けばほかに知識が増える場としての図書館というイメージで。

地域図書館（光陵中学校）サポーター ヒアリング
平成 27 年 10 月 3 日（土）

活動の概要：

- ・土日祝日のみの開館で、職員は一日対応だがサポーターは半日単位で活動している（10 時～12 時と午後）。半年間の予定表を提出しそれに基づき出勤する。3 か月に 1 回の図書の入れ替えと入れ替えのための選書（150～200 冊を本館で選ぶ）が主な仕事。現在 9 名で活動している。
- ・平成 5 年からボランティアで自主的に開放していた前史があるが、平成 20 年から地域図書館が始まりそちらに組み込まれた。その時にやり方が変わったのでそれまでボランティアで関わった方がだいたい辞めた。
- ・サポーターも一時期 12～13 人いたが、高齢化等で減ってきた。メンバーは随時募集しているが増えない。
- ・以前は図書館見学や修理講習、図書館長や学校長との話合いがあったが今はない。地域図書館になる時書架を増やして本も増やすという話もあったが実現していない。端末設置は便利になった。
- ・利用は多少は増えた（予約受取が増えた）が、資料数が少ない。地域図書館のメリットが感じられなくなっている。

図書館への期待・要望：

- ・高齢化社会の中で地域図書館の存在はありがたいが、現状では魅力的な本が揃わない。もっと増やすようにしてほしい。
- ・トイレ掃除が行きとどかない。
- ・図書室が 3 階なので上がるのがたいへん。
- ・地域図書館の存在を知らない人が多い。
- ・リクエスト、予約対応を早くしてほしい。待たせるのは地域図書館の意味がない。
- ・サポーターの意見を聞く場を設けてほしい。
- ・現状それほどの仕事はなく、サポーターがいるのかも疑問である。
- ・利用を増やす取り組みはお知らせのチラシを作る程度でなかなか置いてもらえない。
- ・高齢者や子ども連れが多ければ 1 階に置くべき。小さい頃から本になじませること必要。
- ・中央館は書架間隔が狭い。通路広く、明るくしてほしい。
- ・既存施設の活用（学校の再利用）なども考えるべき。
- ・学術書が古く、読み物的なものが多い。文献調査などで取り寄せられるとよい。
- ・本が探しにくい。ホームページの表示や検索なども最新の事例を参考にしてほしい。
- ・新しく作ったことで利用が増える、意味がある図書館にしてほしい。

平成 27 年 10 月 6 日（火）

図書館との関係：

- ・ 学校図書館システム「ノア」を主導して開発した歴史がある学校図書館である。読書活動活発で表彰されたこともある。
- ・ 県立なので愛知県立図書館との関係はある。県図書館と学校との連携については始まったばかりのところで、蔵書のやり取りなどこれからである。公共図書館間の連携はあるから、その流れの中で市立図書館の本が高校にも送られてくる可能性はあると思う。
- ・ 本校の生徒がインターンシップで市立図書館に行っている。毎年 2 名くらい。

図書館への期待・要望：

- ・ 学校図書館は限られた予算・スペースの中でやりくりしているので、生徒が読みたいもの・探しているものがないことが多い。総合の授業で調べものをするが、3 年生はテーマ別にゼミ学習をする。4000 字くらいの論文を書くがネットで調べる生徒がほとんどで、図書館に来る時間もあるがテーマに即した本がない。そういう時に市立図書館が本を貸してもらえるとよい。
- ・ 図書室を使えるのが昼休みと放課後で、自習室になってしまうところもあるがここはそれほど進学校でもないので来館者は少ない。居場所としての機能は必要と考える。
- ・ 市立図書館を好きで使う子もいるし、ゼミ学習の調べもので行く子もいる。
- ・ 立地によっては商店街復興の起爆剤にもなるのではないかな。
- ・ 多目的な施設があると良い。ホールでのミニコンサート、ライブ、飲食ができる、市民団体が使える、そのついでに本を借りる、リタイアした高齢者が新しく何か始めるときのコミュニティ、フラッと立ち寄れる場所など多様なイメージが考えられる。
- ・ 学校図書館で催しをしたいときに資料や写真を借りるという連携ができるとよい。
- ・ 食べながら本を読めることも OK にしてはどうか。

読み聞かせボランティア（東山小学校） ヒアリング
平成 27 年 10 月 14 日（水）

活動の概要：

- ・有志から始まり活動は 10 年以上、現在 38 人くらい。活動内容は 3 パターン。①朝の教室での読み聞かせ（7～8 人で手分けして毎週 1 学年（4～5 クラス）づつ読み聞かせていく）②20 分放課での図書室での読み聞かせ（2 人体制、低学年の子が多い）③市立図書館へ出向いての乳幼児への読み聞かせ（2 人体制、11 時～）。
- ・東山小児童の親がボランティアになる、卒業後も続ける人もいる。

図書館への期待・要望：

- ・図書館での読み聞かせの後、お母さん同士でしゃべりたそうにしている。コミュニティができる様な施設があると図書館での待ち合わせなどもできていくのでは。
- ・ベビーカーの子を降ろして遊ばせる場所などもほしい。
- ・自分の子供に読み聞かせたいという思いから始めたが他の子にも読んであげることの喜びを感じるようになった。他の親御さんにも伝わればいいと思う。
- ・図書館での読み聞かせ後に遊びに行ける場所がすぐにあるとよい。
- ・季節にあった話を読みたいが人気のある本は貸し出されている。読み聞かせ用に自由に使える本がほしい。
- ・自習室を使うとき、自販機、カフェがあると嬉しい。今は水筒持参でも飲む場所が不便。
- ・仕事を持ちながらボランティアをしている人にとっては場所が移ると継続は難しい。立地は大事。
- ・駅（新瀬戸）に返却ポストがあると便利である。
- ・借りたい本がいつに借りられるとよい（本館とパルティに分かれてあったりする）。
- ・絵本からお話に行くのが難しい子が多い。学習漫画へ行ってしまう。読みものに誘導してもらえるような支援を図書館に期待したい。
- ・自由研究のテーマに沿った読み聞かせとかは興味を持つかもしれない。
- ・本を読んで「面白かった」だけでなく、どう思ったか自分の考えをまとめるためのしかけがあるとよい。
- ・夏休みに地域図書館が開いているとよい。居場所、自由研究のために。
- ・高齢化ということで大人も集まれるサークルがあるコミュニティとの合体、習い事のついでに本を借りる、いろんな機能との複合があるとよい。
- ・図書館へ気軽に行けるバス路線があるといい。瀬戸電沿線でないところは行きにくい。車でなく別の場所に行きたい気分の時に行けるといい。

図書館との関係：

- ・パーティの情報ライブラリー内に NPO のコーナーを設けている。設置する資料は活動センターが買って置いている。市民活動センターのそばにそういうコーナーがあるのはたいへんありがたい。法人運営、経理、労務に関する本なども需要がある。資金的には限界あるが企画的なものも置きたい。

図書館への期待・要望：

- ・資料的にお金のかかるものは図書館で買って揃えてほしい。図書館にそういう情報があればそちらへ行ってみてもらえる。
- ・各団体のイベントや講座のチラシを置いてもらえるとよい。
- ・図書館という場を使った活動もできる。そういう場として認知されれば、どんどん使うだろう。
- ・センターには現在 233 団体登録しており、いろんな分野の方たちがいる。図書館で講座ができればいろんなテーマの講師もできる。人材ほっとネットに多彩な人材が登録されており講師派遣できる。
- ・図書館でこんなことまでやっていいんだよ、と教えてくれる場があるといい。
- ・今の図書館の場所だと足が遠のいてしまうのが最大のネック。
- ・文化センターのところに図書館があるとよいという人もいる。文化の拠点として施設が全部あるイメージ。文化系の団体やなにかやりたい個人も集まってくる。立地条件は大事、コミュニティの場としての図書館があると使われるのではないか。
- ・カフェや子どもを遊ばせる場もあればお母さんのコミュニティもできるというのが理想だが、学ぶ場でありコミュニティの場であると最強と思う。
- ・図書館がどこまで変われるかにかかっている。図書館が多目的な感じで訪れられる場所になると、図書館を拠点とした新しいつながりができる。
- ・外見より中身の充実が大事である。
- ・多目的な部屋の使い方ができるとよい。
- ・交通の便、行きやすさ、コミュニティバスを出すなどできるとよい。
- ・商業的な施設と一緒により文化的なものと一緒にの方がイメージ的にもよいのではないか。

活動の概要：

- ・銀座通り商店街は明治の終わりくらいからある。瀬戸が最も元気な時、瀬戸に行けば仕事がある、店も繁盛する、という時代。50 年前にアーケードができたが、その後衰退。昔のようなにぎわいが戻ればいい。男の人にだけ任せてはおけないと商店街の若い女性たちが立ち上がって 15 年前位にレディース結成。女性の感覚でおもてなし、愛知万博後に盛り上がるが、高齢化で後継者不足。いまは 4～5 軒女性のオーナーが出てきているので将来的にバトンタッチしていきたい。空き店舗も増えてきて頑張んどきと思っている。
- ・イベントのときは人が来るが平時は来ない。生活に必要なものが揃わなくなった。専門店で買いに来るのとレトロ指向の観光客が主になっている。ここで商売を立てて暮らしも立てるのは難しくなっている。

図書館への期待・要望：

- ・行政は祭のときなどいつも声かけてくれるが、イベントありきだけでも駄目。行政は縦割りで相互に情報流通していないと感じる。すべてがわかって他の動きも教えてくれるようにしてほしいし、こちらの情報ももっと伝えたい。図書館の本も商店街で紹介するとか読み聞かせするとかの連携をしたい。
- ・あらたまって市役所に相談に行けなくても、近所のおばさんには聞けることもあるはず。おせっかいな役割、昔は機能していたものを商店街に取り戻す。ついでに何か買って行ってくれるようになれば。そこに図書館を絡めて考えられれば。
- ・図書館に集まったひとをどう回遊させるかが大事で、ぜひ商店街の近くに来てほしい。
- ・図書館に来た人が休憩で来たり遊べたり、親子連れでお母さんがゆっくり本を選んでいる間に子どもは商店街で遊べるとか、商店街にも図書館のイベント情報がわかるように。
- ・ここにくるとほっとできる、癒される、図書館へ行く際の楽しみの一つとして商店街も認知されるとよい。
- ・沖縄の店に行ったら沖縄の本がある、お茶の店に行ったらお茶の本が借りられる、逆に図書館に行ったらお店の情報が得られるなどの連携があるとよい。
- ・にぎわいを取り戻すには人口増加が必要。子どもを育てやすくすることで、瀬戸市が大好きで何とかしたいと思う人を増やすことが必要。参加しやすい仕掛けが必要。
- ・長久手は住みたいまち全国 2 位だが瀬戸市は最下位。その差は何か？ PR が下手、陶器だけという発想から自由になり、明るく、若い人の意見を取り入れてほしい。公共らしくない突拍子もないものがあってもいい。
- ・深川小学校あたりに図書館があるとよい。銀座通りが通り道になり陶祖公園もあり市外からも人が来る。
- ・飲食できるエリアがほしい。パルティの交流広場のようなイメージ。
- ・高齢者も子どもも行きたいと思う場所に。子どもが本を好きになるイベント、高齢者と若い人が交流できる仕掛けがあるとよい。ペットも連れていけるとか。

- ・高齢者が若い人たちに何かしてあげられるような、お互いに刺激し合える場に。
- ・瀬戸の歴史や文化がわかりやすく調べられる場所であってほしい。
- ・商店街の飲食店は4～5店ある。イベント頼りだがそういう時に図書館と連携し店の紹介をしてもらうなどできれば。
- ・図書館で野菜が買えるとか、何でもありの図書館だと、本も借りやすくなる。お店のテーマと結びついてすぐ調べられるとか、生活と結びつくとよい。
- ・子どもたちが図書館は面白いところと認識すれば長く使うようになる。カチカチでない図書館、全てができる、本が買えるとか。

学校図書館の現状と市立図書館との関係：

- ・瀬戸市立図書館とは 10 年くらい前から、学校図書館だけでは限界がある資料について学校図書館が利用カードを作り団体貸出で 1 カ月借りることをしている。借りる資料はテーマにもよるが多くても 20 冊くらい。授業が入った段階で図書館がテーマを確認して本を探し、学校で足りなければ市立にお願いするという流れ。
- ・総合学習の中に学校独自の取り組みが入ってくる。キャリア教育も入ってくる。職場体験はなかなか個別には対応できない。高校生になると働いている人に話を聞いたりすることはある。
- ・教科の中で自由研究的なことはやっている。インターネット環境は整っておらず館内に 1 台のみ。スマホは校内使用禁止。
- ・学校図書館の貸出はあまり多くない。半分くらいの生徒は借りない。中 1、高 1 の早い段階で国語の時間に利用ガイダンスはする。中学は 1 年に 1 回は借りるように指導。利用者は固定化。すそ野を広げる活動が必要である。
- ・6 月と 11 月の読書月間に生徒が読みやすいテーマ設定でコーナーづくり、雑誌を無償で提供、貸出期間延長・貸出冊数増加などの企画を行っている。その他タイムリーな企画でコーナーを作り、夏休み冬休みの貸出冊数増を達成した。
- ・学校行事に連動した本の紹介も行っている。
- ・生徒がどれくらい市立図書館を使っているかはわからない

図書館への期待・要望：

- ・読書感想文・感想画の際に関連したお薦めの本の紹介などしてもらえるとよい。市立図書館は古いが本はたくさんある、感想画入選作品の展示などスペースの活用などもしたい。
- ・心の問題を持つ生徒はいる。学習資料を揃えるとともに生徒の心の成長を促す資料充実が必要。居場所として居心地のいい空間づくりも大事と考える。
- ・中高生が行きたくなる場としては、まずは色合いが大事。家具の雰囲気、展示スペース（良いものに触れる機会を作る）、心が落ち着くディスプレイ、おしゃべりできる場所、飲食できてリフレッシュできる場所はあるといい、スマホができるのも必須。
- ・電撃文庫の利用は多い。軽めの読みものが喜ばれる。
- ・蔵書検索だけでは調べられないところを図書館スタッフから教えてほしい。職員は大事であり、最後はマンパワーに頼る。調べるとき、探している時のアドバイスをしてほしい。

図書館への期待・要望：

- ・「まるっとミュージアム」は瀬戸のまち全体がミュージアムというコンセプトである。図書館も 1 ヶ所である必要はない。瀬戸市は東西に長く交通の結節点も分かれており、例えば図書館も東西に拠点があってもよい。あるいは手狭なりの現図書館の活かし方というのも考えるべきではないか。
- ・瀬戸市内には魅力的なものが点在している。それらを活かしながらその中に図書館を入れることを考えてもよい。
- ・やきものについての学びと研究の機関としての位置づけ。産総研跡地の活用と連動して考えてはどうか。やきもの資料は組合や瀬戸サイトも持っている。
- ・1000 年以上の歴史あるまちで、その誇りは大切。産業だけでなく文化伝統の誇りとして、このまちに住みたいと思わせる街の魅力発信ツール、瀬戸のアイデンティティ、そのための図書館の活用を考える必要がある。
- ・カッコいい図書館とか外の人の力を借りるだけでは駄目で、瀬戸のクリエイターの力を育てる、創作の力を瀬戸に呼び込むためのものである必要がある。いま居る市民だけでなく住みたい人を増やしていく、そのための図書館。人口減少の中でのものづくり、文化の拠点として考えるべき。
- ・やきものとそれをやっている「人」こそが瀬戸の観光資源。招き猫、瀬戸焼そばなど入口は増えてきた。職人のまち、庶民的なもののアピールが瀬戸は似合っている。
- ・市民力があってこそ観光。瀬戸らしさの追求が大事である。
- ・今の図書館は寄り付きにくい。
- ・本だけでなく資料が活用できる人が必要。セラミックの知識がある人とか。瀬戸がいいと思ってもらえる人を増やすことに繋がる。
- ・図書館は物語がついてくる場所、物語がある場所である。歴史と伝統が紐づいていることが大事。ワイガヤスペースはまちなかにあればよい。
- ・学校の統廃合を前向きにとらえ、深川小学校あとに「深川生涯学習学校」という生涯学習拠点を建てそこに図書館を入れるなども考えられてよい。
- ・場所よりもやり方が大事。瀬戸の街の魅力の活かし方を考えるきっかけにしてほしい。今の時代に合った切り口でまちの宣伝、1 つ 1 つの魅力を結び付けていく場に。
- ・文化センター会議室も利用率が低く、そこへ図書館を入れるやり方もあると思う。

瀬戸商工会議所 ヒアリング
(文書で回答)

図書館への期待・要望：

- ・瀬戸市民が活用できる **WEB** 図書館を作ってほしい。
- ・駐車場を充実してほしい。
- ・カフェの併設は良い。
- ・瀬戸市の頭脳としてあらゆる情報や知識が集まってくる場所となることを期待。
- ・企業とのタイアップでさまざまな可能性が見えてくるかもしれない。
- ・市内数カ所に小規模でもよいからサテライト図書館を設置し、本館から取り寄せられるようにならないか。
- ・夜遅くまで開館し仕事帰りにも寄れる場所にしてほしい。
- ・ビジネス書をもっと充実させると社会人の足が向くと思う。

(3) 市民意見交換での意見

① 実施の概要

日 時	平成 28 年 1 月 22 日（金） 19 時～20 時 30 分 平成 28 年 1 月 23 日（土） 10 時～11 時 30 分
場 所	瀬戸蔵 4 階 多目的ホール
内 容	瀬戸市立図書館整備基本構想の中間報告を説明 中間報告に対する意見を、基本構想 3（1）で整理した 3 つの方向性（①誰もが行きやすい、行きたくなる図書館②瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館③コミュニティの核となる図書館）と④その他⑤立地に分け、参加者に紙（付箋）に書いてもらって会場に貼り、参加者全員で共有
参加者	1 日目 22 名、2 日目 44 名

② 参加者から出された意見

①「誰もが行きやすい、行きたくなる図書館」について

現在の図書館は書棚と書棚の間がせまくゆっくりと選ぶことができないので、利用しやすいスペースが必要だと思う。

現在の図書館は子どもを連れてゆったりとできるスペースがないので、落ちついて楽しめない。小さい頃から本に親しめる環境をつくることが大切。

わかりやすい、見やすいホームページを。まだ図書館に行ったことがない人が最初に見るのは、図書館のホームページだと思います。わかりやすいものにしてほしい。トップページで所蔵検索できるようにしてほしい。

図書館の理念・方向性をホームページで公表してほしい。

選書基準をホームページで公表してほしい。

責任と熱意のある館長と専門職としての司書の配置を継続してください。

今来ない人にアンケートしなければ意味はない。

複合施設に図書館もある。図書館がありきでなく図書館もあるという形。

中心市街地の学校に複合化。すべての小中学校に分館設置。

誰にも魅力的な図書館は重要である。

市民の意見は大事だが市としての求める図書館像はあるのか。

子ども用の本のコーナーのように、まず一般の開架室を本を選びやすい場所にしてほしい。今は書庫のようです。本を借りるだけでなく、読める場所になるといいです。

新聞を広げて見る（読める）場所が多いと良い。

広くゆったりとした図書館。受付が使いやすいと良い。

瀬戸の図書館に行けば「こんな人」がいて「こんないいこと」を教えてくれる「人」

子ども図書館の一室を作って親も子も安心して居ることができるように。
行きたくなる図書館。選びやすい本棚。地面すれすれまで本があり腰をかがめないと選べない。地上 50cm くらい上から置いてほしい。
書架のレイアウト。あまりにも通路が狭すぎる。
高齢者、子育て中家庭など市内全域からの利用にとって交通の便が良いこと。巡回バスの整備が共に充実されること。
複合型の施設構想はよいと思う。駐車場を広く平らなところに作ってほしい。飲食スペース、学習スペース、子育てスペースなど分けてほしい。公立運営してほしい。
図書館をつくる理念。これまで図書館が市民にどういう役割をしてきたのか。今後取り組み方の方向性の提起。
図書館に行くのに交通の話が出てない。行ける人は車で行くと考えているみたいです。
②「瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館」について
建物外壁は陶板
市小中学校の校歌、校訓、写真を壁に貼り出す。（校歌の）CD を作って貸し出す。
壁に北川民次先生の絵、陶器、絵、瀬戸の紹介
歴史と文化に重点を置きすぎると楽しめるものにはなりにくい
歴史あるせとものをアピールできる・・・資料の充実
瀬戸市の歴史と文化を収集・整理するのは、時間もお金もかかると思いますが、ちゃんとやる気なんですよ？
陶磁器の写真の保存
陶磁器の代表的な実物も数点展示できるスペース（什器）を確保。県内外からの陶磁器愛好者、研究者も呼び込む。博物館的要素も取り入れる。
多治見の例を受けて・・・瀬戸市をクローズアップ、せとものの「瀬戸」、クリエイターが目を向けるような本気！
瀬戸物の歴史を綴った書物は沢山あると思いますが、図書館だけでなく、陶磁美術館等の連携により幅広い利用ネットワークを構築するなどで補っていけばいいと思います。
③「コミュニティの核となる図書館」について
駐車場の数と平面が良い
複合施設を考えるならばどんな施設を複合させる準備があるのか。
講座 書評、著作・出版した人の懇談（本を書く思い）
運営 ボランティア、NPO、小中校・大学生
未来の瀬戸の発展の為ぜひ図書館を作ってほしい。
コミュニティの核となるとは具体的にどういう事なのか
児童書フロアの充実、書架の高さ、読み聞かせの場所、子供の託児室、授乳室
子育て世代が集まり、交流できる場も。＋子育て支援センターがあると良い。

カフェはあえてなくても良いのでは・・・
食事（昼食）できる時間をしっかり決めればカフェはなくてもよい。
学生の勉強できる場所。席数の充実。
図書館は最も身近で重要な公共施設、建設賛成、直営に限るが。
多目的が必要か。コミュニティーの場合は他にもあり、改めて図書館がその役割をになう必要があるのか？
地域図書館について。小中学校の図書館の活用はいいのだが・・・。各学校の図書館は1階にない場合が多い（例：光陵中、幡山中→3F）。高齢者になると出かけにくい。これを進めていくなら図書室を1階にするなど工夫が必要。
④その他
毎月1回読み聞かせボランティアで図書館を利用させてもらっています。今の図書館は場所も建物も利用しにくいと思っています。今回市の公報で図書館を整備するので市民の意見をということですので聞きにきました。小牧市のような、民間（ツタヤ）に全部委託するようなやり方はやめてほしい。成功している事例はたくさんあると思いますので、十分参考にして、市民の利用しやすい図書館にしてください。
市長さん、議員さん「図書館を作る」という強い姿勢をみせていただきたい。
すぐに建てなくてよいので良い図書館をつくってほしい。
Wi-Fiは図書館だけでなく他の施設にもあってほしい。特に観光地なら今はもうあってあたりまえだと思います。
瀬戸らしい図書館とは言っても他の市と大きな違いはあるのか。
利用者アンケート（来館者、一部の人）だけなのはおかしい。行かない人にも必要だと思う。対象者のもっと多くする。
図書館に作るにあたっての委員会とか討論議会なども必要だと思います。
図書館のあり方について小牧市では住民投票で民間にしていくことに住民は反対の意志をしめました。直営で運営してほしいです。
主たる図書館の構想であり、地域図書館はどうするつもりか。
瀬戸市のイベント、陶祖祭、せともの祭、招き猫祭、ひなめぐりなどとタイアップできる図書館
図書館作りは街づくりと共に考えていかないと利用者も増えないと思う。
机 強化ガラス アクリルでショーケース 机兼用 中に陶器、皿、ノベルティなど一級品 企業宣伝 車（ミニカー）、電車 プラモデル
法規制、前例の壁をこえられなくては人口減の津波はこえられません。
資金 企業宣伝による資金収集（ショーウィンドウ、ブックカバー（ラミネート））、命名権販売
市民の要望を取り入れるため市民参加の協議会のようなものを作って図書館作りをすす

めてほしい。
民間委託はしないしてほしい。図書館に営利目的は合わないと思う。
本の返却 有料でコンビニ返却、無料で駅、学校
本の一覧 書棚をリアルタイムで映しインターネット配信
IT 時代 IT で大切なのは 正しい知識、論理力・考え方、判断力 図書は必要
知る権利を保障する大切な役割
新たな図書館はいらない
高齢化、人口減少を見越すと公共施設の再編成が必要だと思う。全市的に考える。
市民がサービスを受けるだけではなく、サービスをする方に力を出すといい。
まずは財源です。単年度ではなく図書館準備積立金をのような形でできないものかと思います。
建設予算？ 費用は利用者負担にする。図書館の新規は望めるのか？ 文字離れ
市民の作品（絵画、書など）をレンタルする（春日井市のように！！）
中間報告の分析データの信ぴょう性。年間来場人数 238,623 人・開館日 336 日・1 日平均来場 710.2 人、アンケート 9/5～9/16 の 10 日間配布、その配布数 1153 枚、10 日間なら 7100 枚になるのではないかな。
来館者アンケートからは何も得られていない。あたりまえの内容ばかり、委託の成果が全くない。今来ている人は必ず来る。今来ない人の来ない理由だけが重要。
新たな箱モノは作らない。ある施設の活用。
もう少し空調を整えてほしい。夏暑く、冬寒いです。カフェは無理でもせめて自販機くらいは。その周りに飲食スペースが小さくてもあれば。
空調を快適に。図書館にカフェや食堂、飲食スペースを充実させてほしいです。
指定管理はぜったいダメ。指定管理は民活ではない。司書の給料＝地位を下げるだけ。保育園など他施設も同様。
図書館は静粛でなくてはという考え方をなくす。
学習室は不要。勉強だけなら学校か家でできる。図書を活用した（グループも個人も）活動は大いに重要。
いつ頃、誰が、どの様な必要性を、発議されましたか？ 私は 3 年ほど前に女性館長に、図書館建て替えの話をしましたが、女性館長の個人的考えでは、図書館に何の問題も無いので、必要性は有りませんとのことでした。なお市長には去年 11 月に個人的に図書館の話をしましたら市民の評判が良くないので、建て替えはしない方向で、考えているとのことでした。瀬戸市議会、議会報告会の際にも、議員の方民主 1 自民 1 共産 1 に申しましたが図書館自体必要性が有るのか疑問です。
来館者アンケート 一般市民の声と違う
個人席等仕切られた静謐な席＝貸出にて対応

カフェ・レストラン等飲食施設＝駐車場問題が？
駐車場の改善、アクセスの改善、スペースの改善を求める声が高い＝図書館の分散化にて対応
交流できる場＝社交場ではない
アクセスの改善＝必要性あり
親子連れ、高齢者、障がい者、誰にも居場所が＝交流館
瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館＝専門性が高い
コミュニティの核となる図書館＝交流館
市の生涯学習施設の統合。資料を使った学習。
色々な事業を行なえるだけの市職員（正規職員、専門職）
学校教育にも役立つ図書館。全体として生徒へ対応する（例：いじめ問題の解決）。
ICT 技術って具体的に何ですか？
このやり方だったら何回も何回も開かなくては
地域図書館に中途半端に大人の本を置いてあっても選べるほどではないので、図書館本館にまとめてあった方がいい。検索してもいろいろな場所に分散していて、借りづらい。
図書館構想にあたって、現在の図書館スタッフはどのようにタッチしているのか。今日の市側のスタッフに司書の人はいるのか。
学校蔵書の開放、学校同士の連携（共同利用）
我々にとって優先順位が高いことは市内を循環するバスをつくって、陶生病院や図書館に行きやすくすること。現状の図書館にエレベータを設置するのみでよい。
TRC に運営を委託することは決定ですか？
あそこだ、ここだとか、大きさとか金額とかの前に、“どのような図書館を作るべきか”の合意が必要。
市長の公約で一との発言があったが、その内容は語っていない。是非知りたい。
一度建設したら何十年と持つことになるので、金額が大きくなっても東海一の図書館を作るべき。お金がないのなら、稼いでから作ればよい。稼ぐことを考えれば市の活性化になる。
今、高校生の娘がいますが、学習室が少なく開館時間が短いと嘆いています。10 代の子どもの頃から図書館をもっと利用したくなるような蔵書種別を増やして欲しいと思います。子どもの頃からの好きの気持ちを育んでほしい。
ハードの充実も大切ですがソフトの充実、今すぐにできることから改善があるといいと思います。もっと気軽に行ける図書館が欲しいです。マイクを持って話している女性が言った通りです。まず改善点から良くして欲しいです。
高齢者の利用しやすい図書館。アクセス・館内のくつろげるスペース、高齢者用講座、高齢者用図書

今回、意見交換会と名は付いていますが、アンケートを取るのとほぼ変わらない会の進行で残念です。意見をもっと聞きたかったです。始める前に進行説明も必要だったと思います。次回に期待します。
昔、静岡県細江町立図書館に行った事があります。とても小さいですが居心地のいいところでした。今はわかりませんが図書館はそういう場所であってほしいと願います。いろんな要望があると思いますが、集約してステキな図書館を作ってほしいです。
パソコンで資料が見たい。映画も良い。
TRCではなく中立的なコーディネーターに議論の進行役を任せるべき。
図書館建設に関する合意形成のプロセスを明らかにしてほしい。
市民参加のワークショップを数多く開いてほしい。
こんなシャーペン作らないでください。
図書館運営を民間に委託するのではなく直営で運営してほしい。
きょうは瀬戸市の図書館の基本構想「どういう図書館にしようと思っているのか」が聞けるのかと思ってきました。
図書館そのものの基本的な理念がない中で、構想がまとめられていて、話し合いにはならないのでは・・・まだまだ質問が（進め方も含め）あるのに・・・
現代の図書館はどういうものかの見学を先ずすること。その機会を作ること。
民間委託は出来るだけさけてほしい。市民の声をもっと聞いてください。
図書館を平地に作って欲しいです。地域図書館のことをもっと知らせてほしい。
本を買わずに読むために図書館を利用していましたが、もっと図書館そのものを利用することを考えたいです。そのためにはもっと図書館を市民に知らせてほしいです。
まずは市の職員、市議員はぜひ近隣の図書館を視察してください。発言の中で蒲郡の図書館の素晴らしさを言ってみえました。ぜひ参考にしてください。もっと地域での市民の意見を聞く場を作ってください。
アンケートをみても若い層の利用が十分されていないようにみえます。建物でものを理解したり喜びを感じるようなことを努力。
まず、市の図書館構想を明確にしてもらい、参加者との意見交換をしてもらえと思い参加しました。来館者だけの962名のアンケートでは市民の意見を広く聴いたことになりません。全戸配布なり地域懇談会なり、方法は色々あると思います。もっと全市民の声をきいてください。
市営直営すること。市民の考えを十二分に聞いてほしい。市の交通の便の悪い所からどのように行くことができると思っていますか。まずは交通の便を良くすることが第一。それから図書館問題を出してほしいです。
地域図書館の活性化。光陵中に見る限り利用者は限定的である。もっと存在をPRしていく必要あり。

紙芝居の種類を増やしてほしい。
コミュニティの核の話は図書館本来の業務とは異なると思う。瀬戸市の将来の全体図がないと場所が決められない。
建設費と維持費を明示してください。今回の意見交換会を瀬戸市のホームページに目立つよう、載せてほしかった。
図書館で飲食することは反対。したがってカフェは不要と考える。本に飲み物をこぼしたりする危険もある。
地域図書館のことはあまり市民に入ってません。移動図書館などのことをもっと広報などで知らせてほしい。
生の声を聞き、拙速には進めないと言われましたので。多くの意見を聞ける交流会と、協議会のような市民と専門家の入った会で話し合いをする。市民は公募してください。
アンケート、ヒアリングをされましたがまだ、足りていません。働いている人々や高齢者などふだん利用していないだろう人たちの意見も聞いてほしい。
運営は市民参加で行うこと。全て民間にまかせてしまうのは良くないと思う。市がきちんと責任をもって運営してください。
企業（ツタヤ）が入るのはもし収益がなければ撤退するので、企業は入ってほしくありません。
静岡富士見市の図書館を参考にしてほしい。
瀬戸市が責任をもっていく。指定管理で経済的優先でなくきちんと予算化する直営でやるべきと考えます。
司会者がすすめやすいやり方は市民の考えを聞く気持ちがあるのかと疑問に思います。優先は市民が使いやすい図書館にするためなので、市民の声をさえぎるのではなくよく市民の声をきいてほしい。
小牧の住民投票のついてどのように考えますか。650 万の予算の使い道はどのような内容なのか。
市の直営が絶対良い。
カフェをつくるなら、障害者関係を使ってほしい。カフェを作るかどうかは決めにくい。
中高生が使いやすいように公共交通が使えるとこと。図書館を中心にまちの発展を、ということもあるけど、まちの発展はそれ独自で議論を尽くす必要がある。
4 月からこうはん線が陶生病院まで延長になりました。図書館の利用者が必要だということ考えたことがあるか。
瀬戸市まちなか交通戦略(H21 年)の区域から除外されました。理由は公園だと担当課(談)。図書館があり坂がきついので対策はすべきだと思います。バリアーの調査、障がい者も駅周辺の歩いてしました。そして調査報告書も作成。ゆるやかなスロープを設ければ陣屋線が整備と合わせてできたのではないかな。

図書館はまづ第一に（書物、その他）を宝物とした場合、それを人と結びつけるための努力をする機能を優先すべし。
蒲郡の図書館も老朽化していましたが、その活動は目を見張るものがありました。もっと人（司書等、市民含め）の力を結集してほしい。
メディアコスモス岐阜図書館へ行ってきました。あそこまでの大きさは望めませんが、機能性を便利さは見習うべきと思いました。最終的には市民の意識の問題と思いました。
民間に委託を考えずに市直営にすること。専門職員を多く配置すること。
運営は民間を中心とし、管理は役所がもれのなきようにすべきである。
資料にもあるようにくつろげるカフェを設けてほしい。
図書館指定管理制度導入があると聞いているがそれは事実ですか。
月刊誌・週刊誌の種類を増やしてほしい。
瀬戸市のどの部署が運営していくのでしょうか？ 市民の声を聞きことが大切。市民の声は個人個人で聞くのではなく人々に聞いてもらって人々に考えてもらう場を作ってください。あわてて図書館を作るような気がするのでもっと議論を。
市は金がないという。現状の図書館をいかに活用（改善）すべきか、まず考えるべき。
市立図書館の職員は専門職であってほしい。ボランティアや各種機関の指導者となってほしい。
一つの自治体で考えるのではなくネットワーク、尾張旭長久手との結びつきを強める。地域性を考える。
民間のノウハウと公共性とがバランスよくマッチした運営方法。
図書館の中で食事はおかしい。飲み物のみ。ただ、本を読みながらは汚れるのでやめてほしい。
⑤立地について
施設立地5件ありますが、どれもむつかしそうな気がします。みんなで知恵を絞って新しい図書館をぜひ実現してください。ではなく、もっと市民の盛り上がりを作らねばと思います。
駐車場の確保はきちんとできるのか。皆に来てもらうにはショッピングセンター並みのパーキングは必要になるのでは。
愛環瀬戸市駅東 小中学生・高齢者アクセス、自転車アクセス、鉄道中心点、道路中心点、鉄道・バスから雨にぬれずに入れる、駅—図書館—瀬戸信—陶生病院回廊
自動車アクセスは重視しなくてよいです。車は減ります。
5つの候補があるが、それぞれの資金面でのメリット・デメリットは？ 敷地をどう利用しどれだけのPスペースどれだけの床面積がとれるのか、アクセスの改善の準備はあるのか。
運転できない人でも便利な場所（公共交通機関近く）

パルティセと入れ替え？ 深川小学校が？
文化センター地内＋産総研跡 西の駐車場への大きな道路をつける。
地域図書館は大変良いあり方。すべての小中学校に設置。本館は中心市街地の学校に複合化。
敷地よりもまず規模でしょう。駐車台数も
立地は4候補ある中では現図書館を整備する方向でよい。方法はあると思うから出来る。
現図書館のマイナス部分をもっと徹底的に調べることが大事。そこを改善するものを求めた。
パルティセと周辺。新たに土地を買収する。
今のように駅からある程度近い所がいいですが、とにかく坂の上では車以外では行きづらい。ベビーカーでも自転車でも高齢者でも行けるようにしてほしい。
新図書館は交通の便のいいところにつくってほしい。
立地は現図書館・民俗資料館地を中心に考えるべきである。
建物としては広くゆったりした施設とする。交通利便性のあるところに建設を。高齢者のことも考えて、直接行ける交通アクセスを。
パルティの図書コーナーは存続してほしい。
パルティの図書館は駐車できにくいのでイヤです。
今の場所 or 新瀬戸駅に作ってほしい。今の場所→緑が豊かなのでそこをプレーパーク or 公園にして、図書館を隣接させてほしい。もちろんPは平面。例えば、民俗資料館の所に図書館を建てる。現在の図書館の所を公園にするか平面にして駐車場にする。新瀬戸駅→駅にビルを設けてほしい。豊田みたいなかんじ。

瀬戸市立図書館 整備基本構想

平成 28 年 3 月

発 行 瀬戸市教育委員会

編 集 瀬戸市立図書館

〒489-0069 愛知県瀬戸市東松山町 1-2

TEL (0561)82-2202

FAX (0561)85-2651